ごみ処理基本計画

平成29年3月

（第１回中間見直し　令和４年３月）

（第２回中間見直し　令和８年３月）

八　幡　平　市

目　　次

第１章 ごみ処理基本計画概要 1

第１節 計画策定の趣旨 1

第２節 計画の位置付け 2

第３節 計画対象区域 3

第４節 計画目標年次 4

第２章 関係法令・上位計画の状況 5

第１節 関係法令体系図 5

第２節 上位計画の状況 6

第３章 地域の概況 10

第１節 自然的状況 10

第２節 社会的状況 12

第４章 ごみ処理の現況 21

第１節 ごみ処理体系 21

第２節 ごみ処理体制 23

第３節 ごみ排出量及びごみ処理量の実績 29

第５章 現況の評価と課題の抽出 39

第１節 現況の評価 39

第２節 課題の抽出 44

第６章 計画処理量の予測 49

第１節 ごみの発生量及び処理量推計 49

第２節 減量化・資源化の目標設定 66

第７章 ごみ処理基本計画 77

第１節 基本方針 77

第２節 排出抑制・再資源化計画 78

第３節 中間処理計画 79

第４節 最終処分計画 79

第１章 ごみ処理基本計画概要

第１節 計画策定の趣旨

循環型社会の形成に向けては、家庭や事業所から排出されるごみは、単に燃やして埋める処理ではなく、できる限り排出を抑制することが必要である。また、廃棄物となったものについても、環境への負荷の低減に配慮しつつ、再使用や再生利用、熱回収の順で循環的な利用をすることが求められている。このように、排出抑制と循環的利用を徹底したうえで、なお循環的利用が行われないものについては、適正な処分を行うべきとされている。

循環型社会形成のための基本的な枠組みとして、環境基本法（平成５年法律第 91 号）、循環型社会形成推進基本法（平成 12 年法律第 110 号）が制定されている。

これら各法に基づく「環境基本計画」及び「循環型社会形成推進基本計画」、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和 45 年法律第 137 号。以下「廃棄物処理法」という。）に基づく「廃棄物処理法基本方針」によって、ごみの資源化・適正処理に関する市町村等の役割、廃棄物の減量等に関する目標値などが定められている。

八幡平市（以下「本市」という。）では、平成 29 年３月に上位計画となる関係法令や県計画、県内のごみ処理広域化の状況など、ごみ処理に関して本市を取り巻く現状と課題を整理し、本市としての今後のごみ処理の方向性や方策を明らかにした「ごみ処理基本計画（以下「本計画」という。)」を策定した。

今回、第１回中間見直しから４年が経過したが、上位計画である第３次八幡平市総合計画（前期基本計画）が策定されたことから第２回中間見直しを行った。なお、上位計画である第３次八幡平市総合計画（前期基本計画）に盛り込まれているＳＤＧｓ※（持続可能な開発目標）の理念に沿い、各施策に取り組んでいくこととする。前期基本計画では、本計画と関連性が高いゴール（目標）として、「11. 住み続けられるまちづくりを」「12. つくる責任 つかう責任」「13. 気候変動に具体的な対策を」「14. 海の豊かさを守ろう」の４つが掲げられており、計画の推進とともに各目標の達成に寄与していくこととする。









※ＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）：2015 年９月の国連サミットで採択され、2030 年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標。17 のゴール・169 のターゲットから構成されている。

第２節 計画の位置付け

廃棄物処理法第６条第１項の規定において、市町村は区域内の一般廃棄物の処理に関する計画（以下「一般廃棄物処理計画」という。）を定めなければならないとされている。

平成 28 年９月に改訂された国の「ごみ処理基本計画策定指針」により、一般廃棄物処理計画は、一般廃棄物の処理に関する基本的な事項について定める基本計画（一般廃棄物処理基本計画）及び当該基本計画の実施のために必要な各年度の事業について定める実施計画（一般廃棄物処理実施計画）から構成することが示されている。

また、それぞれ、ごみに関する部分（ごみ処理基本計画（本計画）及びごみ処理実施計画）と生活排水に関する部分（生活排水処理基本計画及び生活排水処理実施計画）から構成されている。

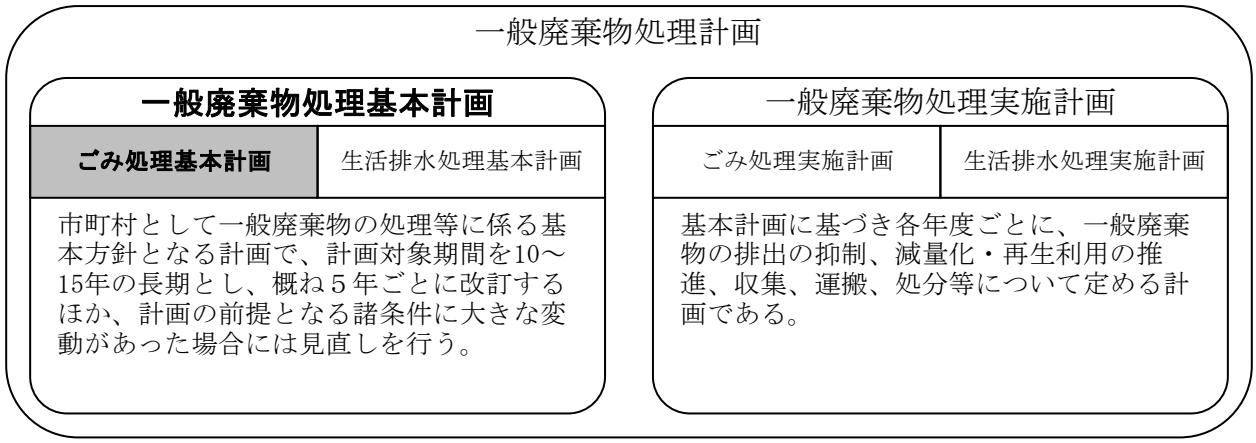


図１－２－１ 一般廃棄物処理計画の構成と本計画の位置づけ

第３節 計画対象区域

本計画の対象区域は、本市全域とする。

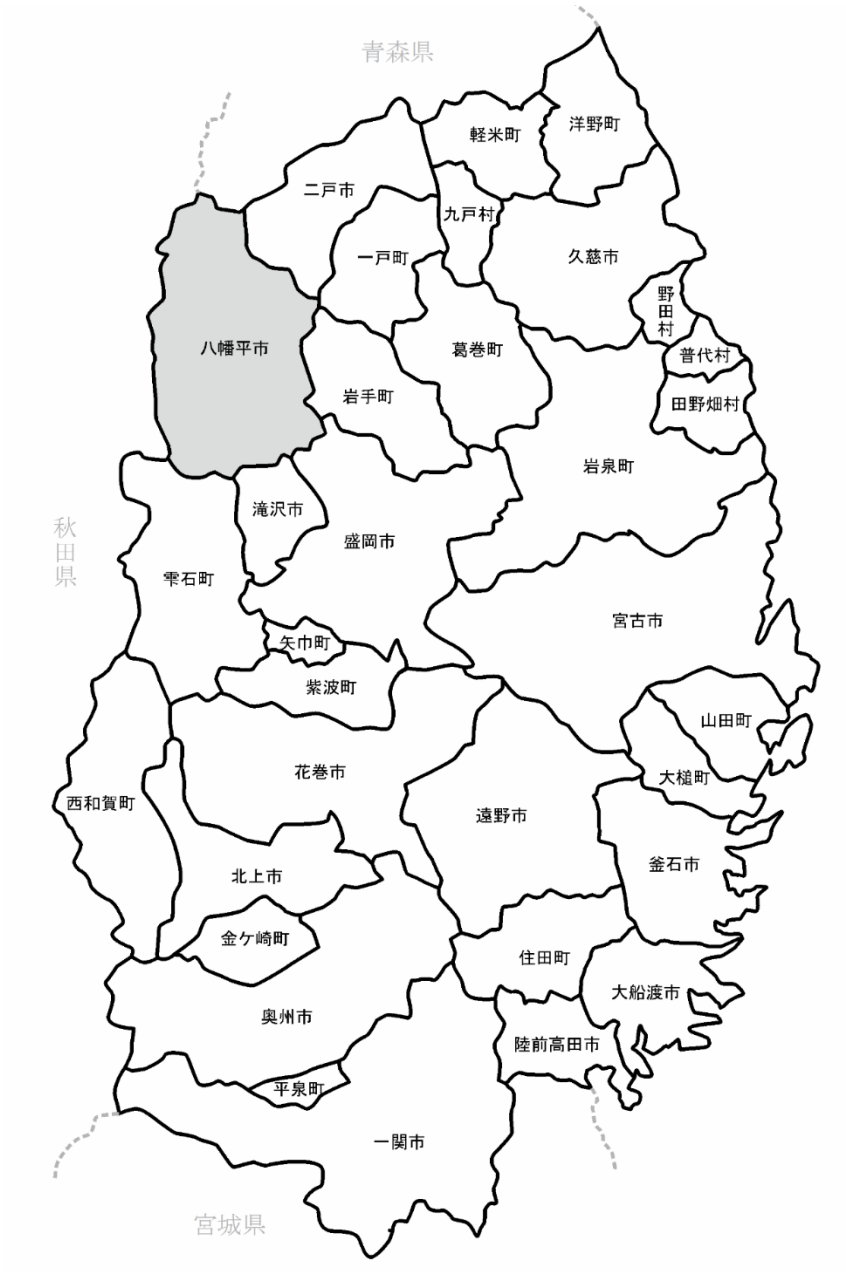


図１－３－１ 計画対象区域

第４節 計画目標年次

本計画は、計画策定年度（平成 28 年度）を初年度、令和 12 年度を計画目標年次とし、見直しを５年ごとに行うものとする。

なお、諸条件に大きな変動のあった場合は、適宜見直しを行うものとする。

計画目標年次　＝　令和１２年度

年度	H28	H29	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
計画期間・目標	前期					中期					後期				
	計画策定					計画見直し（第１回）				計画見直し（今回）					計画目標年次

図1-4-1　計画の目標年次

第２章 関係法令・上位計画の状況

第１節 関係法令体系図

本計画に関係する法令及び上位計画の体系は下図のとおりである。

環境基本法及び循環型社会形成推進基本法による基本的枠組みのもと、一般的な枠組みが廃棄物処理法と資源の有効な利用の促進に関する法律（平成３年法律第 48 号。）で定められており、さらに個別分野ごとに法令が整備されている。

また、岩手県はこれらの関係法令に基づき、「循環型社会形成推進計画（廃棄物処理計画）」を定めるとともに、広域処理を推進する目的で県内自治体を複数のブロックに区分して廃棄物処理施設の統廃合を目指した「岩手県ごみ処理広域化計画」を策定している。

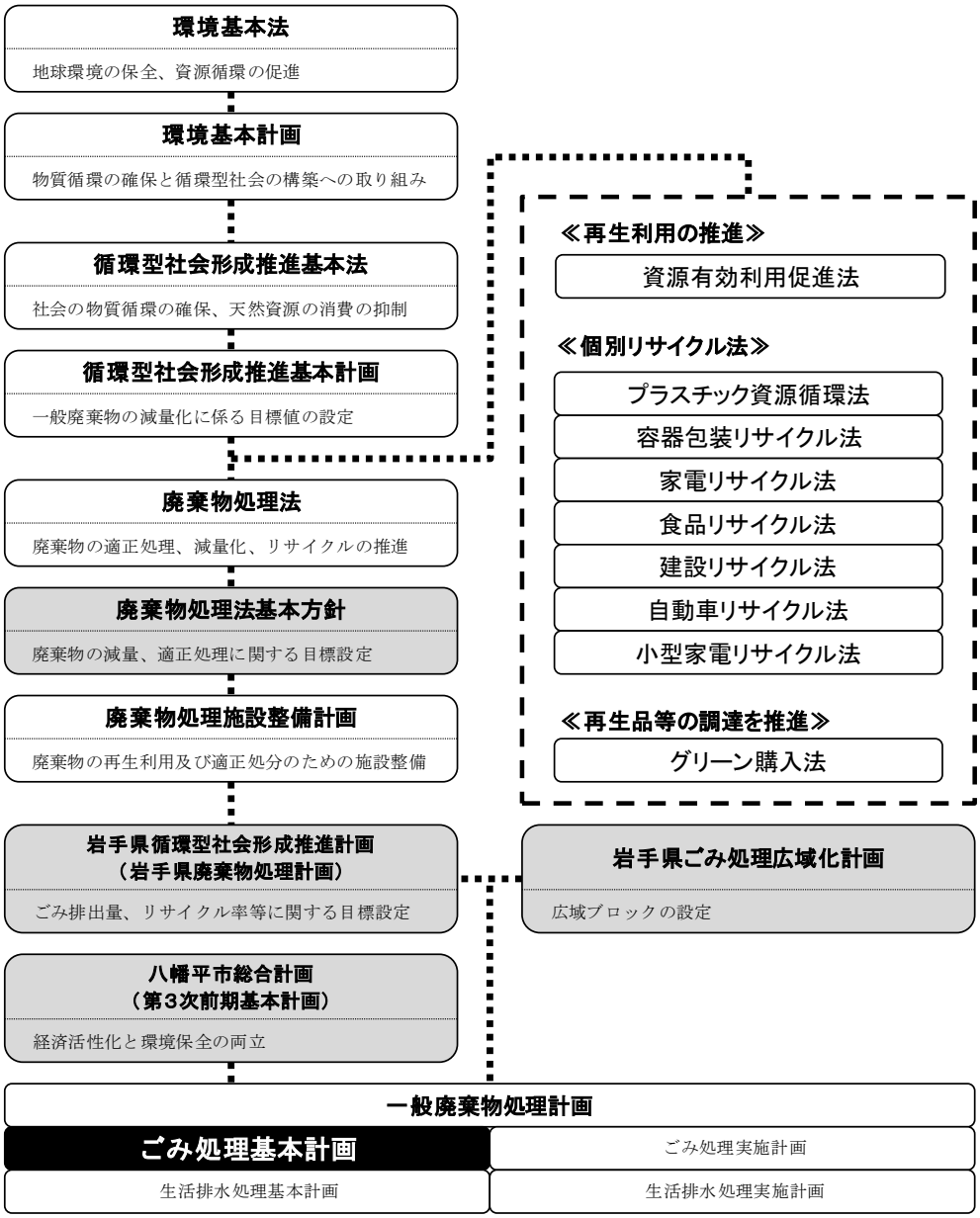


図２－１－１ 関係法令・上位計画と本計画との関係

第２節 上位計画の状況

１．廃棄物処理法基本方針（令和７年２月）

国は廃棄物処理法第５条の２第１項の規定に基づき、廃棄物の排出抑制、再生利用等による廃棄物の減量その他その適正な処理に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るために、「廃棄物の減量その他その適正な処理に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための基本的な方針（廃棄物処理法基本方針）」を策定している。

なお、廃棄物処理法基本方針は、令和７年２月に改定され、主に令和 12 年度を目標年度とし、循環型社会形成推進基本法に基づく第５次循環型社会形成推進基本計画（令和６年８月閣議決定。）の目標値と整合させ、数値目標は下表のとおりとなっている。

表２－２－１ 廃棄物処理法基本方針における目標値

項　　目	現況 （令和４年度）	目標値 （令和12年度）
排　出　量	4,000万ｔ	令和４年度実績に対し 約９％削減
循　環　利　用　率	20%	約26%
最　終　処　分　量	約340万ｔ	令和４年度実績に対し 約５％削減
１人１日当たりの 家庭系ごみ排出量	496ｇ	約478ｇ

循環利用率：廃棄物発生量のうち循環利用量（再使用・再生利用量）の占める割合

２．第２次岩手県ごみ処理広域化計画（令和８年３月）

岩手県ごみ処理広域化計画では、県内を６つのブロックに区分している。

本市は「県央ブロック」に位置づけられており、構成自治体は本市のほか、盛岡市、滝沢市、葛巻町、岩手町、矢巾町、紫波町、雫石町を合わせた８市町となっている。県央ブロックでは、令和３年に「盛岡インターチェンジ付近」を整備予定地として選定し、ごみ処理広域化に関する事務を共同処理するため、令和５年２月１日に８市町からなる「盛岡広域環境組合」を設置するなど、集約化を進めている。

ブロック内構成自治体から排出される可燃ごみ等を処理対象物とした新ごみ焼却施設については、令和 14 年度の稼働開始を目指している。

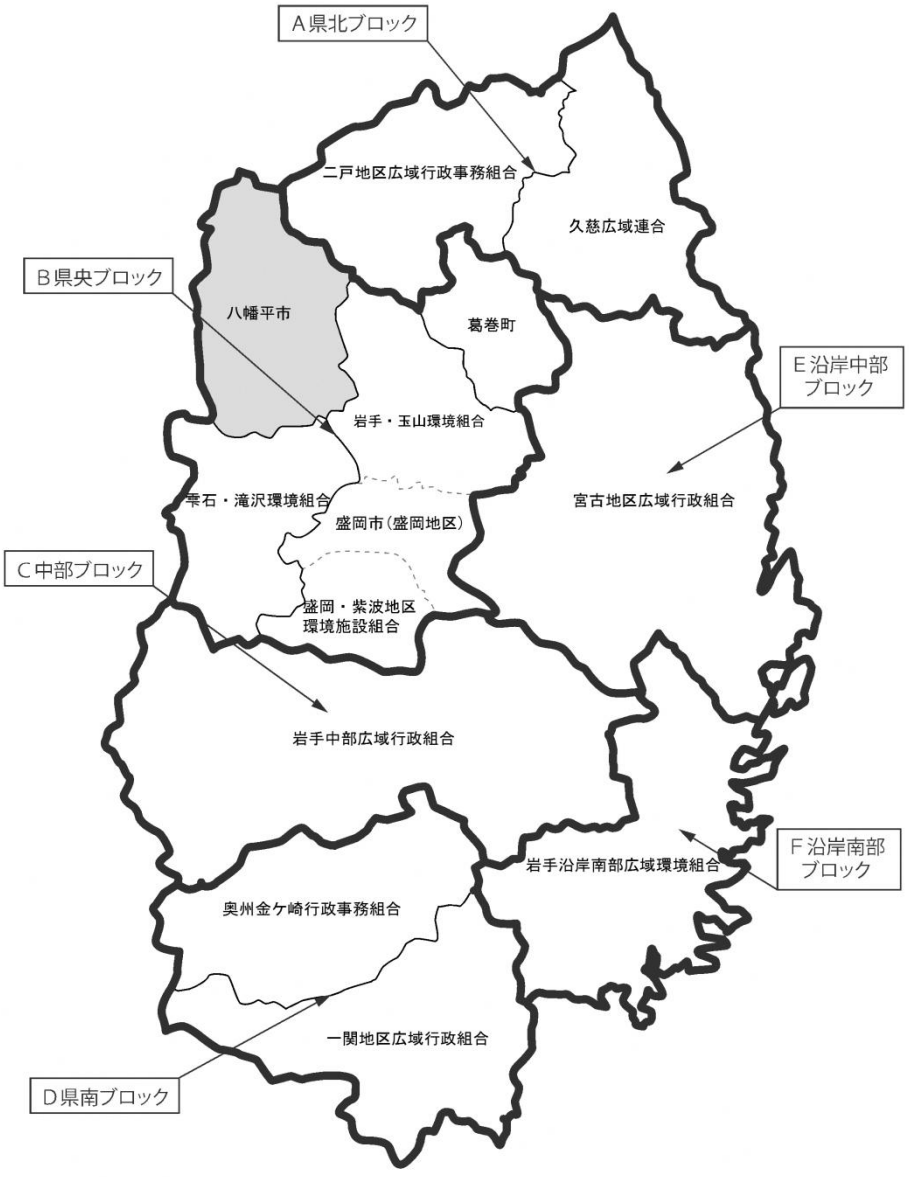


図２−２−１ 岩手県ごみ処理広域化計画における広域ブロック図

３．第４次岩手県循環型社会形成推進計画（令和８年３月）

県は廃棄物処理法第５条の５に基づいて、第４次岩手県循環型社会形成推進計画（第６次岩手県廃棄物処理計画）を策定した。当該計画は、県における循環型社会形成を推進するための基本計画であり、県内市町村が策定する一般廃棄物処理基本計画の直接的な上位計画に位置付けられる。

国の廃棄物処理法基本方針と同様に、廃棄物の適正な処理に関する目標値が定められている。

表２−２−２ 第４次岩手県循環型社会形成推進計画における現況と目標値の比較

項　　目	現況 （令和６年度）	目標値 （令和12年度）
県民一人１日当たり家庭系ごみ排出量	497g/人・日	478g/人・日
県民一人１日当たり事業系ごみ排出量	270g/人・日	260g/人・日
リサイクル率	16.4%	23.0%
最終処分量	34.8千ｔ	33.0千ｔ

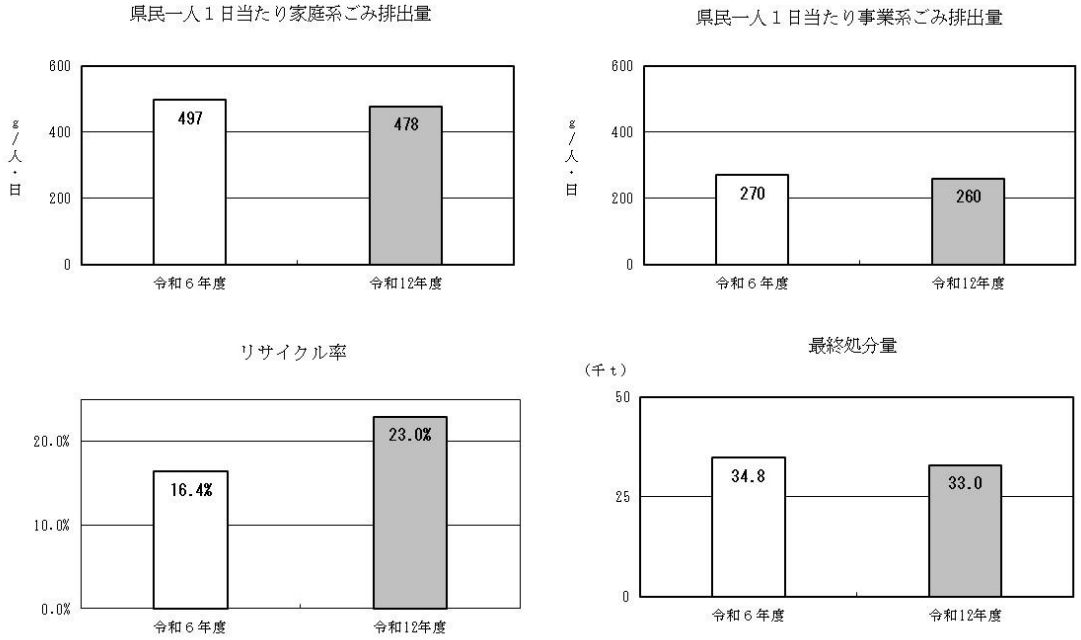


図２-２-２ 第４次岩手県循環型社会形成推進計画における現況と目標値の比較

４．第３次八幡平市総合計画（前期基本計画）（令和８年４月～）

八幡平市総合計画では、「次世代に希望をつなぐ八幡平市」を本市の将来像として掲げ、第２章「豊かな地域資源を生かしたまちづくり」において、ごみの減量化やリサイクル率の向上に取り組むことを定めている。

《将来像》　次世代に希望をつなぐ八幡平市

《基本目標》

魅力にあふれ、希望にもえるまちづくり	**豊かな地域資源を生かしたまちづくり**	健やかで、うるおいに満ちたまちづくり	学ぶ喜びにあふれたまちづくり	安心・安全で快適なまちづくり

《施　策》

- 魅力にあふれ、希望にもえるまちづくり
  - ①子ども・若者向けの支援の充実
  - ②移住定住対策の強化
  - ③地域コミュニティの活動支援
- **豊かな地域資源を生かしたまちづくり**
  - ①新たな工業団地造成による企業誘致の促進
  - ②豊かな自然環境を活用した産業振興
  - ③観光振興と第一次産業の連携
  - ④交流人口・関係人口の更なる創出
  - ⑤商業の拠点づくり
  - ⑥豊かな自然(再生可能)エネルギーの積極的な活用
  - **⑦経済活性化と環境保全の両立**
- 健やかで、うるおいに満ちたまちづくり
  - ①心身ともに健やかに暮らせる社会の推進
  - ②地域で支えあう福祉の推進
  - ③安心できる医療の充実
- 学ぶ喜びにあふれたまちづくり
  - ①地域に根ざした子どもの教育の充実
  - ②文化・芸術に取り組む環境づくり
  - ③スポーツ・生涯学習に取り組む環境づくり
- 安心・安全で快適なまちづくり
  - ①社会基盤の維持・整備
  - ②持続可能な公共交通の確保
  - ③災害・事故・犯罪への対応、危機管理
  - ④自治体経営(行政サービスの向上)

《現状と課題》

岩手山や八幡平をはじめとする雄大な自然環境に加え、里山や田園風景など地域に根差した豊かな自然を、市の重要な資産として次世代へ継承していくことが求められています。

令和２年２月には「2050 ゼロカーボンシティ」を表明し、温室効果ガスの実質排出量ゼロを目指す取り組みを推進しています。環境負荷の低減や資源の循環的かつ有効な活用に加え、これらの取り組みを地域経済の活性化につなげる視点が重要です。

再生可能エネルギーの導入や省エネ技術の普及を通じて、関連産業の育成や雇用創出を図るとともに、環境配慮型観光やエコツーリズムの推進により、地域の魅力を高め、交流人口の拡大を目指す必要があります。

また、公害防止対策や不法投棄の防止に向けた取り組みは、住環境の質の向上に資するものであり、定住促進や地域ブランドの形成にも寄与するものです。環境保全と経済振興を両立させる持続可能な地域づくりが、今後の重要な課題となっています。

《施策の方向性》

環境保全に関する取り組みを地域経済の活性化に結び付けるため、以下のとおり取り組みを推進します。

市民・事業者と連携し、自然環境保全を地域ブランドとして確立します。豊かな自然を活かしたグリーンツーリズムやエコツアーを推進し、新たな観光需要を創出します。

温室効果ガス排出実質ゼロを目指し、省エネ化や再生可能エネルギーの導入、Ｊクレジットによる取り組みを継続していきます。再生可能エネルギー関連産業などＳＤＧｓを推進する企業の誘致や、エネルギーの地産地消による地域内経済循環を推進します。

ごみの減量化・リサイクルを徹底し、リサイクル関連産業の育成・誘致を検討します。また、不法投棄を防止するため、パトロールを継続実施し、不法投棄に対する監視に努めます。

第３章 地域の概況

第１節 自然的状況

１．位置及び範囲

本市は県都盛岡市の北西約 30km に位置し、東は二戸市・一戸町・岩手町、南は盛岡市・滝沢市・雫石町、西は秋田県、北は青森県と、それぞれ接している。また、面積は 862.25 ㎢で、岩手県の総面積の約 5.6％を占めている。



図３－１－１ 本市の位置

２．気象

令和７年の年間降水量は 1149.0mm、平均気温は 10.8℃、平均風速は 2.4m/s、平均日照時間は 136.8ｈとなっている。

表３－１－１ 気象の概況（令和７年）

	１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	合計 平均	単 位
降　水　量	46.5	31.5	85.5	66.0	120.0	33.5	46.0	178.0	197.0	133.0	102.0	110.0	1,149.0	mm
平　均　気　温	-2.0	-2.4	2.8	9.1	13.9	20.9	25.2	24.4	19.7	11.6	5.0	1.0	10.8	℃
平　均　風　速	1.8	2.6	2.8	2.7	2.8	3.0	2.2	2.1	2.2	2.0	2.2	2.7	2.4	m/s
日　照　時　間	77.9	111.5	136.0	121.6	162.6	201.3	184.4	184.8	157.9	111.2	123.0	69.0	136.8	h

（資料：気象庁ＨＰ 岩手松尾地域気象観測所）

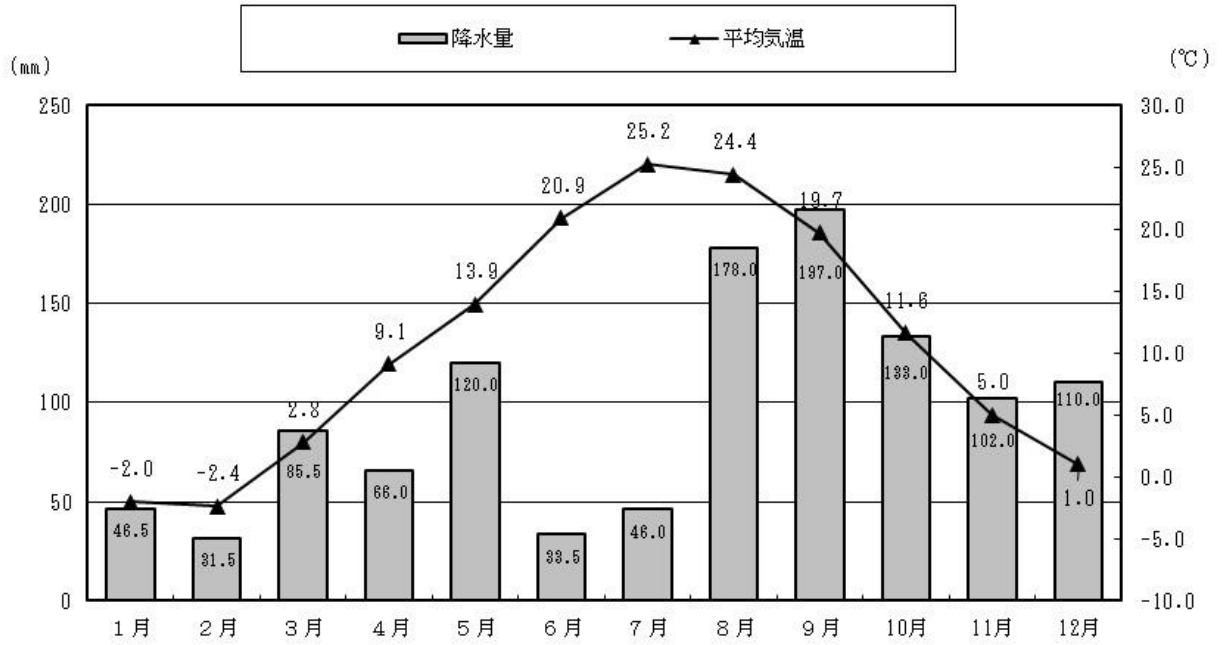


図３－１－２ 気象の概況（令和７年）

第２節 社会的状況

１．人口

令和７年 10 月 1 日現在における人口は 21,941 人であり、過去 10 年間は一貫して減少傾向にある。10 年前の平成 28 年 10 月 1 日現在の人口と比較すると 3,920 人の減少となっている。

表３－２－１ 人口の推移

（各年10月1日現在）

	人口	前年比
平成28年	25,861人	－
平成29年	25,411人	-450人
平成30年	25,055人	-356人
令和元年	24,412人	-643人
令和２年	24,023人	-389人
令和３年	23,515人	-508人
令和４年	23,212人	-303人
令和５年	22,701人	-511人
令和６年	22,265人	-436人
令和７年	21,941人	-324人

（資料：岩手県人口移動報告年報）

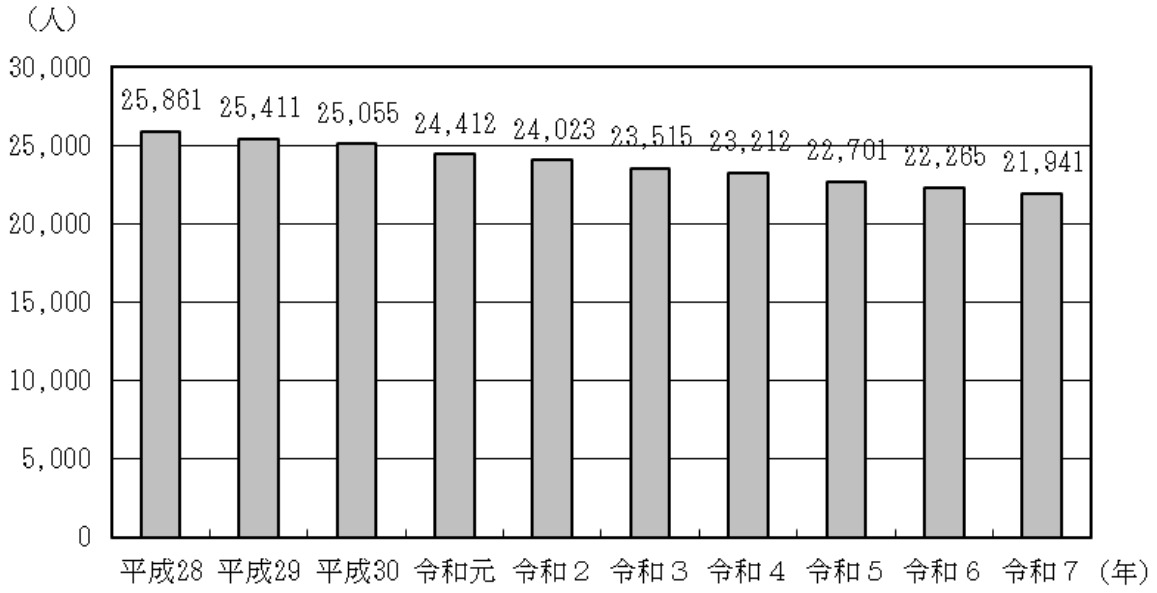


図３－２－１ 人口の推移

２．産業の動向

１）就業構造

令和２年度における就業構造は、第１次産業 2,831 人(22.5%)、第２次産業 3,117 人(24.8%)、第３次産業 6,631 人(52.7%)となっている。

過去 15 年間を通じて、第１次及び第２次産業の就業者数及びその割合は減少している。また、第３次産業の就業者割合は、一貫して増加してきたものの、令和２年度の就業者数は平成 17 年度に比べて減少している。

表３－２－２ 就業構造の推移

（各年10月1日現在）

	第１次産業		第２次産業		第３次産業		分類不能		合 計（人）
	就業者数（人）	割合（%）	就業者数（人）	割合（%）	就業者数（人）	割合（%）	就業者数（人）	割合（%）	
平成17年度	4,157	25.2%	4,453	26.9%	7,913	47.9%	0	0.0%	16,523
平成22年度	3,363	23.5%	3,631	25.4%	7,297	51.0%	24	0.1%	14,315
平成27年度	3,222	23.3%	3,486	25.2%	7,122	51.4%	15	0.1%	13,845
令和２年度	2,831	22.5%	3,117	24.8%	6,631	52.7%	0	0.0%	12,579

（資料：国勢調査）

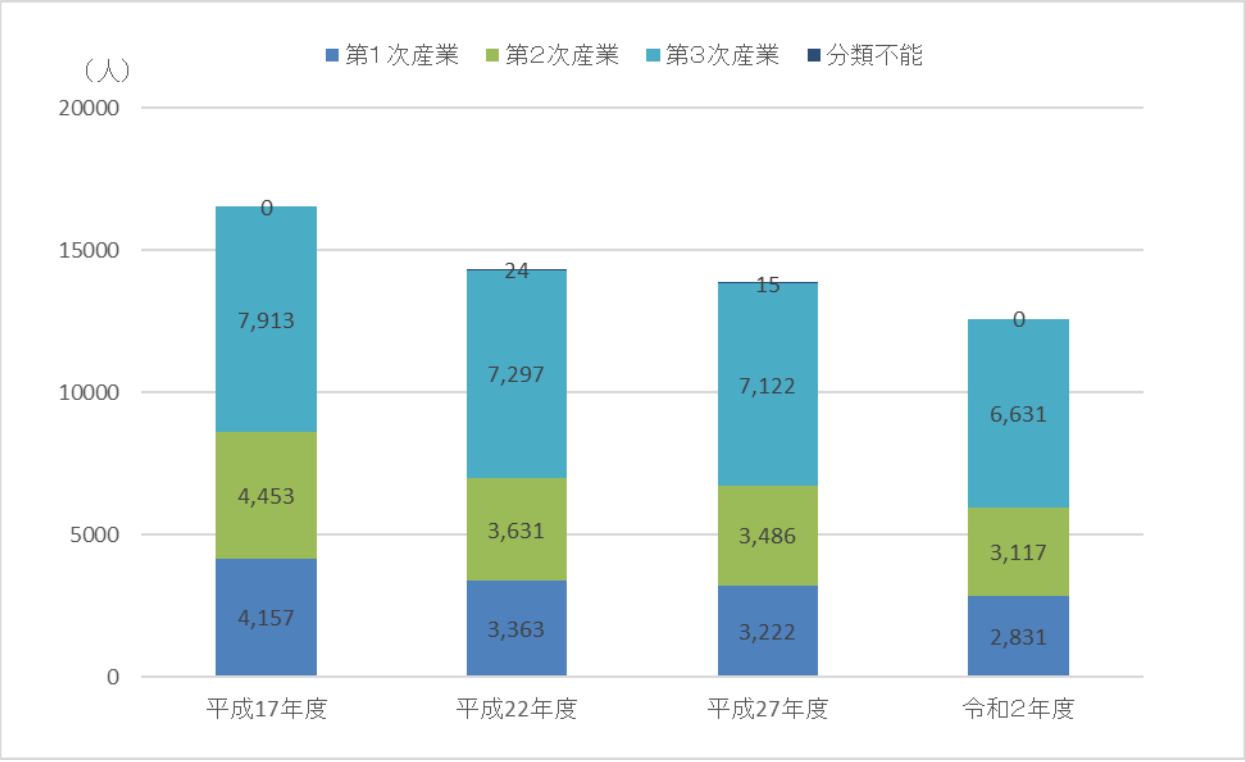


図３－２－２ 就業構造の推移

2）農　業

令和２年度における総農家数は 2,497 戸であり、そのうち専業農家数は 445 戸、第一種兼業農家数は 302 戸、第二種兼業農家数は 1,093 戸、自給的農家数は 657 戸となっている。過去 20 年間の推移をみると、総農家数と第二種兼業農家数は一貫して減少傾向にある一方、自給的農家数は増加傾向を示している。

表３−２−３ 農家数の推移

	総農家数（戸）	専業農家（戸）	兼業農家（戸）			自給的農家（戸）
				第一種兼業	第二種兼業	
平成12年度	3,966	471	3,073	802	2,271	422
平成17年度	3,802	616	2,665	581	2,084	521
平成22年度	3,488	745	2,136	388	1,748	607
平成27年度	3,005	612	1,746	430	1,316	647
令和２年度	2,497	445	1,395	302	1,093	657

（資料：農林業センサス）

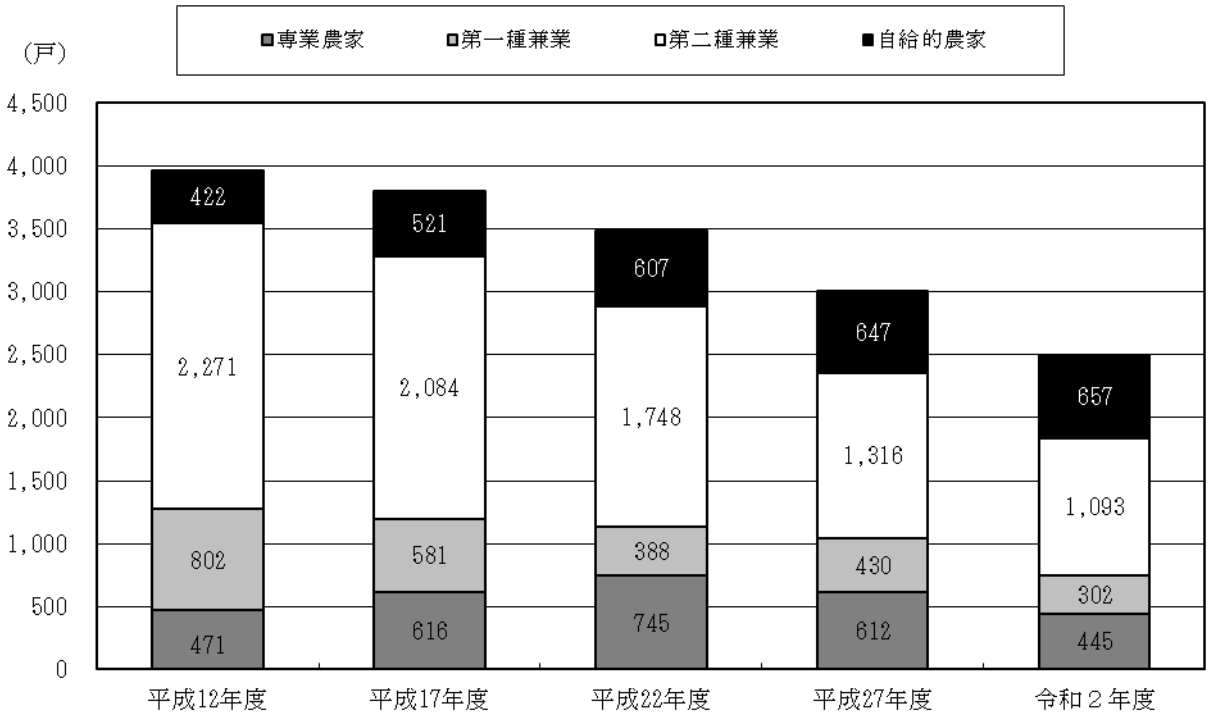


図３−２−３ 農家数の推移

３）経営耕地

令和２年度における経営耕地面積は、総面積7,014haのうち、田が53.4%、畑が46.2%、樹園地が0.4%となっている。全体的に田の占める割合が多く、各年度とも50%以上の割合となっているものの、経営耕地面積は減少傾向にある。

表３－２－４ 経営耕地面積

区分／年度	経営耕地面積（ha）			
	田	畑	樹園地	総面積
平成12年度	4,659（63.8%）	2,607（35.7%）	39（0.5%）	7,306
平成17年度	4,377（64.7%）	2,348（34.7%）	41（0.6%）	6,766
平成22年度	4,351（54.8%）	3,538（44.6%）	47（0.6%）	7,936
平成27年度	4,108（54.8%）	3,349（44.7%）	35（0.5%）	7,492
令和２年度	3,746（53.4%）	3,240（46.2%）	28（0.4%）	7,014

（資料：農林業センサス）

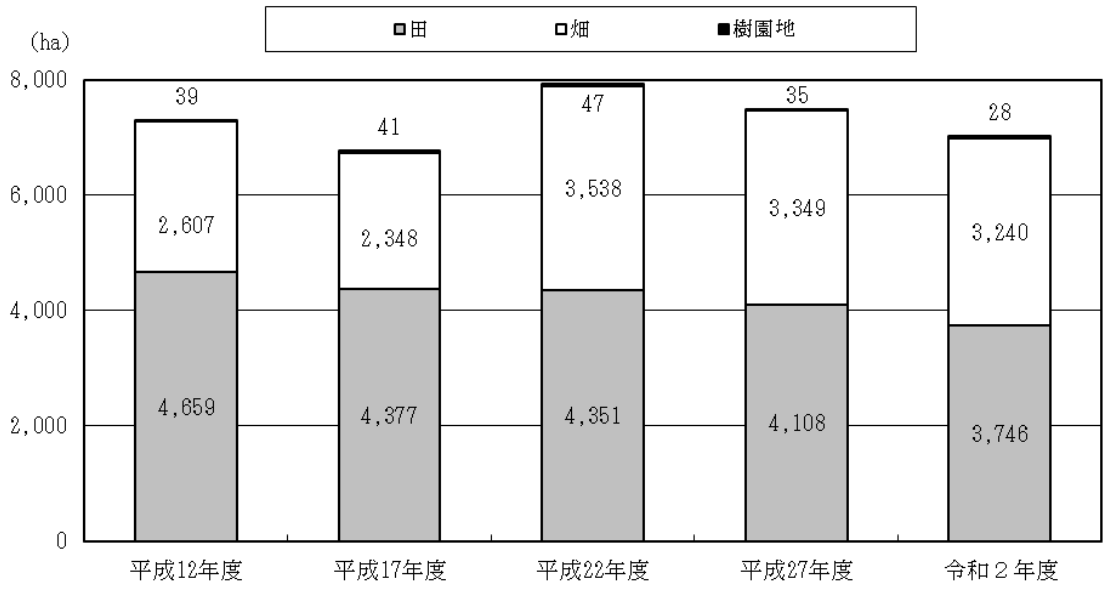


図３－２－４ 経営耕地面積

４）土地利用状況

令和７年１月１日現在の土地利用状況については、山林の占める割合が 70.42％と全体の約７割を占めており、続いて田（5.83％）、畑（4.48％）の順となっている。

表３－２－５ 地目別土地利用面積

令和７年１月１日現在

区　　分	田	畑	宅地	山林	池沼	原野	雑種地	その他	合計
合　計(㎢)	50.27	38.60	12.55	607.22	0.32	26.65	11.93	114.76	862.30
構成比(％)	5.83	4.48	1.46	70.42	0.04	3.09	1.38	13.30	100.00

（資料：固定資産税概要調書）

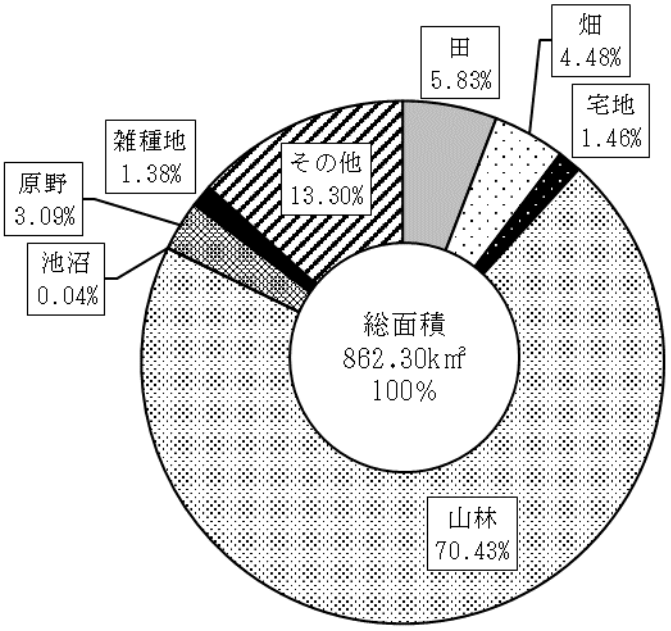


図３－２－５ 地目別土地利用面積

５）商　業

令和３年度経済センサス活動調査における商店数は 215 件、従業者数は 1,331 人、商店販売額は 276 億 7,700 万円となっている。

商店数は平成 16 年度から一貫して減少傾向、従業者数と商品販売額は平成 19 年度までは増加又は横ばい傾向にあった。平成 26 年度に大きく落ち込み、平成 28 年度は若干の増加となっているが、再び減少傾向となっている。

表３−２−６ 商業の推移

	商店数（件）	従業者数（人）	商品販売額（百万円）
平成16年度	384	1,878	34,183
平成19年度	379	2,013	34,035
平成26年度	264	1,353	26,002
平成28年度	256	1,452	29,189
令和３年度	215	1,331	27,677

（資料：商業統計調査、経済センサス活動調査）

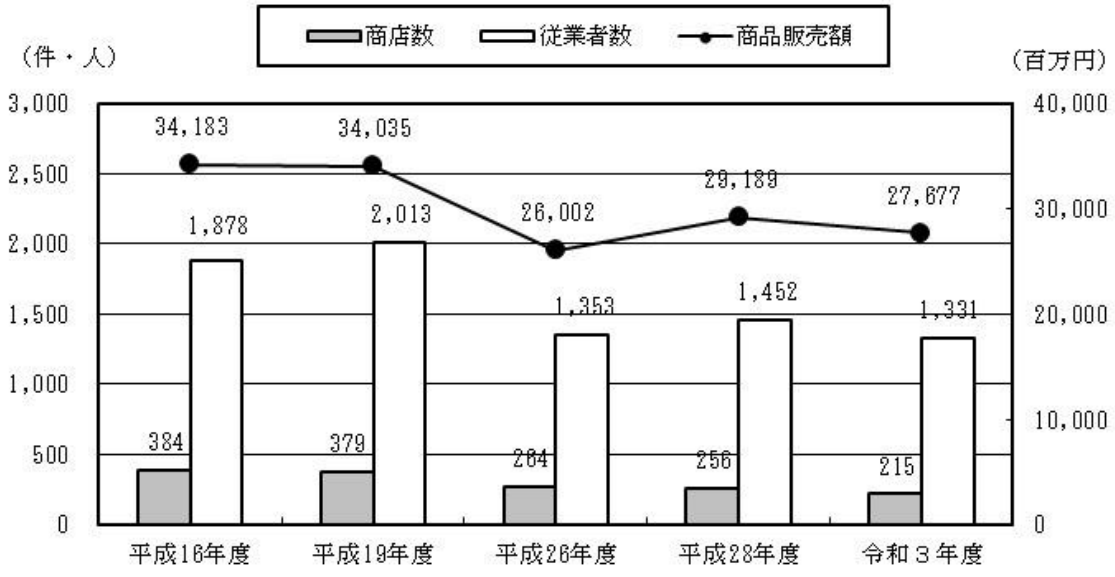


図３−２−６ 商業の推移

６）工　業

令和２年度における事業所数は 61 件、従業者数は 2,188 人、製造品出荷額等は 317 億 6,800 万円となっている。

事業所数及び、従業者数は、令和４年度から横ばい傾向となっているが、製造品出荷額は増加傾向となっている。

表３−２−７ 工業の推移

	事業所数（件）	従業者数（人）	出荷額等（百万円）
令和２年度	61	2,188	31,768
令和３年度	51	1,993	27,881
令和４年度	58	2,078	31,818
令和５年度	58	2,000	36,558
令和６年度	57	2,001	37,690

（資料：工業統計調査、経済センサス調査）

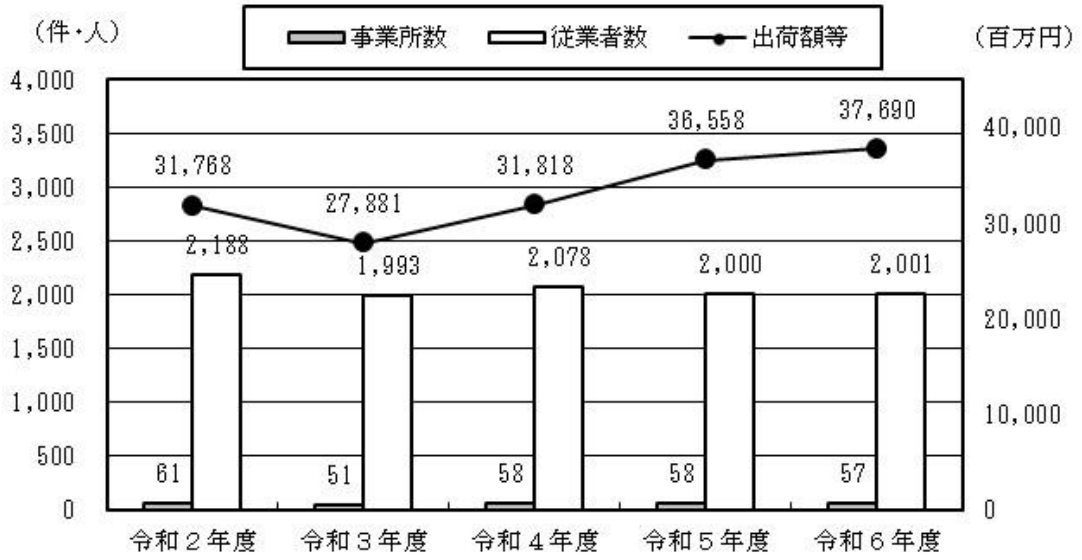


図３−２−７ 工業の推移

３．観　光

令和２年度における観光客数は新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため、約 137 万人と大きく減少したが、令和３年度以降は、ほぼ横ばいで推移している。

表３－２－８ 観光客数の推移

	入込数（人）	前年度比（％）
令和元年度	2,011,912	-2.5
令和２年度	1,375,009	-31.7
令和３年度	1,588,703	15.5
令和４年度	1,604,652	1.0
令和５年度	1,636,666	2.0
令和６年度	1,585,459	-3.1

（資料：八幡平市商工観光課調査）

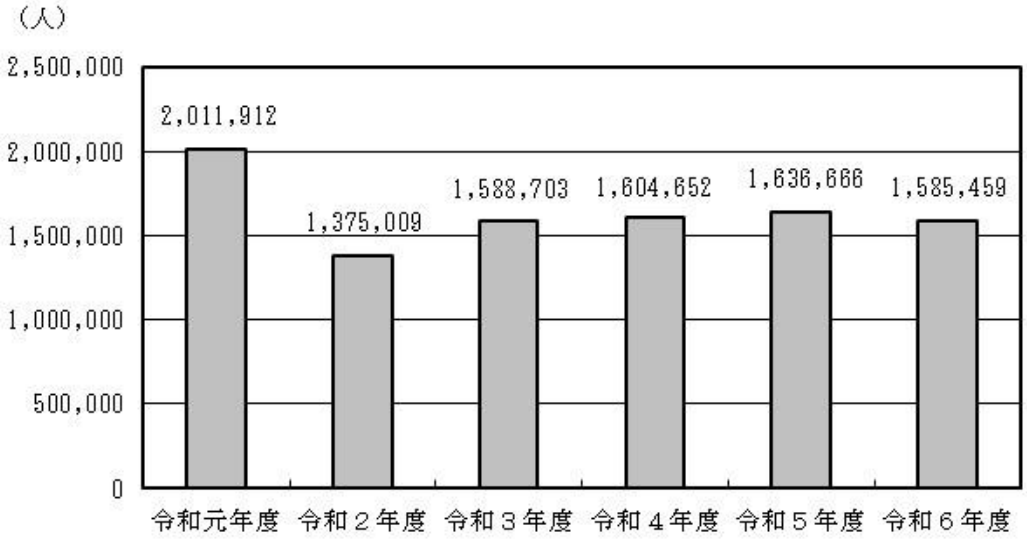


図３－２－８ 観光客数の推移

４．交通網

古くから、秋田県や青森県へ通じる鹿角街道が縦貫し、現在では東北自動車道・八戸自動車道と国道 282 号、さらにはＪＲ花輪線が縦貫しており、基礎的な交通基盤が整った地域であるとともに、秋田県や青森県を含めた北東北３県の中心に位置する交通の要衝である。



図３−２−９ 交通の概要

第４章 ごみ処理の現況

第１節 ごみ処理体系

本市におけるごみ処理体系を図４－１－１に、ごみ処理・処分に関連する施設の位置を図４－１－２に示す。

本市で発生した燃えるごみ（可燃ごみ）のほか、粗大ごみ処理施設から発生する破砕可燃物及び手選別処理施設から発生する可燃不燃物は、八幡平市清掃センター（ごみ焼却施設）で焼却処理している。焼却処理後の焼却灰と飛灰は八幡平市一般廃棄物最終処分場（最終処分場）にて埋立処分している。

燃えないごみ、粗大ごみ及び空き缶類は、八幡平市清掃センター（粗大ごみ処理施設）で破砕・選別処理している。破砕可燃物はごみ焼却施設で焼却処理、破砕不燃物は最終処分場で埋立処分、鉄・アルミ・その他の資源物は再資源化している。

空きびん類、ペットボトル及びトレイ類は、八幡平市清掃センター（手選別処理施設）で手選別処理された後、不適物は焼却処理又は埋立処分している。

紙類（段ボール、新聞紙、雑誌、紙パック、雑紙、シュレッダー）、古着、羽毛布団、小型家電は保管施設にて一時保管された後、再資源化している。

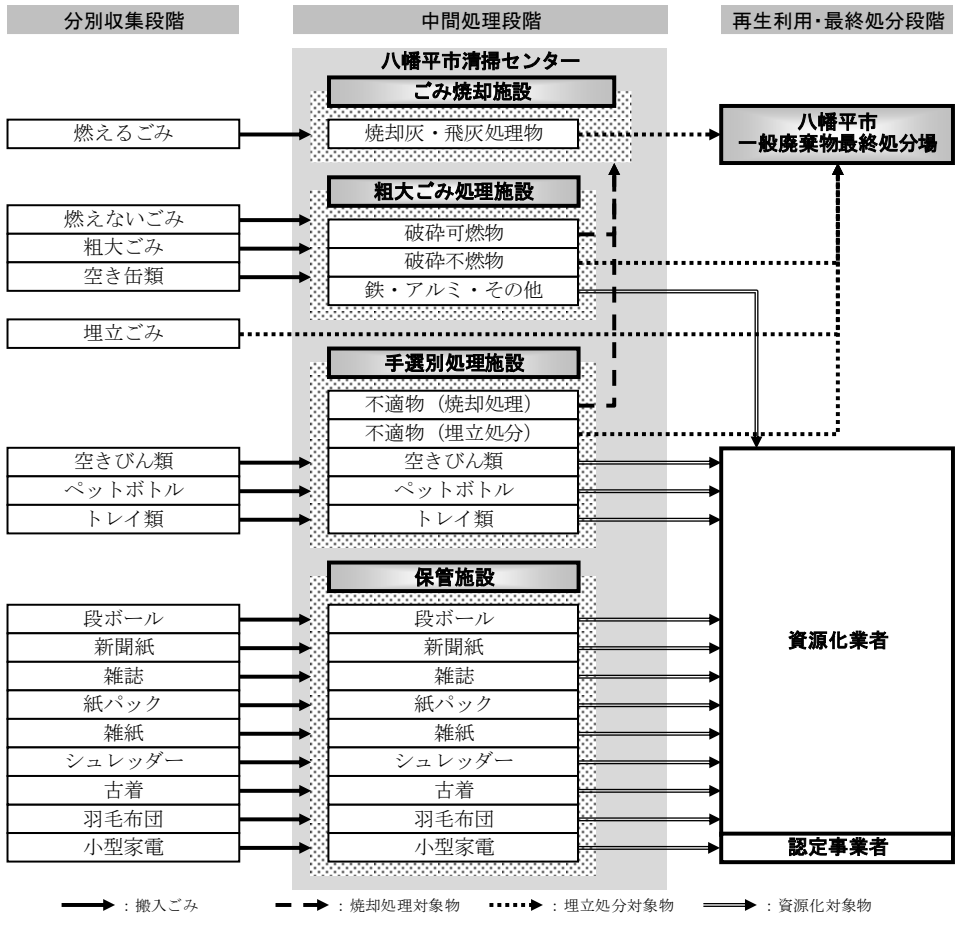


図４－１－１ ごみ処理体系（ごみ処理フロー）



図４－１－２ ごみ処理関係施設位置

第２節 ごみ処理体制

１．排出区分

本市が定めている排出区分は表４－２－１に示すとおりである。

排出ごみの区分は大きく４種（燃えるごみ、燃えないごみ、資源ごみ、危険ごみ）に分けており、ごみの種類に応じて排出形態を定めている。

表４－２－１ 排出形態と排出区分

収集区分			ごみの種類／出し方の注意	排出形態	排出場所
燃えるごみ（可燃ごみ）※		台所のごみ 紙くず類 木くず類 プラスチック類 その他燃やすごみ	生ごみ（水を切る）、食用油（凝固もしくは布等にしみこませて）、貝殻、プラスチック容器、使い捨てカイロ、紙おむつ（汚物は取る）、ポリ容器、綿クズ、ボロ、繊維くず、台所のアルミホイル類、スキー靴、CD・DVD	専用指定袋	指定集積所
燃えないごみ（不燃ごみ）		青いカゴに入るもの ４リットルを超える容器 化粧びん、窓ガラス、電球等	瀬戸物等の食器類、鍋・やかん等の金属製品、４リットルを超える缶、電球類、トタン類など（50cm以下にまとめて出す） リサイクルできないびん（油、化粧品、注ぎ口が取れないもの、割れているもの、汚れのとれないもの）	青色のカゴ	指定集積所
資源ごみ	空き缶類	スチール缶、アルミ缶、金属製のふた類、４リットル以下の容器	缶詰缶（中を水洗い、もしくは不用な衣類等で拭き取る）	赤色のカゴ	指定集積所
	空きびん類	茶色びん 無色びん その他の色びん	食品・飲料のびん ビールびん、一升びん（酒販売店、集団回収へ） キャップを取り中身を取り除き水洗い	赤色のカゴ	指定集積所
	ペットボトル※	ペットボトル	キャップを取り中身を取り除き水洗い リサイクルマーク（PET）の表示があるもの	専用指定袋	指定集積所
	新聞紙	新聞紙 折込みチラシ	二つ折りか四つ折りにして	紙ひも	指定集積所
	雑誌	雑誌	ビニール類は取り除く	紙ひも	指定集積所
	段ボール	段ボール	平たく伸ばす（付着している発泡スチロール、ガムテープ、ビニール等は取り除く）	紙ひも	指定集積所
	紙パック	飲料用紙パック	洗って乾かし、切り開く（プラスチック製の注ぎ口は取り除く）	紙ひも	指定集積所
	雑がみ※	上記以外の紙類 菓子箱、ノート、葉書 名刺、コピー用紙	平たく伸ばして持ちやすい大きさにたたむ 名刺等の小さいものは封筒に入れ他の紙とまとめる （汚れや臭い、特殊加工されているもの以外）	紙ひも 専用指定袋	指定集積所
	トレイ類※	白色食品トレイ 白色発泡スチロール	白色無地のもの（ラップやシールを取り除き洗って乾かす）	専用指定袋	指定集積所
危険ごみ※		カセット式ボンベ スプレー缶	スプレー缶、卓上コンロのボンベ（必ず中身を使い切って穴をあけ、キャップ、噴出し口は取り除く）	専用指定袋	指定集積所
指定袋に入らない燃えるごみ			枯れ枝（50cm位に切る）、布団、毛布等	指定なし	清掃センター
青いカゴに入らない粗大ごみ			スコップ、スノーダンプ、自転車、スキー板等		
ペットの死体			犬、猫等		
引越し等によって一時的に大量に出るごみ			燃えるごみ・粗大ごみ等		
引火の恐れのあるごみ			シンナー、ガソリン、灯油、塗料等を入れた空き容器、石油ストーブ、ファンヒーター		
有害性のごみ			家庭菜園等の農薬の使い残し（少量のみ）		
埋立をするごみ			破損して発生したコンクリート及びブロック片等		
事業活動によるごみ			会社・事業所・商店・旅館・ペンション・保養所・飲食店等から発生する産業廃棄物に該当しないごみ		

※令和２年度より、専用指定袋「氏名・行政区名記入欄」を廃止

２．収集運搬体制

本市では、収集回数を排出区分に応じて定めている。燃えるごみは週２回、燃えないごみは隔週１回などとなっている。

具体的な収集回数は表４－２－２に示すとおりである。

表４－２－２ 収集回数

収集地域 / 分別区分		西根地区		松尾地区		安代地区	
		大更	田頭・平館・寺田	松尾・野駄・畑・安比	温泉郷･寄木･柏台	細野・畑・荒屋・浅沢	舘市･田山･五日市
燃えるごみ	２回/１週	月曜・木曜	火曜・金曜	火曜・金曜	月曜・木曜	月曜・木曜	火曜・金曜
燃えないごみ	１回/２週	隔週水曜	隔週水曜	隔週水曜	隔週水曜	隔週水曜	隔週水曜
空き缶類	１回/２週 １回/１週	隔週金曜	隔週木曜	木曜	金曜	金曜	木曜
空きびん類	１回/２週	隔週火曜	隔週月曜	隔週月曜	隔週火曜	隔週火曜	隔週月曜
ペットボトル	１回/２週	隔週火曜	隔週月曜	隔週月曜	隔週火曜	隔週火曜	隔週月曜
新聞紙・雑誌・段ボール 紙パック・トレイ類・雑がみ	１回/２週	隔週水曜	隔週木曜	隔週水曜	隔週水曜	隔週水曜	隔週水曜
危険ごみ （スプレー缶、ボンベ類）	１回/２週 １回/１週	隔週金曜	隔週木曜	隔週水曜	隔週水曜	金曜	木曜

３．中間処理施設（ごみ焼却施設）

収集又は持ち込まれた燃えるごみなどは、八幡平市清掃センター（ごみ焼却施設）で焼却処理している。

表４－２－３に施設の概要を、図４－２－１に処理フローを示す。

表４－２－３ ごみ焼却施設の概要

項　目	内　容
施設名称	八幡平市清掃センター
事業主体	八幡平市
所在地	岩手県八幡平市野駄第27地割621番地
処理能力	50t/16ｈ（50t/16t×２基、片炉運転） ※平成30年２月22日変更
供用開始年月	平成10年４月
処理方式	機械化バッチ燃焼式

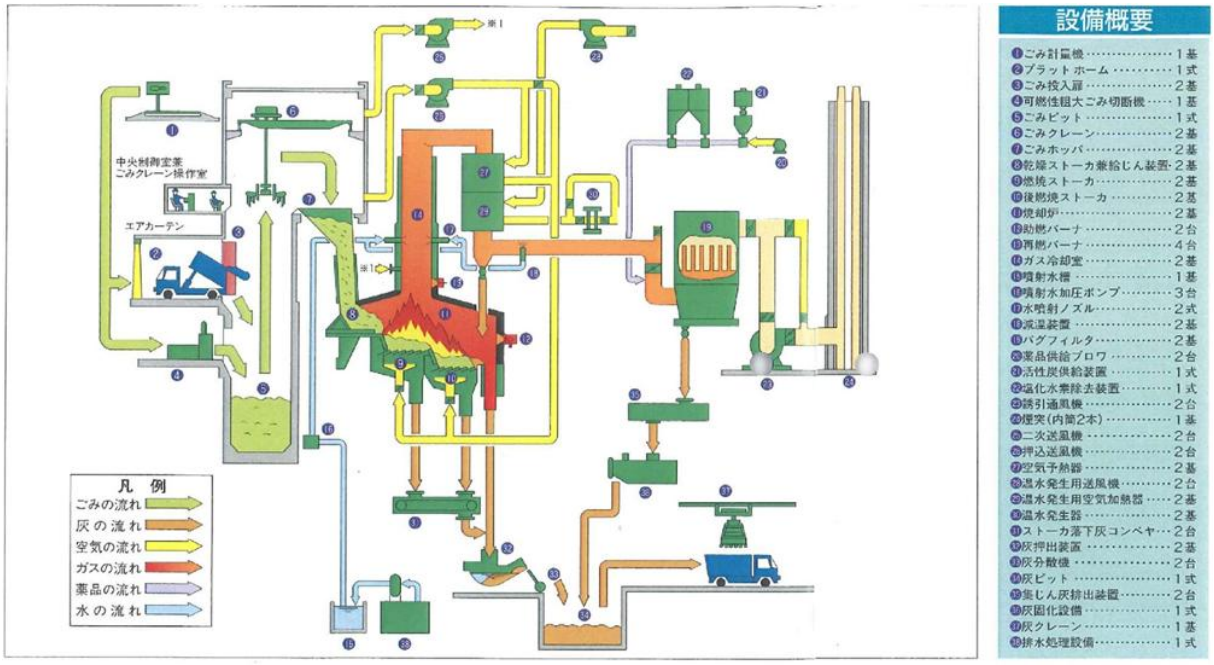


図４－２－１ ごみ焼却施設の処理フロー

４．中間処理施設（粗大ごみ処理施設・手選別処理施設）

燃えないごみ、粗大ごみ及び空き缶類は、八幡平市清掃センター（粗大ごみ処理施設）にて破砕・選別処理を行っている。また、空きびん類、ペットボトル及びトレイ類は、八幡平市清掃センター（手選別処理施設）にて手選別処理を行っている。

表４－２－４及び表４－２－５に両施設の概要を、図４－２－２に両施設の処理フローを示す。

表４－２－４ 粗大ごみ処理施設の概要

項　目	内　容
施　設　名　称	八幡平市清掃センター
事　業　主　体	八幡平市
所　在　地	岩手県八幡平市野駄第27地割621番地
処　理　能　力	15t/５ｈ
供　用　開　始　年　月	平成10年４月
選　別　種　別	４種類選別（可燃ごみ・不燃ごみ・アルミ・鉄）

表４－２－５ 手選別処理施設の概要

項　目	内　容
施　設　名　称	八幡平市清掃センター
事　業　主　体	八幡平市
所　在　地	岩手県八幡平市野駄第27地割621番地
供　用　開　始　年　月	平成10年４月
処　理　方　式	手選別
選　別　種　別	３種類選別（空きびん類、ペットボトル、トレイ類）

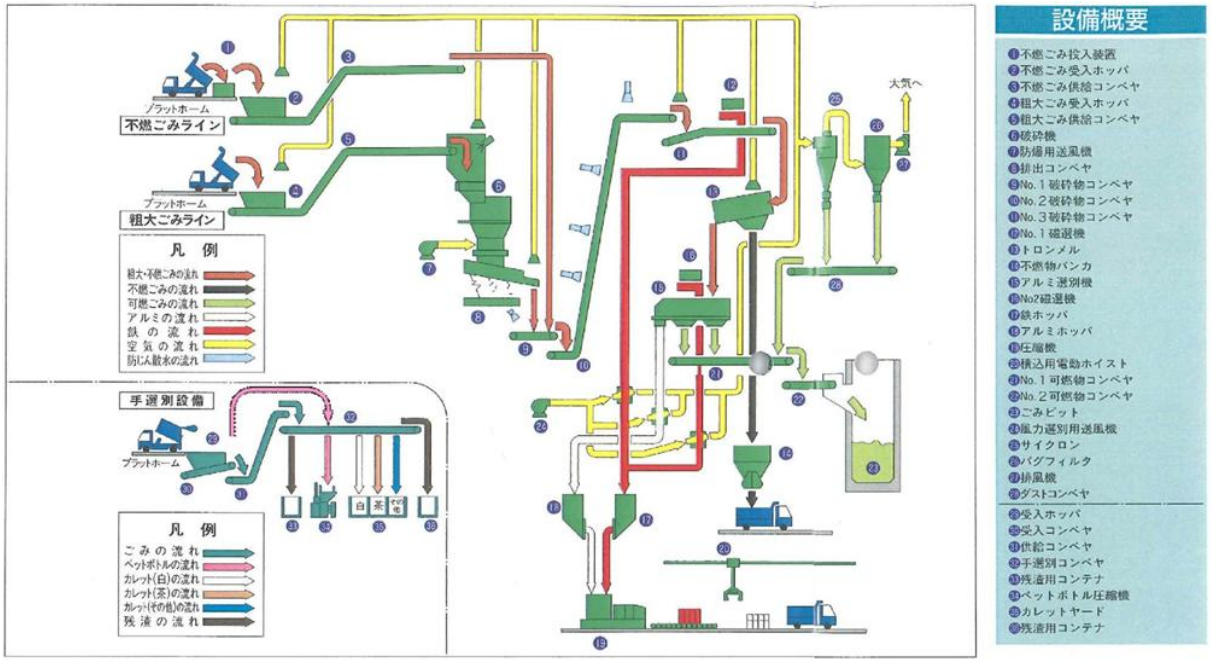


図４－２－２ 粗大ごみ処理施設及び手選別処理施設の処理フロー

５．最終処分場

埋立ごみのほか、ごみ焼却施設で発生した焼却灰及び飛灰、粗大ごみ処理施設で発生した破砕不燃物、手選別処理施設で発生した不適物は、本市が所有する最終処分場で埋立処分を行っている。

表４－２－６及び、表４－２－７に最終処分場の概要を、図４－２－３及び図４－２－４に最終処分場浸出水処理フローを示す。なお、栗日影沢最終処分場の埋立は終了している。

表４－２－６ 八幡平市栗日影沢最終処分場の概要

項　目	内　容
施　設　名　称	八幡平市栗日影沢最終処分場
事　業　主　体	八幡平市
所　在　地	八幡平市松尾第１地割709番地
供用開始年月	昭和62年12月
浸出水処理能力	30㎥/日
埋　立　面　積	10,620㎡
埋　立　容　量	56,090㎥

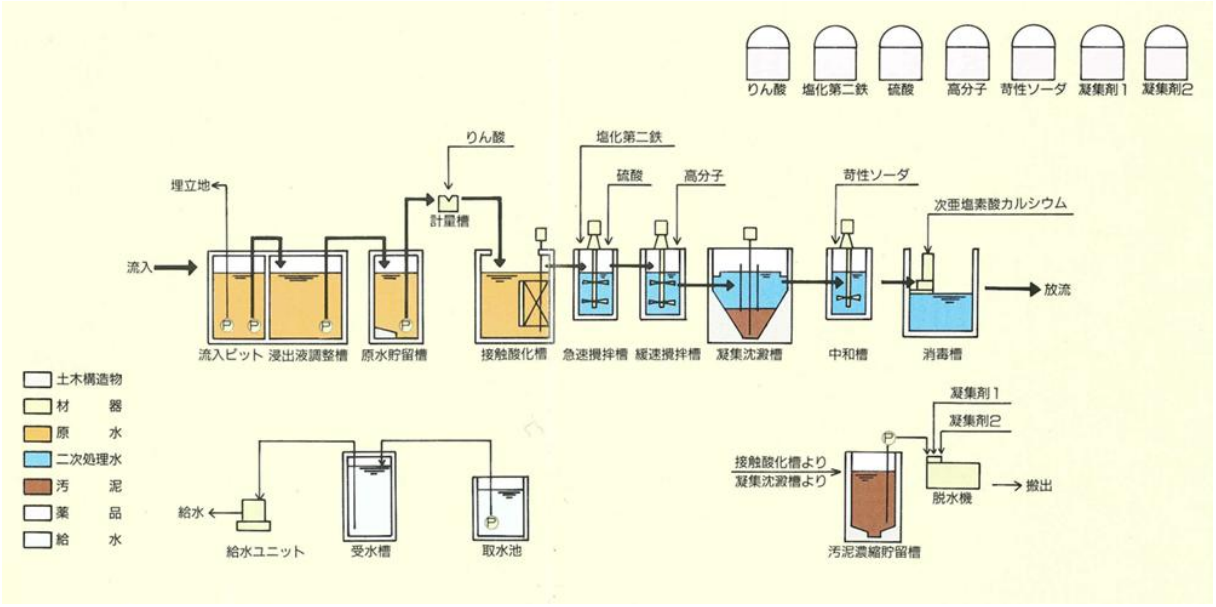


図４－２－３ 八幡平市栗日影沢一般廃棄物最終処分場浸出水処理フロー

表４－２－７ 八幡平市一般廃棄物最終処分場

項　目	内　容
施　設　名　称	八幡平市一般廃棄物最終処分場
事　業　主　体	八幡平市
所　在　地	八幡平市松尾第１地割808番地
供用開始年月	平成24年12月
浸出水処理能力	15㎥/日
埋　立　面　積	5,300㎡
埋　立　容　量	24,700㎥

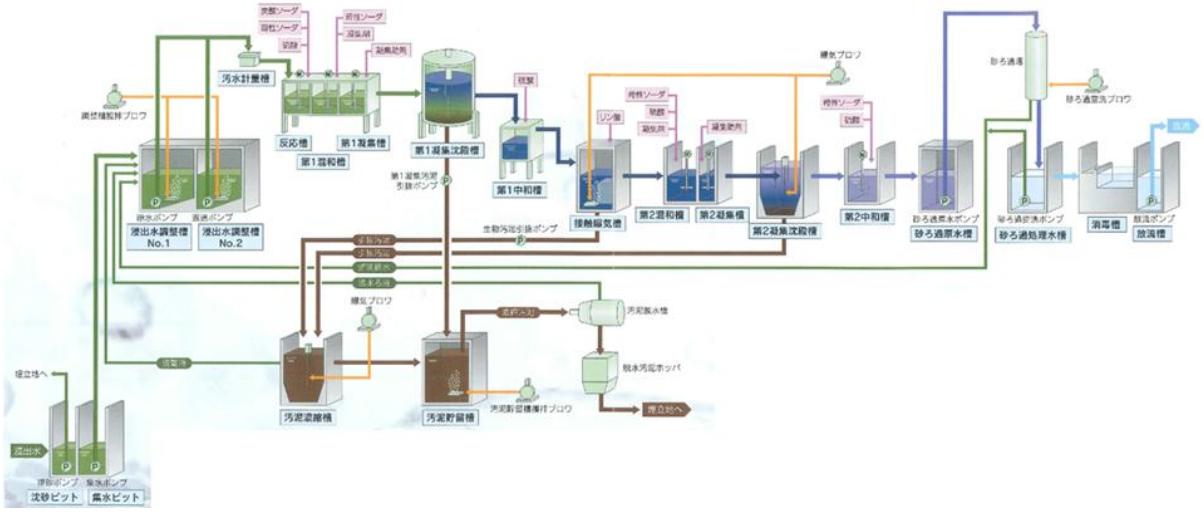


図４－２－４ 八幡平市一般廃棄物最終処分場浸出水処理フロー

第３節 ごみ排出量及びごみ処理量の実績

１．ごみ排出量

本市におけるごみ排出量実績（市清掃センター年報）を表４－３－１及び図４－３－１に示す。

令和２年度以降、総ごみ量は減少傾向となっているが、１人１日当たりごみ排出量は横ばい傾向となっている。なお、１人１日当たりごみ排出量は 1,000ｇを超過した状態が続いている。

表４－３－１ ごみ排出量実績

（単位：t）

種類別実績	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
総ごみ量	10,075.84	9,935.81	9,931.25	9,455.68	9,384.90
燃えるごみ	8,402.83	8,347.98	8,391.37	8,047.77	8,008.43
生活系ごみ	5,665.98	5,522.54	5,555.13	5,360.29	5,320.00
事業系ごみ	2,736.85	2,825.44	2,836.24	2,687.48	2,688.43
燃えないごみ	251.61	223.90	204.89	176.40	156.82
生活系ごみ	251.61	223.90	204.89	176.40	156.82
事業系ごみ	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
粗大ごみ	438.57	387.05	397.92	382.06	433.04
生活系ごみ	330.50	279.50	280.14	270.44	329.55
事業系ごみ	108.07	107.55	117.78	111.62	103.49
埋立ごみ	11.47	9.15	7.19	3.24	14.00
生活系ごみ	11.36	2.84	4.49	2.53	14.00
事業系ごみ	0.11	6.31	2.70	0.71	0.00
資源ごみ	971.36	967.73	929.88	846.21	772.61
生活系ごみ	779.26	777.37	744.79	674.91	625.12
集団回収	103.14	95.08	96.36	93.24	94.39
事業系ごみ	88.96	95.28	88.73	78.06	53.10
総ごみ量（集団回収を除く）	9,972.70	9,840.73	9,834.89	9,362.44	9,290.51
１人１日当たりごみ排出量	1,149g	1,158g	1,172g	1,138g	1,155g
１人１日当たりごみ排出量（集団回収除く）	1,137g	1,147g	1,161g	1,127g	1,143g
１人１日当たりごみ排出量（生活系資源ごみ除く）	1,048g	1,056g	1,073g	1,046g	1,066g
計画収集人口	24,023人	23,515人	23,212人	22,701人	22,265人
年度日数	365日	365日	365日	366日	365日

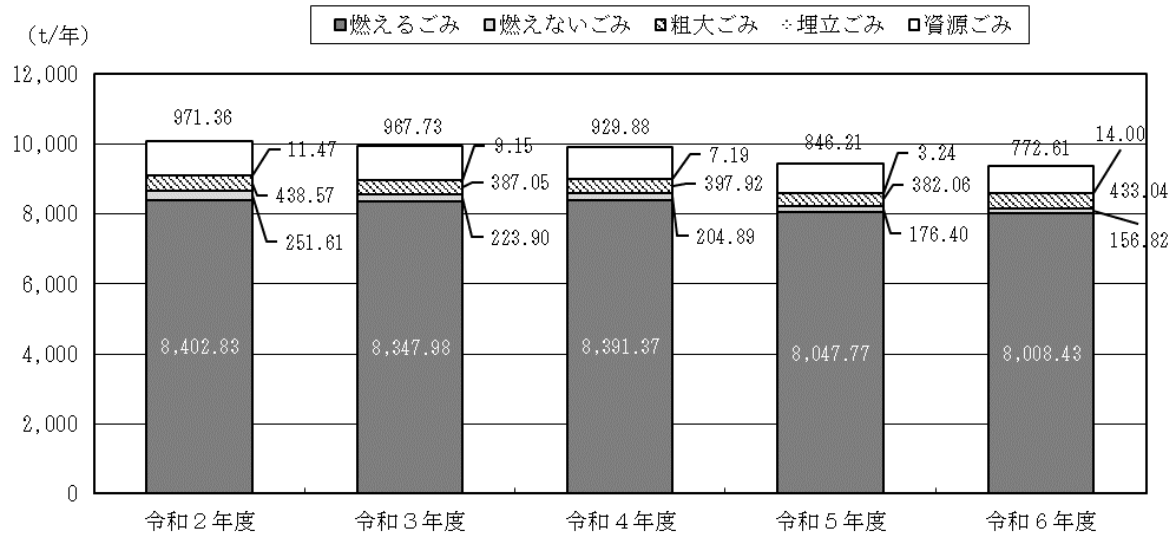


図４－３－１ ごみ排出量実績

２．焼却処理量

燃えるごみなどの焼却対象物を処理した量及び焼却残渣量(焼却灰及び飛灰)の実績(市清掃センター年報）を表４－３－２及び図４－３－２に示す。

災害廃棄物を除く本市圏域内から発生する燃えるごみなどの焼却対象物は概ね8,600ｔ/年程度となっている。また、焼却残渣率は11～13%程度となっている。

表４－３－２ 焼却処理量の実績

（単位：t）

区分	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
焼却処理量	8,674	8,588	8,618	8,651	8,194
焼却残渣量	1,114	1,118	1,086	990	987
残渣発生率	12.8%	13.0%	12.6%	11.4%	12.1%

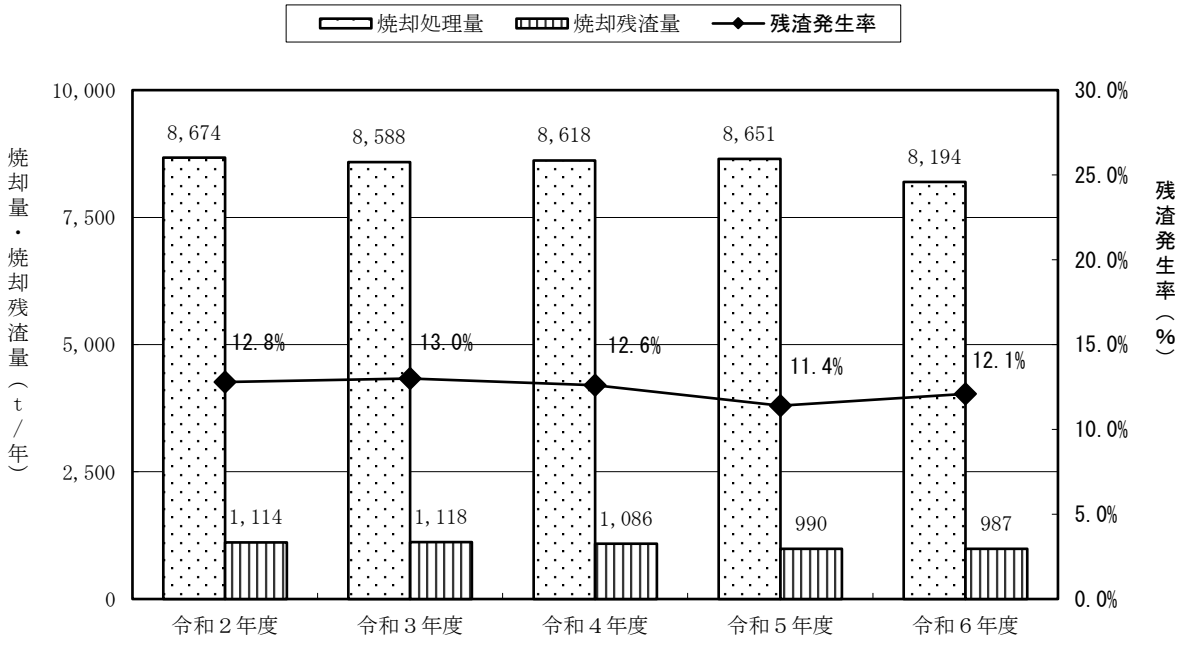


図４－３－２ 焼却処理量の実績

３．資源ごみ量

本市における資源ごみ排出量実績（市清掃センター年報）を表４－３－３及び図４－３－３に示す。

総ごみ量の減少に伴って総資源ごみ量も減少傾向にあるが、なかでも集団回収資源物及び事業系資源ごみが低い水準で推移している。また、資源ごみの割合も減少傾向にあり、近年は10%程度に留まっている。

表４－３－３ 資源ごみ排出量実績

（単位：t）

資源ごみ実績	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
総資源ごみ量	969.31	964.98	928.25	844.52	771.44
生活系	778.61	775.97	744.04	674.28	624.73
紙類	367.21	362.66	345.33	306.27	289.75
プラスチック類	69.84	75.18	75.26	78.45	78.39
金属類	106.44	110.57	102.86	84.88	71.90
びん類	235.12	227.56	220.59	204.68	184.69
集団回収資源物	103.11	94.79	96.17	93.24	94.39
紙類	62.52	54.83	58.82	57.55	56.71
金属類	35.28	34.95	33.50	31.00	34.90
びん類	5.30	5.01	3.85	4.69	2.78
事業系	87.59	94.22	88.04	77.00	52.32
紙類	12.18	15.23	14.84	18.86	14.68
プラスチック類	0.02	0.01	1.38	0.23	0.70
金属類	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
びん類	75.39	78.98	71.82	57.91	36.94
総資源ごみ量（集団回収を除く）	866.20	870.19	832.08	751.28	677.05
資源ごみの割合	9.6%	9.7%	9.3%	8.9%	8.2%
資源ごみの割合（集団回収を除く）	8.7%	8.8%	8.5%	8.0%	7.3%

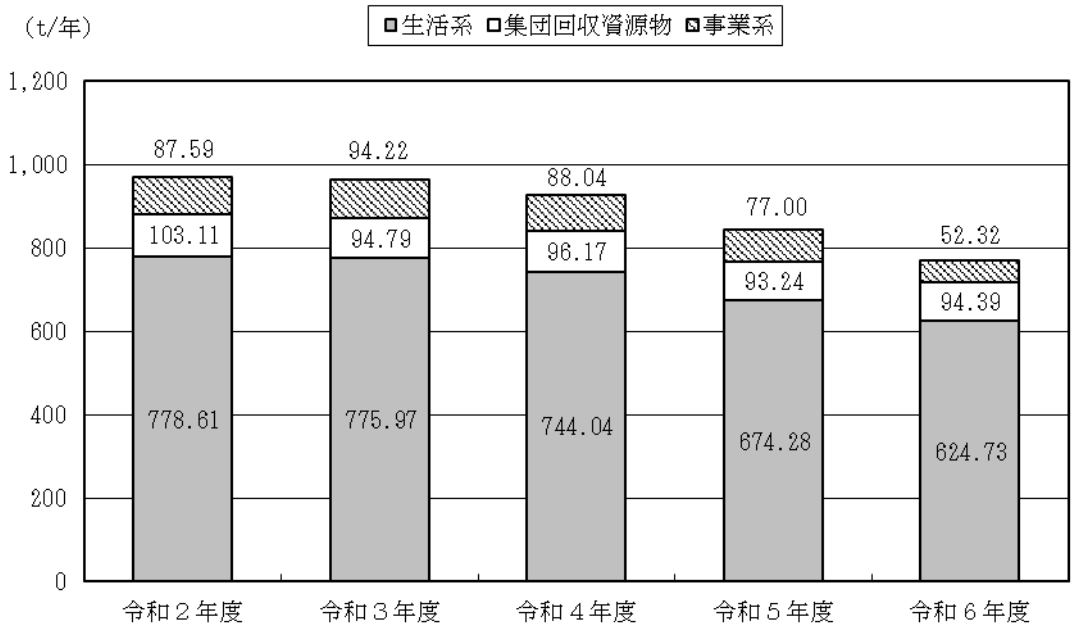


図４－３－３ 資源ごみ排出量実績

４．埋立処分量

本市における埋立処分量実績（市清掃センター年報）を表４－３－４及び図４－３－４に示す。

本市圏域内から発生する埋立対象物は減少傾向にあり、令和６年度は約 1,300ｔとなっている。また、最終処分率は 13～15%程度となっている。

表４－３－４ 埋立処分量の実績

（単位：t）

埋立処分量実績	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
埋立ごみ	11.47	9.15	7.19	3.24	14.00
焼却灰(焼却残渣)	1,114.32	1,118.48	1,085.98	989.68	987.49
粗大不燃残渣	261.06	241.48	234.35	219.75	229.20
手選別不燃残渣	117.79	117.03	113.08	93.80	95.21
最終処分量合計	1,504.64	1,486.14	1,440.60	1,306.47	1,325.90
最終処分率（%）	14.9%	15.0%	14.5%	13.8%	14.1%

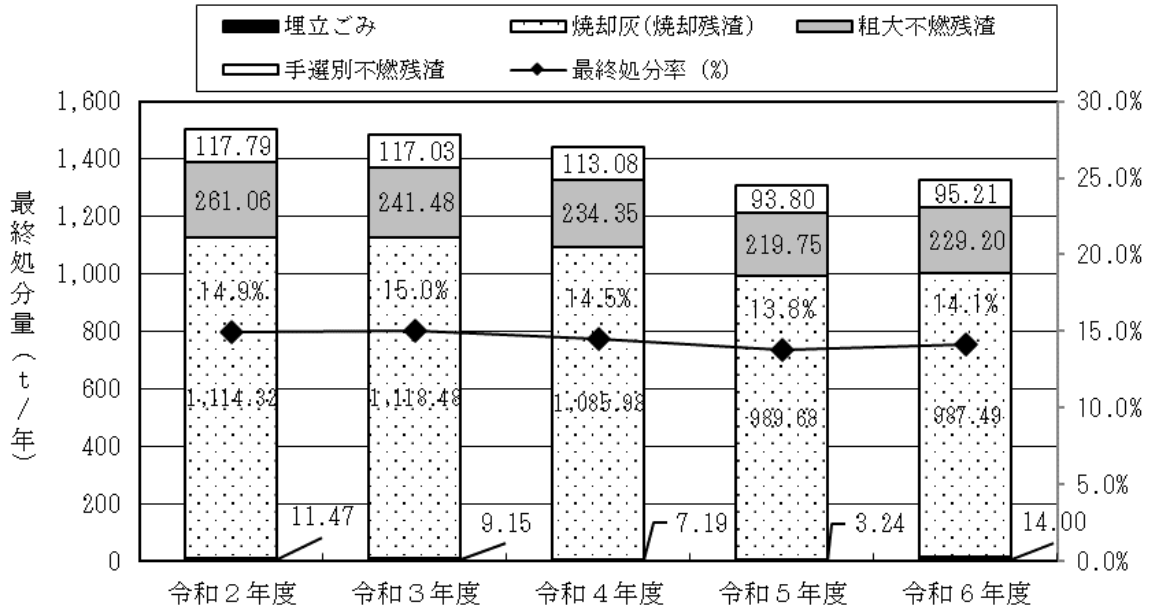


図４－３－４ 埋立処分量の実績

５．ごみ質

過去５か年度のごみ質分析結果を表４－３－５に、低位発熱量の推移を図４－３－５に示す。低位発熱量の最高値は 11,730kJ/kg、最低値は 5,080kJ/kg、平均値は 8,334kJ/kg であり、平均値は八幡平市清掃センターの設計上の高質ごみと基準ごみの間に位置している。

設計上の最高値である高質ごみを超えるケースも見られ、高質ごみ化が進んでいる状況にある。

表４－３－５ ごみ質調査結果

区分 / 年度・No・測定日			種類別組成						三成分			※単位容積重量	※低位発熱量
			紙布類	合成樹脂	木，竹，わら	厨芥類	不燃物	その他	水分	灰分	可燃分		
			(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(kg/m³)	(kJ/kg)
令和2年度	1	令和２.05	63.8	24.0	1.6	7.9	0.0	2.7	31.2	8.7	60.1	151.0	11,520
	2	令和２.08	56.5	19.5	14.5	4.5	3.5	1.5	53.8	5.1	41.1	164.5	5,560
	3	令和２.11	57.7	17.9	20.2	2.6	0.3	1.3	59.0	2.8	38.2	214.7	7,910
	4	令和３.02	61.3	22.1	1.9	9.9	3.7	1.1	46.5	6.3	47.2	155.8	8,410
令和3年度	5	令和３.05	51.0	31.1	5.6	6.1	1.9	4.3	52.3	5.4	42.3	148.5	8,360
	6	令和３.08	43.9	34.9	14.2	1.8	3.2	2.0	50.7	6.4	42.9	185.7	9,410
	7	令和３.11	34.9	34.3	7.8	16.0	2.6	4.4	43.1	6.6	50.3	158.7	11,730
	8	令和４.02	48.1	17.6	1.7	22.2	9.3	1.1	52.2	8.8	39.0	153.8	6,260
令和4年度	9	令和４.05	46.7	31.5	2.9	12.6	3.0	3.3	52.8	7.6	39.6	199.7	7,730
	10	令和４.08	39.6	27.8	4.4	16.4	7.9	3.9	57.3	7.6	35.1	210.9	6,310
	11	令和４.11	66.8	20.1	5.3	6.0	0.5	1.3	62.1	4.4	33.5	218.5	5,080
	12	令和５.02	52.3	24.3	0.9	10.9	7.4	4.2	48.0	11.4	40.6	137.2	6,830
令和5年度	13	令和５.05	46.8	25.0	2.9	15.6	5.7	4.0	46.2	8.0	45.8	159.8	9,150
	14	令和５.08	48.7	27.0	10.8	8.8	3.3	1.4	49.3	5.7	45.0	146.5	8,200
	15	令和５.11	51.8	27.8	9.1	7.9	1.5	1.9	61.6	4.0	34.4	208.2	6,710
	16	令和６.02	59.9	32.0	1.6	2.2	2.8	1.5	45.6	5.3	49.1	174.2	10,280
令和6年度	17	令和６.05	36.7	40.2	15.6	6.1	0.2	1.2	42.3	5.8	51.9	117.4	11,180
	18	令和６.08	34.8	38.5	3.3	14.4	1.7	7.3	45.6	5.6	48.8	137.4	10,030
	19	令和６.11	36.8	18.3	4.2	31.5	5.0	4.2	52.6	4.5	42.9	140.6	7,920
	20	令和７.02	43.6	28.1	1.2	24.0	1.4	1.7	49.3	5.9	44.8	167.6	8,090
最大値			66.8	40.2	20.2	31.5	9.3	7.3	62.1	11.4	60.1	218.5	11,730
最小値			34.8	17.6	0.9	1.8	0.0	1.1	31.2	2.8	33.5	117.4	5,080
平均値			49.1	27.1	6.5	11.4	3.2	2.7	50.1	6.3	43.6	167.5	8,334

（資料：精密機能検査報告書、ごみ質分析結果）

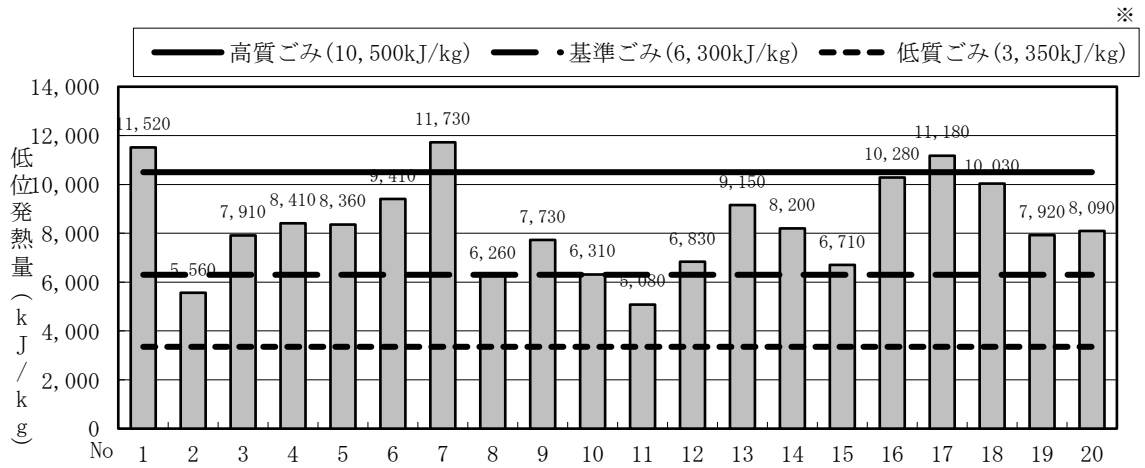


図４－３－５ 低位発熱量の推移

※「単位容積重量」…m³当たりの重さ。数値が大きいと水分・生ごみが多いため、燃焼温度が上がりづらく灰も多くなる傾向にある。

※「低位発熱量」…燃料を燃やしたときに出る熱から、水蒸気の熱を差し引いたもの。高いと炉の温度が上がりやすい。

※「高質ごみ」「基準ごみ」「低質ごみ」…焼却炉がどれくらいの熱量に耐えられるか、効率よく燃やせるかを判断するための基準。高いと燃えやすいが高すぎると炉の保護対策が必要となる。

６．公害防止

１）熱しゃく減量

過去５か年度における熱しゃく減量※の測定結果を表４－３－６及び図４－３－６に示す。測定結果は概ね６％以下となっており、維持管理基準である 10%以下となっている。

表４－３－６ 熱しゃく減量の推移

（単位：%）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
令和２年度	3.7	3.8	4.4	5.1	6.1	4.8	4.5	3.2	6.3	6.1	3.5	4.6	4.7
令和３年度	4.0	3.9	3.6	2.5	4.2	3.4	5.0	1.7	5.7	5.9	5.8	4.2	4.2
令和４年度	5.5	4.5	3.3	5.0	3.3	4.8	5.2	3.9	4.7	5.2	4.5	3.9	4.5
令和５年度	4.6	4.5	5.9	3.8	3.7	4.0	4.6	5.1	5.0	4.4	6.7	4.1	4.7
令和６年度	5.7	3.7	4.1	4.1	4.4	4.2	5.3	4.1	3.4	5.4	3.4	4.0	4.2

※令和２年６月については１号炉・２号炉の平均値である。

（資料：精密機能検査報告書）

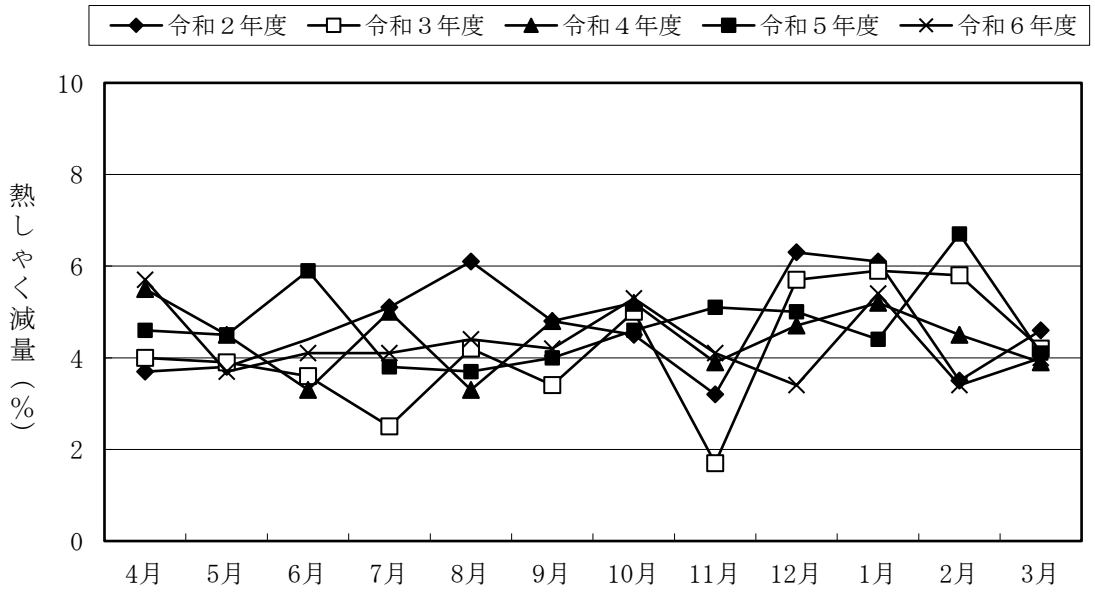


図４－３－６ 熱しゃく減量の推移

※「熱しゃく減量」…焼却灰を高温に熱した際に減る量を熱する前の量で除した値である。高温に熱する前の焼却灰に含まれる未燃焼成分がどの程度あるかを示す指標であり、燃えるごみが焼却炉において完全燃焼されているか否かを示している。

2）排ガス

過去５か年度における排ガス中のばい煙分析結果を表４－３－７に示す。

測定項目のいずれについても、基準値を下回っている。

表４－３－７ 排ガス測定結果

区分	項目	ばいじん		硫黄酸化物		窒素酸化物※1		塩化水素		水銀	
	基準値	0.05		100		250		200		50	
	単位	g/Nm^3		ppm		ppm		ppm		(μg/Nm^3)	
		1号炉	2号炉	1号炉	2号炉	1号炉	2号炉	1号炉	2号炉	1号炉	2号炉
令和２年度	1回目	<0.001	0.002	29	31	120	130	83	61	4.0	6.0
	2回目	<0.001	0.003	30	40	130	140	93	<26	1.8	1.2
	3回目	0.003	<0.001	<10	10	120	140	<26	<23	3.6	3.0
令和３年度	1回目	0.003	<0.002	<10	<10	140	130	28	<30	10.0	7.9
	2回目	0.003	<0.002	<9	11	120	140	<24	<24	1.4	0.1
	3回目	<0.001	<0.001	<9	<8	120	120	<26	<22	7.0	0.5
令和４年度	1回目	<0.002	<0.002	<10	22	120	110	<30	62	5.3	0.4
	2回目	<0.001	<0.001	9	20	140	130	<30	37	1.7	0.8
	3回目	<0.001	<0.001	14	<7	140	140	26	<30	1.7	0.2
令和５年度	1回目	<0.001	<0.001	13	19	120	130	24	27	1.2	1.0
	2回目	<0.001	0.007	10	16	120	140	<21	<24	2.4	1.5
	3回目	<0.001	0.003	7	14	69	129	<19	20	5.4	5.7
令和６年度	1回目	<0.001	<0.004	<8	12	110	140	<21	<21	8.0	8.9
	2回目	<0.001	<0.001	18	<8	120	120	51	<22	10.0	1.4
	3回目	<0.001	<0.001	15	<8	140	110	22	<21	7.9	0.9
最大値※2		0.007		40		140		93		10	
最小値※2		0.002		7		69		20		0	
平均値※2		0.003		17.89		125.93		44.50		3.70	

※1　窒素酸化物に係る基準は目標値
※2　未満表示は除外して算出

（資料：精密機能検査報告書）

3）ダイオキシン類

過去５か年度におけるダイオキシン類（排ガス、焼却灰、ばいじん）の測定結果を表４－３－８に示す。

ばいじん中のダイオキシン類濃度が基準値（3.0ng-TEQ/g）を超過しているが、常時薬剤処理を行い不溶化することで、有害物質の溶出を防ぎ適正に処分している。

区分	項目	排ガス		焼却灰		ばいじん	
	基準値	1		3		3	
	単位	ng-TEQ/m^{3}N		ng-TEQ/g		ng-TEQ/g	
		1号炉	2号炉	1号炉	2号炉	1号炉	2号炉
令和２年度		0.028	0.059	0.00033	0.0047	9.6	8.9
令和３年度		0.12	0.2	0.011	0.0068	8.5	6.2
令和４年度		0.16	0.076	0.01200	0.0044	5.6	5.2
令和５年度		0.061	0.068	0.00022	0.0011	6.0	4.0
令和６年度		0.045	0.15	0.081	0.0032	8.5	4.2
最大値		0.200		0.081		9.6	
最小値		0.028		0.00022		4.0	
平均値		0.097		0.012		6.7	

（資料：精密機能検査報告書）

表４－３－８ ダイオキシン類測定結果

7．温室効果ガス排出量

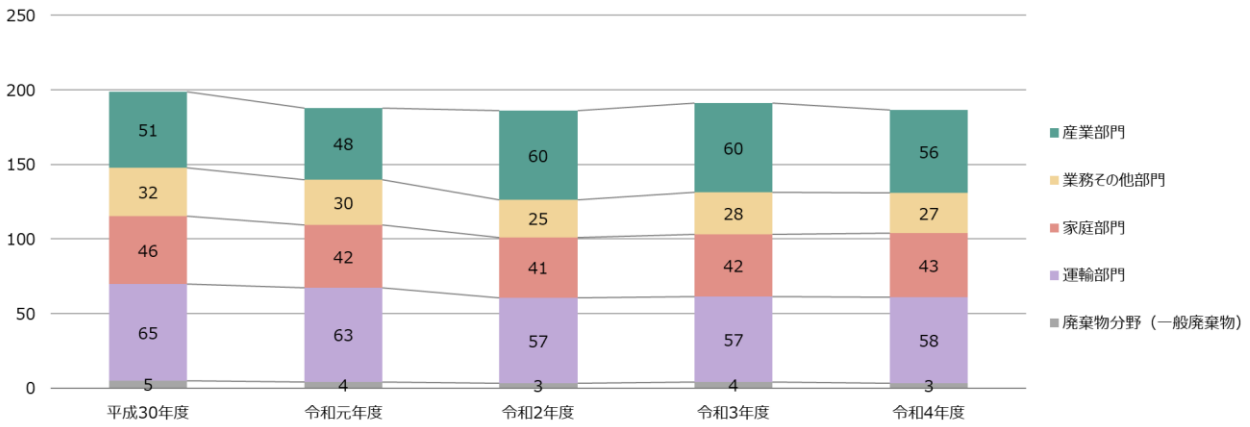
本市における温室効果ガス排出量の経年変化、部門・分野別構成比の比較を表４－３－９、図４－３－７及び図４－３－８に示す。

本市の温室効果ガスの排出量は、全国・県平均と比べると産業部門、業務その他部門は低い数値となっているが、家庭部門、運輸部門いずれも上回った排出量となっている。廃棄物分野に関しては同等の数値となっている。

表４－３－９ 部門・分野別の温室効果ガス排出量の経年変化

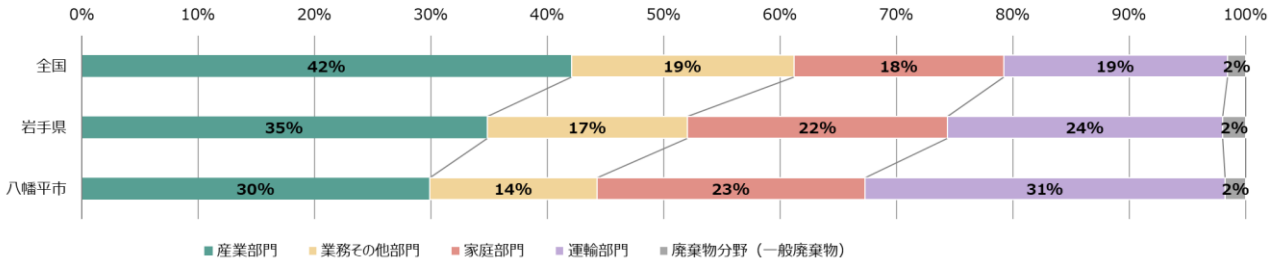
部門･分野	部門･分野別CO_2排出量				
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
合　計	**199**	**188**	**186**	**191**	**186**
産業部門	**51**	**48**	**60**	**60**	**56**
製造業	31	28	32	34	33
建設業･鉱業	3	3	3	4	3
農林水産業	17	17	25	23	19
業務その他部門	**32**	**30**	**25**	**28**	**27**
家庭部門	**46**	**42**	**41**	**42**	**43**
運輸部門	**65**	**63**	**57**	**57**	**58**
自動車	63	61	56	56	56
旅客	26	25	22	21	22
貨物	37	36	34	35	34
鉄道	2	2	1	1	1
船舶	0	0	0	0	0
廃棄物分野（一般廃棄物）	**5**	**4**	**3**	**4**	**3**

（資料：環境省自治体排出量カルテ）



（資料：環境省自治体排出量カルテ）

図４－３－７ 部門・分野別の温室効果ガス排出量の経年変化



（資料：環境省自治体排出量カルテ）

図４－３－８ 部門・分野別構成比の比較（令和４年度）

８．ごみ処理経費

過去５か年度におけるごみ処理に係る経費を表４－３－10 及び図４－３－９に示す。処理及び維持管理費は、概ね５億円前後で推移しており増加傾向にある。

表４－３－10 ごみ処理経費

（単位：千円）

項目			令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
建設・改良費	工事費	収集運搬施設	0	0	0	0	0
		中間処理施設	0	0	0	0	0
		最終処分場	0	0	0	0	0
		その他	0	0	12,848	32,239	10,105
		工事費小計	0	0	12,848	32,239	10,105
	調査費		0	0	0	0	0
	組合分担金		0	0	0	0	0
	建設・改良費小計		0	0	12,848	32,239	10,105
処理及び維持管理費	人件費	一般職	3,076	3,467	3,056	3,352	3,264
		技能職 収集運搬	0	0	0	0	0
		技能職 中間処理	0	0	0	0	0
		技能職 最終処分	0	0	0	0	0
		人件費小計	3,076	3,467	3,056	3,352	3,264
	処理費	収集運搬費	0	0	0	0	0
		中間処理費	461	469	465	498	504
		最終処分費	142	80	81	89	91
		処理費小計	603	549	546	587	595
	車両等購入費		0	0	0	0	0
	委託費	収集運搬費	128,962	134,576	137,189	139,268	141,215
		中間処理費	293,496	264,933	264,922	270,608	285,423
		最終処分費	32,594	62,359	62,359	63,089	53,003
		その他	0	0	0	0	0
		委託費合計	455,052	461,868	464,470	472,965	479,641
	組合分担金		0	0	0	0	0
	調査研究費		0	0	0	0	0
	処理及び維持管理費小計		458,731	465,884	468,072	476,904	483,500
その他			0	2,734	0	0	0
合計			458,731	468,618	480,920	509,143	493,605

（資料：環境省一般廃棄物処理実態調査）

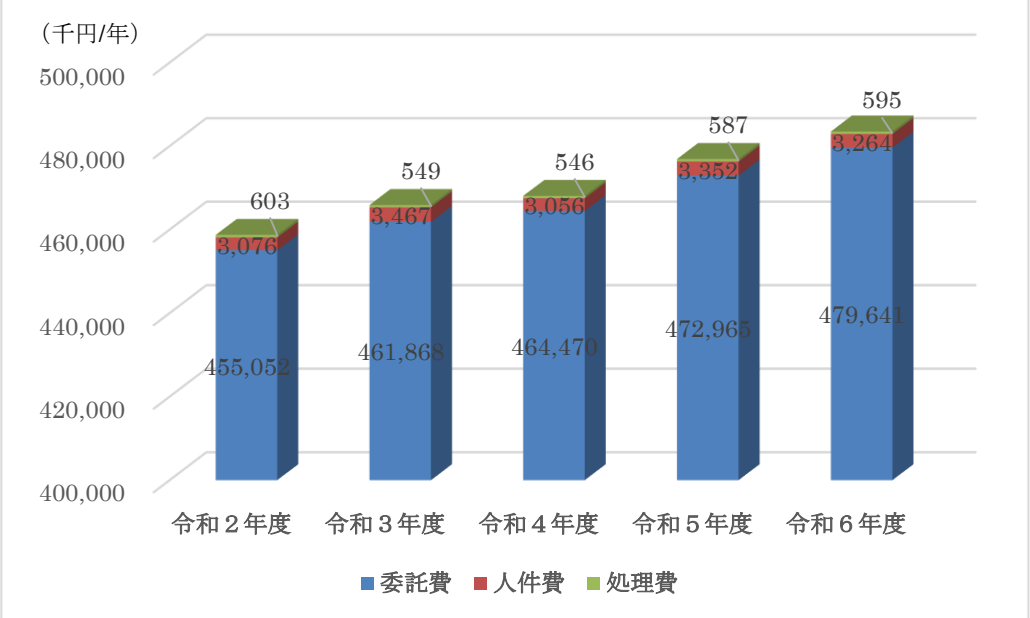


図４－３－９ ごみ処理経費（処理及び維持管理費）

第５章 現況の評価と課題の抽出

第１節 現況の評価

１．目標の達成状況

令和４年３月第１回中間見直し後の各種目標値の達成状況を表５－１－１に示す。

ごみ排出量の減量は、家庭系ごみ、事業系ごみともに計画どおりに進捗していない状況にある。

資源化率は、10%前後で推移してきたが、令和５年度以降は 10%を割り込み、計画どおりに進捗していない。

最終処分量は、計画どおりに推移し、令和４年度以降は計画値を達成している。

表５－１－１ 当初計画における各種目標値の達成状況

		令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	目標値 （令和 12 年度）
計画値（現行）	家庭系ごみ	702ｇ/人日	687ｇ/人日	673ｇ/人日	659ｇ/人日	573ｇ/人日以下
	事業系ごみ	330ｇ/人日	322ｇ/人日	316ｇ/人日	309ｇ/人日	268ｇ/人日以下
	資源化率	11.8%	12.7%	13.7%	14.6%	20.6%以上
	最終処分量	1,479ｔ	1,443ｔ	1,418ｔ	1,380ｔ	1,200ｔ以下
実績値	家庭系ごみ	702ｇ/人日 (±0)	714ｇ/人日 (＋27)	699ｇ/人日 (＋26)	717ｇ/人日 (＋58)	
	事業系ごみ	353ｇ/人日 (＋23)	360ｇ/人日 (＋38)	346ｇ/人日 (＋30)	350ｇ/人日 (＋41)	
	資源化率	10.5% (－1.3)	10.3% (－2.4)	9.8% (－3.9)	9.7% (－4.9)	
	最終処分量	1,486ｔ (+7)	1,441ｔ (-2)	1,306ｔ (－112)	1,326ｔ (－54)	

※（ ）内の数値は前計画の計画値と実績値の差を示したものである。

※実績値は市清掃センター年報による。

２．一般廃棄物処理に係る国の指針

平成 19 年６月に策定（令和７年３月一部改訂）された「市町村における循環型社会づくりに向けた一般廃棄物処理システムの指針（以下「処理システム指針」という。)」、「一般廃棄物処理有料化の手引き（令和４年３月改訂）（以下「有料化の手引き」という。)」及び「一般廃棄物会計基準（令和３年５月改訂)」は、「３つのガイドライン」として、地方自治体における循環型社会の形成に向け、３Ｒに重点を置いた最適なリサイクル・処理システムの構築を図るため環境省が策定したものである。

３．分別収集区分

処理システム指針では標準的な分別収集区分が示されており、表５－１－２に本市における実施状況を示す。

表５－１－２ 処理システム指針における一般廃棄物の標準的な分別収集区分と本市の実施状況

標準的な分別収集区分			本市の実施状況
循環利用を目指し単一素材又は品目で分別回収	プラスチック	ペットボトル	**実施済**
		プラスチック製容器包装	**一部実施済（白色トレイのみ回収）**
		製品プラスチック	未実施
	バイオマス	廃食用油	未実施
		生ごみ	未実施
		剪定枝	未実施
	古紙、紙製容器包装	古紙（新聞、雑誌、段ボール、紙パック、雑がみ（容器包装以外の紙と一括して分別収集され、資源化される紙製容器包装を含む））	**実施済**
		紙製容器包装	**実施済（雑がみとして回収）**
	繊維製品（衣類）		**実施済**
	ガラス類（ガラスびん）		**実施済**
	金属類（アルミ缶・スチール缶、小物金属）		**実施済**
	小型家電		**実施済**
	リチウム蓄電池やリチウム蓄電池を使用した製品（以下「リチウム蓄電池等」という。）		**実施済**
	その他専用の処理のために分別するごみ		**実施済（スプレー缶、羽毛布団）**
粗大ごみ			**実施済**
燃やさないごみ			**実施済**
燃やすごみ			**実施済**

４．適正な循環的利用・適正処分の方法

処理システム指針では、適正な循環的利用・適正処分の方法について、プラスチック、バイオマス等の分別収集の区分ごとに、複数の選択肢が示されており、その中から各自の地域事情に応じて適切な方法を選択するものとなっている。

表５－１－３に処理システム指針における適正な循環的利用・適正処分の方法に対する本市における方法を示す。

表５－１－３ 処理システム指針における適正な循環的利用・適正処分の方法

プラスチック

	分別方法	回収方法	中間処理	循環的利用、適正処分	本市における方法
ペットボトル	排出源で分別するか、又は、缶、びんと混合収集する。	ステーション、戸別又は拠点回収やそれらの併用とする。	分別の程度や混合収集するものの組み合わせに応じ、中間処理施設において異物の除去、種類別の選別を行い、種類に応じて圧縮又は梱包を行う。 付着した汚れの洗浄が困難なものについて、分別収集の対象からの適切な除去を図る。	○指定法人の引取りによる方法、それ以外の民間事業者等を活用した独自処理による資源化 ○除去した異物について、熱回収施設又は最終処分場で適正処分	分別収集し、資源化処理を行っている。
プラスチック製容器包装	排出源で分別するか、容器包装プラスチックと製品プラスチックを一括回収する。		指定法人の引取り又は委託する方法（プラスチック資源循環促進法第 32 条ルート）の場合は上記と同様の対応を行なう。再商品化計画の認定を受ける方法（プラスチック資源循環促進法第 33 条ルート）で中間処理を再商品化事業者が行なう場合、再商品化事業者が資源化できる範囲外のものについて異物除去を行なう。	○指定法人の引取り又は委託する方法（プラスチック資源循環促進法第 32 条ルート）、再商品化計画の認定を受ける方法（プラスチック資源循環促進法第33 ルート）、それ以外の民間事業者等を活用した独自処理による資源化 ○除去した異物について、熱回収施設又は最終処分場で適正処分	白色トレイのみ分別収集し、資源化処理を行っている。
製品プラスチック					現時点では分別収集していない。

バイオマス

	分別方法	回収方法	中間処理	循環的利用、適正処分	本市における方法
廃食用油	排出源で分別。廃食用油以外の異物は混入させない。	ステーション、戸別又は拠点回収やそれらの併用とする。	・安全な保管 ・バイオディーゼル燃料化	○バイオディーゼル燃料、持続可能な航空燃料（SAF）、工業原料としての活用 ○除去した異物について、熱回収施設又は最終処分場で適正処分	現時点では分別収集していない。
生ごみ	排出源で分別。	ステーション、戸別又は拠点回収やそれらの併用とする。	・堆肥化 ・メタン化	○堆肥の適正利用 ○メタン発酵により生成したバイオガスの発電や燃料としての利用 ○除去した異物について、熱回収施設又は最終処分場で適正処分	
剪定枝	排出源で分別。	ステーション、戸別又は拠点回収やそれらの併用とする。	・堆肥化 ・チップ化	○堆肥の適正利用、チップの燃料利用 ○除去した異物について、熱回収施設又は最終処分場で適正処分	

古紙、紙製容器包装

	分別方法	回収方法	中間処理	循環的利用、適正処分	本市における方法
古紙（新聞、雑誌、段ボール、紙パック、雑がみ※）	排出源で分別し、リサイクルを著しく阻害するものは混入させないこと。	ステーション、戸別又は拠点回収やそれらの併用、集団回収とする。	必要最小限度の異物除去、必要に応じて梱包等を行い、そのまま売却。	○回収業者等への売却等による再生利用 ○除去した異物について、熱回収施設又は最終処分場で適正処分	分別収集し、資源化処理を行っている。
紙製容器包装	排出源で分別し、食品残さが取れないもの、リサイクルを著しく阻害するものは混入させないこと。	ステーション、戸別又は拠点回収やそれらの併用とする。	必要最小限度の異物除去、必要に応じて梱包等を行い、そのまま売却。	○指定法人の引取りによる方法や回収業者等への売却等による再生利用 ○除去した異物について、熱回収施設又は最終処分場で適正処分	雑がみとして分別収集し、資源化処理を行っている。

※雑がみは、容器包装以外の紙と一括して分別収集され、資源化される紙製容器包装を含む。

繊維製品

	分別方法	回収方法	中間処理	循環的利用、適正処分	本市における方法
繊維製品（衣類）	排出源で分別し、濡れ、匂いのあるものはリユース・リサイクルを阻害する可能性があるため混入させない。	ステーション、戸別又は拠点回収やそれらの併用、集団回収とする。	必要最小限度の異物除去、必要に応じて梱包等を行い、そのまま売却資源化の技術開発が進められている。	○回収業者等への売却等によるリユース・再生利用 ○除去した異物について、熱回収施設又は最終処分場で適正処分	拠点回収又は直接搬入で受入れ、資源化処理を行っている。

ガラス類

	分別方法	回収方法	中間処理	循環的利用、適正処分	本市における方法
ガラス類（ガラスびん）	排出源で分別するか、又は、缶、ペットボトルと混合収集する。	ステーション、戸別又は拠点回収やそれらの併用とする。	分別の程度や混合収集するものの組み合わせに応じ、中間処理施設において異物の除去、リターナブルびんとそれ以外、種類別に選別する。付着した汚れの洗浄が困難なものについて、容器包装に係る分別収集の対象からの適切な除去を図る。	○指定法人の引き取り等による再商品化 ○リターナブルびんについて、びん商等への引渡しによる再利用	分別収集し、資源化処理を行っている。

金属類、小型家電

	分別方法	回収方法	中間処理	循環的利用、適正処分	本市における方法
金属類（アルミ缶・スチール缶、小物金属）	排出源で分別するか、又はアルミ缶・スチール缶はびん、ペットボトルと混合収集する。	ステーション、戸別又は拠点回収やそれらの併用とする。	分別の程度や混合収集するものの組み合わせに応じ、中間処理施設において異物の除去、種類別の選別を行い、圧縮又は梱包を行う。付着した汚れの洗浄が困難なものについて、容器包装に係る分別収集の対象からの適切な除去を図る。	○アルミ・スチール缶等の回収業者等への売却等による再生利用	分別収集し、資源化処理を行っている。
小型家電	排出源で分別する。又は燃やさないごみと混合収集する。	ステーション、戸別又は拠点回収等やそれらの併用とする。	混合収集の場合、選別する。	○認定事業者等への引渡しによる有用金属の回収・再資源化	拠点回収、分別収集又は直接搬入で受入れ、認定事業者へ引き渡している。

リチウム蓄電池等、その他専用の処理のために分別するごみ

	分別方法	回収方法	中間処理	循環的利用、適正処分	本市における方法
リチウム蓄電池等	排出源で分別する。	ステーション、戸別又はそれらと拠点回収の併用とする。	性状に見合った処理及び保管をする。 リチウム蓄電池等に対して、衝撃がかかる破砕機等への混入を防ぐため、手選別、機械選別を行う。	○性状に見合った再生利用又は適正処分	拠点回収、分別収集又は直接搬入で受入れ、認定事業者へ引き渡している。
その他専用の処理のために分別するごみ	排出源で分別する。	ステーション、戸別又は拠点回収やそれらの併用とする。	性状に見合った処理及び保管をする。	○性状に見合った再生利用又は適正処分	スプレー缶及びカセットボンベを分別収集し、施設内にて処理を行っている。 羽毛布団を直接搬入で受入れ、資源化処理を行っている。

粗大ごみ、燃やさないごみ、燃やすごみ

	分別方法	回収方法	中間処理	循環的利用、適正処分	本市における方法
粗大ごみ	・排出者でリユースの検討。 ・排出源で分別する。	ステーション、戸別、又は拠点回収やそれらの併用、その他の指定場所での回収とする。	修理等による再使用。 金属等の回収、燃やせる残さの選別、かさばるものの減容等の中間処理を行う。 破砕処理前に回収可能な資源物を回収することが望ましい。可燃性粗大ごみと不燃性粗大ごみを仕分けし、資源回収率の向上を図ることもできる。	○修理等して再使用 ○金属等の回収業者等への売却等による再生利用 ○除去した異物について、熱回収施設又は最終処分場で適正処分	粗大ごみ処理施設にて破砕・選別処理を行っている。回収した金属類は資源化処理を行っている。また、不燃物は最終処分場で適正に処分を行っている。
燃やさないごみ	・排出者でリユースの検討。 ・排出源で分別する。	ステーション、戸別、又は拠点回収やそれらの併用とする。	破砕処理工程前に回収可能な資源物を回収する。 金属等の回収、燃やせる残さの選別、かさばるものの減容等の中間処理を行う。	○金属等の回収業者等への売却等による再生利用 ○除去した異物について、熱回収施設又は最終処分場で適正処分	粗大ごみと同様。
燃やすごみ	・排出源で分別する。	ステーション、戸別回収とする。	焼却(灰溶融方式併設を含む)、ガス化溶融、ガス化改質、固形燃料化、炭化を行う。 焼却に伴って生じる焼却灰は、最終処分場で適正処分、有効利用としてセメント原料化、灰溶融しスラグ化、焼成する。 焼却に伴って生じるばいじんは、薬剤等により安定化処理し最終処分場で適正処分、有効利用としてセメント原料化、山元還元する。	○焼却に当たっては、ダイオキシン類対策の完備した施設で、回収した熱をエネルギーとしてできる限り利用することを基本とする。エネルギー利用は、発電及び蒸気又は温水による熱供給（発電と熱供給の組合せを含む）をできるだけ行うこととする。	燃えるごみとして分別収集し、焼却処理を行っている。燃焼によって生じた一部の余熱は温水として利用している。

５．一般廃棄物処理システムの評価

１）評価項目

処理システム指針では、一般廃棄物処理システムについて環境負荷面や経済面等から客観的な評価を行い、住民や事業者に対して明確に説明できるよう努める必要があるとしている。その客観的な評価のための標準的な評価項目を表５－１－４に示す。

表５－１－４　一般廃棄物処理システムの標準的な評価項目

視点	指標で測るもの	指標の名称	単位	計算方法	指数化の方法	指数の見方
循環型社会形成	廃棄物の発生	人口１人１日当たりごみ総排出量	kg/人・日	（年間収集量＋年間直接搬入量＋集団回収量）÷計画収集人口÷365日（又は366日。以下同じ。）	（1－[実績値－平均値]÷平均値）×100	指数が大きいほどごみ総排出量は少なくなる
	廃棄物の再生利用	廃棄物からの資源回収率	t/t	総資源化量÷（年間収集量＋年間直接搬入量＋集団回収量）	実績値÷平均値×100	指数が大きいほど資源回収率は高くなる
	エネルギー回収・利用	廃棄物からのエネルギー回収量	MJ/t	エネルギー回収量（正味）※1÷熱回収施設（可燃ごみ処理施設）における総処理量	実績値÷平均値×100	指数が大きいほどエネルギー回収量は多くなる
	最終処分	廃棄物のうち最終処分される割合	t/t	最終処分量÷（年間収集量＋年間直接搬入量＋集団回収量）	（1－[実績値－平均値]÷平均値）×100	指数が大きいほど最終処分される割合は小さくなる
地球温暖化防止	温室効果ガスの排出	廃棄物処理に伴う温室効果ガスの人口１人１日当たり排出量	kg/人・日	温室効果ガス排出量（正味）※2÷人口÷365日	（1－[実績値－平均値]÷平均値）×100	指数が大きいほど温室効果ガスの排出量は少なくなる
公共サービス	廃棄物処理サービス	住民満足度	－	※3	実績値÷平均値×100	指数が大きいほど住民満足度は高くなる
経済性	費用対効果	人口１人当たり年間処理経費	円/人・年	廃棄物処理に要する費用÷計画収集人口	（1－[実績値－平均値]÷平均値）×100	指数が大きいほど一人当たり処理経費は少なくなる
		資源回収に要する費用	円/t	資源化に要する総費用（正味）÷総資源化量	（1－[実績値－平均値]÷平均値）×100	指数が大きいほど費用対効果は高くなる
		エネルギー回収に要する費用	円/MJ	エネルギー回収に要する総費用（正味）÷エネルギー回収量（正味）	（1－[実績値－平均値]÷平均値）×100	指数が大きいほど費用対効果は高くなる
		最終処分減量に要する費用	円/t	最終処分減量に要する総費用÷（年間収集量＋年間直接搬入量＋集団回収量）	（1－[実績値－平均値]÷平均値）×100	指数が大きいほど費用対効果は高くなる

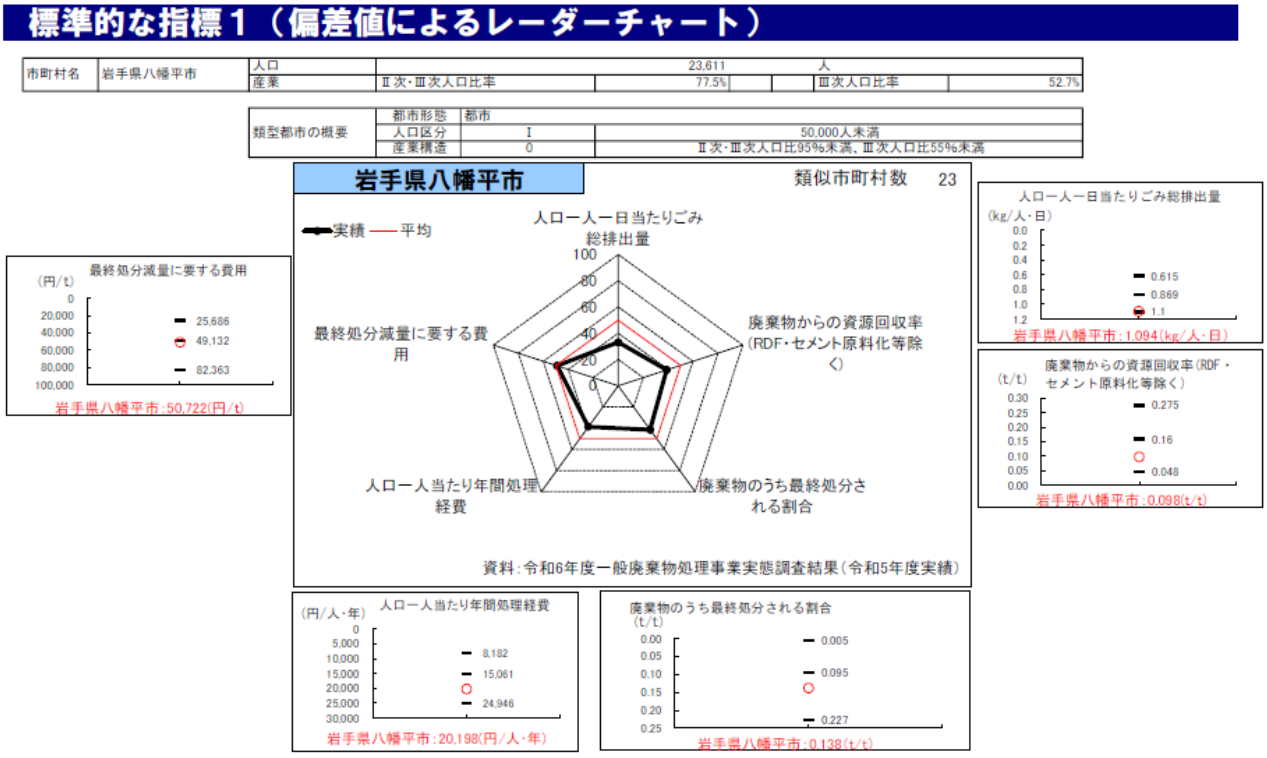
※1　エネルギー回収量：エネルギー回収量（所内・所外利用）[MJ]－施設での購入電力量[kWh]×3.6[MJ/kWh]
　　－燃料の種類毎の消費量×燃料の種類毎の発熱量[MJ/単位]
※2　温室効果ガス排出量：各過程（収集、中間処理、最終処分）における温室効果ガスの排出量[kg-CO_2/年]
※3　住民満足度：アンケート調査等による評価

2）本市の状況

表５－１－４に示す評価項目のうち、人口規模等が類似している自治体と比較可能な５項目について評価した結果を図５－１－１に示す。

評価に用いているデータは、令和６年度における一般廃棄物処理実態調査結果（令和５年度実績）である（データ出典は環境省 HP）。

いずれの項目も類似自治体平均値（50）よりも低い評価結果となっている。特に「人口１人１日当たりごみ総排出量」は偏差値が 33.1 と著しく低い値となっている。



標準的な指標	人口一人一日当たりごみ総排出量 (kg/人・日)	廃棄物からの資源回収率（RDF・セメント原料化等除く） (t/t)	廃棄物からのエネルギー回収量 (MJ/t)	廃棄物のうち最終処分される割合 (t/t)	人口一人当たり年間処理経費 (円/人・年)	最終処分減量に要する費用 (円/t)
平均	0.869	0.16	0	0.095	15,061	49,132
最大	1.1	0.275	0	0.227	24,946	82,363
最小	0.615	0.048	0	0.005	8,182	25,686
標準偏差	0.133	0.056	0	0.051	4569	16692
当該市町村実績	1.094	0.098	0	0.138	20,198	50,722
偏差値	33.1	38.9	-	41.6	38.8	49.0

図５－１－１ 一般廃棄物処理システム評価指標の評価結果

第２節 課題の抽出

１．排出段階及び収集運搬段階に関する課題

家庭系ごみ、事業系ごみともに排出段階における発生抑制が計画どおりに進捗していない状況にあり、排出段階における発生抑制のより一層の推進が必要である。

ごみの排出（分別の指導）及び収集運搬に関する課題として以下の項目が挙げられる。

○家庭系ごみの有料化によるごみ排出量削減
○事業系ごみの排出量削減の推進
○分別収集拡大に応じた収集運搬計画の見直し

１）家庭系ごみの有料化による排出量削減

本市の人口１人１日当たりごみ総排出量は類似自治体と比較して非常に多く、過去５か年ともに 1,000g/人・日を超過している状況にある。

ごみ総排出量の削減に効果があるとされているごみ有料化について、清掃センターに搬入されるごみは搬入量に応じて手数料を徴収している。一方、家庭系ごみは燃えるごみ、ペットボトル及びトレイ類は指定袋を、紙類は指定袋又は指定紐を購入して排出することになっているものの、指定袋や指定紐の購入費用に処理手数料を上乗せしていないため、現状は有料化の手引きでいう「有料化」には該当しない。

家庭系ごみに対する有料化の導入については、今後も県内外の自治体における動向を見極めながら継続的に検討していく必要がある。

２）事業系ごみの排出量削減の推進

事業系ごみは、令和２年度以降に減少したが横ばい傾向で推移している。

今後は、事業者への啓発や指導についてより一層の推進が必要である。

３）分別収集拡大に応じた収集運搬計画の見直し

本市では家庭系ごみを大きく分けて３種類（可燃ごみ、不燃ごみ（粗大ごみと埋立ごみを含む)、資源ごみ）に区分している。特に資源ごみは、空き缶類、空きびん類、ペットボトル、トレイ類、紙類（新聞紙、雑誌、段ボール、紙パック、雑がみ）と細かく分別排出することとしている。

今後はこれらに加えてプラスチック製容器包装、並びに令和４年４月から施行の「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」に基づくプラスチック資源についても分別排出することを検討している。

一方、このように分別区分が細かくなると、収集運搬に要する費用は右肩上がりとなる恐れがある。そのため、分別区分の変更を行う際は、分別区分全品目の収集頻度、収集ルートなどを再点検し、収集運搬に係る費用を低減させるべく収集運搬計画を見直す必要がある。

２．資源化に関する課題

資源化に関する課題としては、以下の項目が挙げられる。

○資源化率の向上

１）資源化率の向上

本市では廃棄物からの資源回収率が類似自治体と比較して低い状態にあり、過去５か年の資源化率は 10%程度に留まっている。

一方、図５－２－１は、１人１日当たり生活系ごみの区分別排出量を類似自治体（23 市町村）と比較し偏差値化したものである。燃えないごみや資源ごみは類似自治体と比較して同程度の排出量となっているが、燃えるごみは他と比べて排出量が多い状態となっている。

このため、資源化率の向上を目指すには、燃えるごみである紙類やプラスチック類の分別排出の徹底を重点的に図る必要がある。また、資源化率の向上には燃えるごみの排出量を低減させることが重要であることから、生ごみの発生抑制に係る施策を推進していく必要がある。

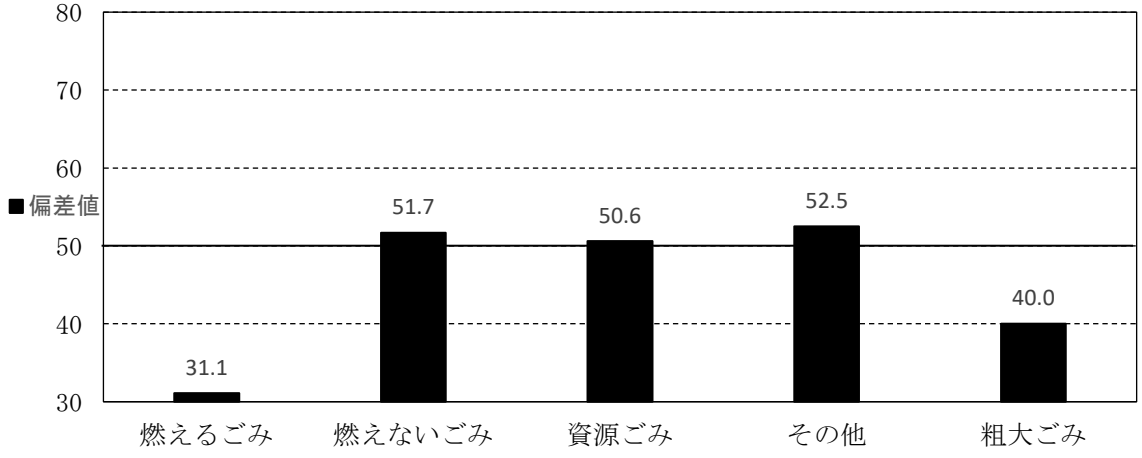


図５－２－１ ごみ区分別排出量指標（類似自治体との比較）

３．中間処理に関する課題

中間処理に関する課題としては、以下の項目が挙げられる。

○広域ごみ処理施設稼働を見越したごみ焼却施設の適正な維持管理

１）広域ごみ処理施設稼働を見越したごみ焼却施設の適正な維持管理

県の広域化計画に基づき、本市を含む県央ブロックを構成する自治体は「県央ブロックごみ・し尿処理広域化推進協議会」を設立し、ごみ処理及びし尿処理の広域化について検討を進めている。このうちごみ処理については新たな広域ごみ焼却施設の稼働開始を目指して検討を進めているところである。

一方、平成 10 年度に稼働を開始した本市清掃センターごみ焼却施設は、ごみ焼却施設を構成する各設備・機器は経年を主因とした性能の低下、不具合や故障の増加から、平成 29 年度から平成 30 年度に基幹的設備改良工事を実施したところである。しかし、施設全体としては、令和９年度で稼働から 30 年目を迎えるため、基幹的設備改良工事を実施しなかった設備を中心に引き続き経年を主因とした性能の低下、不具合や故障についての配慮が必要な状況である。

こうした背景を踏まえ、広域ごみ焼却施設が稼働するまでは、本市から発生する燃えるごみ等を本市清掃センターごみ焼却施設において適正に処理しなければならないことから適正な維持管理を実施していく必要がある。

４．最終処分に関する課題

最終処分に関する課題としては、以下の項目が挙げられる。

○栗日影沢最終処分場の廃止

○一般廃棄物最終処分場の適正管理と残余容量（残余年数）把握

１）栗日影沢最終処分場の廃止

本市が所有する最終処分場は、昭和 62 年に供用開始した栗日影沢最終処分場と、平成 24 年に供用開始した一般廃棄物最終処分場の２箇所である。このうち栗日影沢最終処分場は既に埋立を終了しており、今後は最終処分場の廃止に係る技術上の基準に基づき廃止に向けた手続きを進めていくとともに、廃止まで適切な維持管理を継続していく必要がある。

２）一般廃棄物最終処分場の適正管理と残余容量（残余年数）把握

埋立中である一般廃棄物最終処分場については、一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を遵守しつつ適正に管理していく必要がある。

また、「最終処分場残余容量算定マニュアル（環境省・平成 17 年３月）」に基づいて残余容量調査を実施し正確な残余年数を把握することで、嵩上げ工事の実施時期や次期最終処分場の整備開始時期の目途をつけることが可能となることから、少なくとも年に１回は当該調査を継続して実施し、現状把握を行う必要がある。

５．その他の課題

その他の課題としては、以下の項目が挙げられる。

○災害廃棄物処理計画への対処に係る体制構築

１）災害廃棄物処理計画への対処に係る体制構築

近年は東日本大震災、台風災害といった大規模な災害が頻発している。これらの災害に伴って発生する災害廃棄物は一般廃棄物であることから、原則として自治体が所有する一般廃棄物処理施設において適正に処理することが求められる。

また、災害廃棄物は一度に大量に発生するとともに、可燃系や不燃系が混合した状態で各施設に搬入されるという特徴を有するため、災害が発生してから慌てて対応するのではなく、予め災害廃棄物の処理に関する詳細な計画を策定しておく必要がある。

このような状況から本市では、令和３年４月に災害廃棄物処理計画を策定し、平時からの災害廃棄物に対処する体制づくりの構築を進めているところである。今後は、災害廃棄物処理計画の市民への周知を図るなど、災害廃棄物への対処に係る体制構築の推進と強化を図っていく必要がある。

第６章 計画処理量の予測

第１節 ごみの発生量及び処理量推計

１．各種予測を行う上での基本方針

将来のごみ発生量と処理・処分量の動向を把握するため、計画対象区域内人口と計画ごみ量の予測を行う。予測に当たっては、「ごみ処理施設構造指針解説（構造指針）」において参考推計方法として記載されている回帰式による予測を主として用いるものとする。構造指針では、計画対象区域内人口の予測に関しては過去 10 か年分のデータ、計画ごみ量の予測に関しては過去５か年分のデータを用いることとなっている。

回帰式予測は、過去の実績をグラフにプロットしてその規則性を見出し、さらにその規則性により適合する傾向線を最小二乗法により算出する方法である。回帰式を採用する場合、原則として相関係数の最も高い式を採用することとする。

なお、計画対象区域内人口を予測する場合には、回帰式による方法のほか、国立社会保障・人口問題研究所が公表している推計人口を活用する方法もある。

一方、ごみ量を予測する場合には、同じく回帰式による方法のほか、増加や減少の幅が著しく大きい式や、減少により値が“０”となるような実現性の低い式については、過去の実績との相関が認められないと判断し、別途過去５か年分の平均値や直近値を用いる方法もある。

以上から、計画対象区域内人口及び計画ごみ量の予測に採用する回帰式等を以下に示す。

① 直線回帰式	$y = a x + b$	回帰式
② 分数回帰式	$y = a / x + b$	
③ ルート回帰式	$y = a x^{1/2} + b$	
④ 対数回帰式	$y = a \log x + b$	
⑤ べき乗回帰式	$y = a x^{b}$	
⑥ 指数回帰式	$y = a b^{x}$	
⑦ 直近推移式	直近実績値が継続する	その他
⑧ 実績平均式	過去５か年分実績の平均値が継続する	
⑨ 人口問題研究所の式	同研究所公表の推計値を採用する	

また、回帰式については、以下の方針に基づいて選定する。

～ 人口推計及び計画ごみ量推計における回帰式等採用方針 ～

ａ）原則として相関係数が最も高い式を選定する。

ｂ）ただし、相関係数が最も高くとも、大きく減少したり、増加したりする式である場合は、現実性を考慮して直近推移式又は実績平均式を採用する。

なお、計画処理量の予測にあたっては、市清掃センター年報をもとに推計する。

２．計画対象区域内人口の予測

１）人口予測結果（回帰予測）

過去 10 か年度（平成 28～令和７年度）の各年 10 月１日現在における人口（広域振興圏別・市町村別人口の推移）を基に予測した人口を表６－１－１及び図６－１－１に示す。

表６－１－１ 人口予測結果

（単位：人）

年度	年目	実績	
平成28年度	1	25,861	
平成29年度	2	25,411	
平成30年度	3	25,055	
令和元年度	4	24,412	
令和２年度	5	24,023	直線式　y=-443.51515x+26278.9333
令和３年度	6	23,515	分数式　y=3961.82402(1/x)+22679.1943
令和４年度	7	23,212	ルート式　y=-1881.5103(√x)+28067.0298
令和５年度	8	22,701	対数式　y=-1755.3650(LNx)+26490.9757
令和６年度	9	22,265	べき乗式　y=26586.6532×(x^0.0731524)
令和７年度	10	21,941	指数式　y=26371.0373×(0.98156307^x)

年度	年目	直線式	分数式	ルート式	対数式	べき乗式	指数式
令和８年度	11	21,400	23,039	21,827	22,282	22,309	21,490
令和９年度	12	20,957	23,009	21,549	22,129	22,168	21,093
令和10年度	13	20,513	22,984	21,283	21,989	22,038	20,704
令和11年度	14	20,070	22,962	21,027	21,858	21,919	20,323
令和12年度	15	19,626	22,943	20,780	21,737	21,809	19,948
令和13年度	16	19,183	22,927	20,541	21,624	21,706	19,580
令和14年度	17	18,739	22,912	20,309	21,518	21,610	19,219
令和15年度	18	18,296	22,899	20,084	21,417	21,520	18,865
令和16年度	19	17,852	22,888	19,866	21,322	21,435	18,517
令和17年度	20	17,409	22,877	19,653	21,232	21,355	18,176
令和18年度	21	16,965	22,868	19,445	21,147	21,278	17,841
令和19年度	22	16,522	22,859	19,242	21,065	21,206	17,512
令和20年度	23	16,078	22,851	19,044	20,987	21,137	17,189
令和21年度	24	15,635	22,844	18,850	20,912	21,072	16,872
令和22年度	25	15,191	22,838	18,659	20,841	21,009	16,561
相関係数（ｒ）		0.9986	0.8169	0.9913	0.9569	0.9508	0.9990
ｒ（順位）		2	6	3	4	5	1

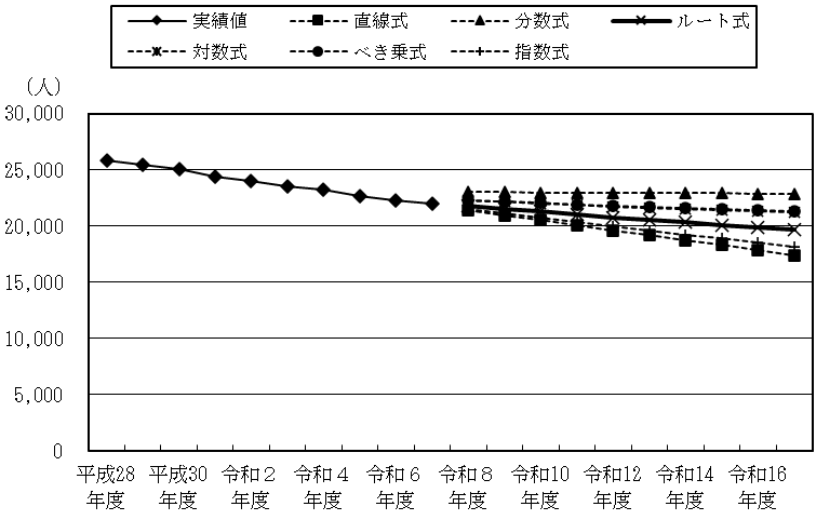


図６－１－１ 人口予測結果（回帰予測）

２）推計人口まとめ

10月１日現在人口をベースとした予測において､相関係数が最も高かった式(指数式)における回帰予測人口のほか、市総合計画における令和12年度の計画目標人口（19,402人）をベースとした推計人口、人口問題研究所が公表している推計人口（令和５年４月推計）の３ケースを比較すると表６－１－２及び図６－１－２のとおりである。

本計画では以降のごみ量予測において、推計人口に多少の差異はあるものの、上位計画に位置する「総合計画」をベースとした推計人口（下表太枠）を用いることとする。

表６－１－２ 計画対象区域内人口予測結果

（単位：人）

	岩手県毎月人口推計	総合計画	人口問題研究所
平成23年度	28,266	28,266	28,215
平成24年度	27,774	27,774	27,750
平成25年度	27,323	27,323	27,285
平成26年度	26,913	26,913	26,820
平成27年度	26,355	26,355	26,358
平成28年度	25,861	25,861	25,889
平成29年度	25,411	25,411	25,422
平成30年度	25,055	25,055	24,956
令和元年度	24,412	24,412	24,489
令和２年度	24,023	24,023	24,023
令和３年度	23,515	23,515	23,562
令和４年度	23,212	23,212	23,101
令和５年度	22,701	22,701	22,641
令和６年度	22,265	22,265	22,180
令和７年度	21,941	21,719	21,719
令和８年度	21,490	21,256	21,256
令和９年度	21,093	20,792	20,792
令和10年度	20,704	20,329	20,329
令和11年度	20,323	19,865	19,865
令和12年度	19,948	19,402	19,402
備考	令和７年度までは県HP「広域振興圏別・市町村別人口の推移（各年10月1日現在）」の人口を用いた。平成27年、令和２年は国勢調査による数値である。また令和８年度以降は令和７年度までの実績から相関係数が最も高い回帰式（指数式）の値を用いた。	令和６年度までは岩手県毎月人口推計と同値。総合計画では、令和７年度以降は、社人研の推計値を参照している。	平成27年度、令和２年度は実績値（国勢調査による）、令和７年度、令和12年度は推計値である。５年間隔での実績・推計であることから、その間の年度は補間を行った。

※人口問題研究所について、網掛け部は実績人口又は推計人口である。

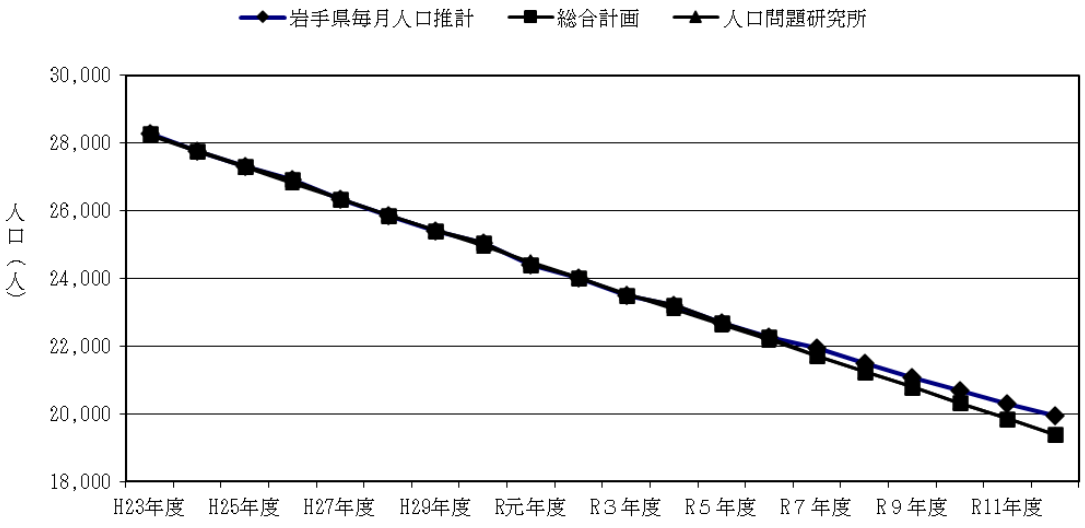


図６－１－２ 計画対象区域内人口予測結果

３．ごみ排出量の予測

１）予測方法

ごみ量の予測に当たっては、主に一般家庭から排出される「生活系ごみ」と、主に事業所から排出される「事業系ごみ」の２つに分類し、それぞれの排出原単位を推計した上で算出するものとする。

（１）生活系ごみ

生活系ごみ量の予測に当たっては、排出原単位（１人１日当たりごみ排出量）を算出し、その将来推計値を求め、将来人口予測値を乗じることによって年間平均日排出量を算出する。排出原単位及び年間平均日排出量は以下の式により算出する。

【生活系ごみ排出原単位（ｇ/人・日)】

＝ 年間生活系ごみ量（ｔ）÷人口（人）÷365 or 366（日）×1,000,000（ｇ/ｔ）

【年間平均日排出量（ｔ/日)】

＝ 生活系ごみ排出原単位（ｇ/人・日）×人口（人）÷1,000,000（ｇ/ｔ）

なお、生活系資源ごみ量については、その材質から可燃系又は不燃系に分類し、それぞれを燃えるごみ又は燃えないごみ・粗大ごみ・埋立ごみと合算して排出原単位を算出することとする。

排出原単位の将来推計値を算出後、その構成割合（可燃ごみ・不燃ごみに対する各資源ごみ量の割合）によって再配分する。

（２）事業系ごみ

事業系ごみ量の予測についても、生活系ごみと同様に排出原単位を１人１日当たりごみ排出量として算出する。排出原単位及び年間平均日排出量は以下の式により算出する。

【事業系ごみ排出原単位（ｇ/人・日)】

＝ 年間事業系ごみ量（ｔ）÷人口（人）÷365 or 366（日）×1,000,000（ｇ/ｔ）

【年間平均日排出量（ｔ/日)】

＝ 事業系ごみ排出原単位（ｇ/人・日）×人口（人）÷1,000,000（ｇ/ｔ）

なお、事業系資源ごみ量についても生活系ごみと同様に算出する。

排出原単位の将来推計値を算出後、その構成割合（可燃ごみ・不燃ごみに対する各資源ごみ量の割合）によって再配分する。

2）予測フロー

予測方法の内容を図６－１－３に示す。

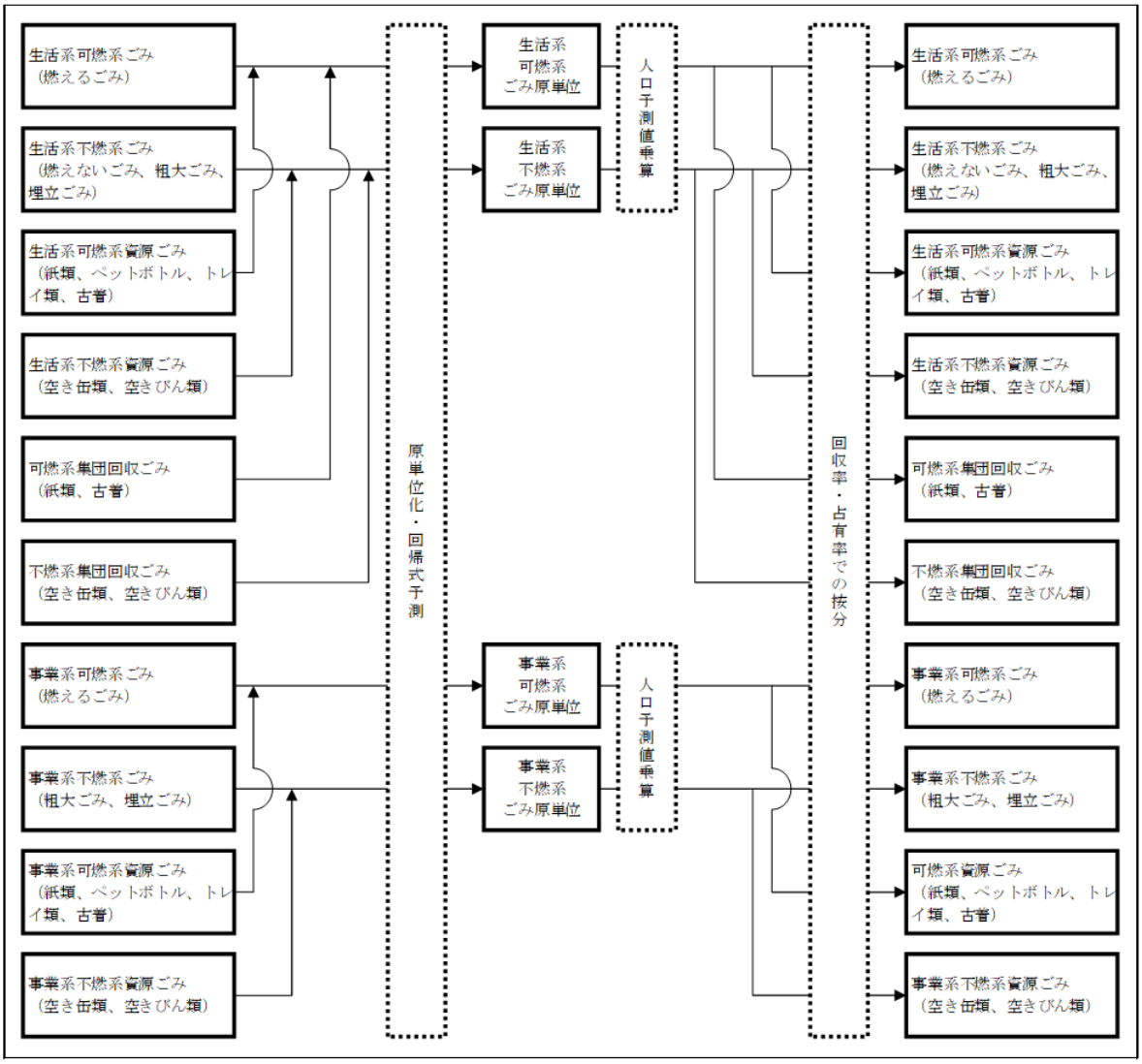


図６－１－３　ごみ処理予測フロー

３）資源ごみ排出量の設定

（１）占有率の設定

可燃系ごみ、不燃系ごみに含めて回帰予測した資源ごみ（可燃系・不燃系）のほか、燃えるごみや燃えないごみなどすべてのごみは、直近年度（令和６年度）における生活系ごみ又は事業系ごみに占める割合（占有率）を算出したうえで、当該占有率が将来的に変化しないものと仮定した。

（２）回収率の設定

ごみの種類別に直近年度における排出実績量を回収率 100％と設定し､原則としてこの回収率が将来的に変化しないものと仮定した。

なお、目標値設定後の計画ごみ排出量の推計に際しては、経年的に回収率が増加するものと仮定した。

４．ごみ排出量及びごみ排出原単位の実績

過去５か年度（令和２年度～令和６年度）におけるごみ排出量とごみ排出原単位の実績について、生活系と事業系及び可燃系と不燃系に分類した結果を表６－１－３～表６－１－６及び図６－１－４に示す。

ごみ排出原単位（合計）は過去５か年度において、1,000ｇ/人・日以上となっており、ほぼ横ばいで推移している。ごみ排出量（総量）は令和２年度以降は10,000ｔを下回り減少傾向となっている。

表６－１－３ ごみ排出量及びごみ排出原単位の推移（生活系可燃系ごみ）

区分＼年度		単位	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
生活系ごみ	生活系可燃系ごみ	t	6,166.23	6,016.90	6,035.48	5,803.12	5,745.16
	可燃・燃えるごみ	t	5,665.98	5,522.54	5,555.13	5,360.29	5,320.00
	資源・紙類（新聞紙）	t	126.22	127.26	113.85	96.33	89.45
	資源・紙類（雑誌）	t	94.74	82.45	74.64	65.35	63.67
	資源・紙類（段ボール）	t	117.60	121.53	122.93	111.42	103.80
	資源・紙類（紙パック）	t	2.64	2.61	2.65	2.46	2.73
	資源・紙類（雑紙）	t	26.01	28.81	31.26	30.71	30.10
	資源・紙類（シュレッダー紙）	t	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	資源・ﾌﾟﾗ類（ﾍﾟｯﾄﾎﾞﾄﾙ）	t	66.10	71.95	71.80	75.19	75.19
	資源・ﾌﾟﾗ類（ﾄﾚｲ類）	t	3.74	3.23	3.46	3.26	3.20
	資源・布類（古着）	t	0.65	1.40	0.75	0.63	0.39
	集団・紙類（新聞紙）	t	37.52	33.31	35.76	33.77	33.75
	集団・紙類（雑誌）	t	5.32	3.82	4.71	5.55	3.46
	集団・紙類（段ボール）	t	19.57	17.59	18.24	18.05	19.32
	集団・紙類（紙パック）	t	0.11	0.11	0.11	0.11	0.10
	集団・布類（古着）	t	0.03	0.29	0.19	0.00	0.00
	計画収集人口	人	24,023	23,515	23,212	22,701	22,265
	年度日数	日	365	365	365	366	365
	原単位	g/人・日	**703**	**701**	**712**	**698**	**707**
	原単位	t/日	**16.89**	**16.48**	**16.54**	**15.86**	**15.74**

表６－１－４ ごみ排出量及びごみ排出原単位の推移（生活系不燃系ごみ）

区分＼年度		単位	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
生活系ごみ	生活系不燃系ごみ	t	975.61	884.33	850.32	774.62	794.64
	不燃・燃えないごみ	t	251.61	223.90	204.89	176.40	156.82
	粗大・粗大ごみ	t	330.50	279.50	280.14	270.44	329.55
	埋立・埋立ごみ	t	11.36	2.84	4.49	2.53	14.00
	資源・金属（空き缶類）	t	106.44	110.57	102.86	84.88	71.90
	資源・びん（空きびん類）	t	235.12	227.56	220.59	204.68	184.69
	集団・金属（空き缶類）	t	35.28	34.95	33.50	31.00	34.90
	集団・びん（空きびん類）	t	5.30	5.01	3.85	4.69	2.78
	計画収集人口	人	24,023	23,515	23,212	22,701	22,265
	年度日数	日	365	365	365	366	365
	原単位	g/人・日	**111**	**103**	**100**	**93**	**98**
	原単位	t/日	**2.67**	**2.42**	**2.33**	**2.12**	**2.18**

表６－１－５ ごみ排出量及びごみ排出原単位の推移（事業系可燃系ごみ）

区分＼年度		単位	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
事業系ごみ	事業系可燃系ごみ	t	2,750.42	2,841.74	2,853.15	2,707.63	2,704.59
	可燃・燃えるごみ	t	2,736.85	2,825.44	2,836.24	2,687.48	2,688.43
	資源・紙類（新聞紙）	t	0.00	0.12	0.00	0.79	0.25
	資源・紙類（雑誌）	t	0.43	1.07	0.55	3.01	1.15
	資源・紙類（段ボール）	t	11.75	14.04	14.29	15.06	13.19
	資源・紙類（紙パック）	t	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	資源・紙類（雑紙）	t	0.00	0.00	0.00	0.00	0.09
	資源・紙類（シュレッダー紙）	t	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	資源・ﾌﾟﾗ類（ﾍﾟｯﾄﾎﾞﾄﾙ）	t	0.00	0.00	1.11	0.21	0.48
	資源・ﾌﾟﾗ類（ﾄﾚｲ類）	t	0.02	0.01	0.27	0.02	0.22
	資源・布類（古着）	t	1.37	1.06	0.69	1.06	0.78
	計画収集人口	人	24,023	23,515	23,212	22,701	22,265
	年度日数	日	365	365	365	366	365
	原単位	g/人・日	**314**	**331**	**337**	**326**	**333**
	原単位	t/日	**7.54**	**7.79**	**7.82**	**7.40**	**7.41**

表６－１－６ ごみ排出量及びごみ排出原単位の推移（事業系不燃系ごみ）

区分＼年度		単位	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
事業系ごみ	事業系不燃系ごみ	t	183.57	192.84	192.30	170.24	140.43
	不燃・燃えないごみ	t	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	粗大・粗大ごみ	t	108.07	107.55	117.78	111.62	103.49
	埋立・埋立ごみ	t	0.11	6.31	2.70	0.71	0.00
	資源・金属（空き缶類）	t	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	資源・びん（空きびん類）	t	75.39	78.98	71.82	57.91	36.94
	計画収集人口	人	24,023	23,515	23,212	22,701	22,265
	年度日数	日	365	365	365	366	365
	原単位	g/人・日	**21**	**22**	**23**	**20**	**17**
	原単位	t/日	**0.50**	**0.53**	**0.53**	**0.47**	**0.38**

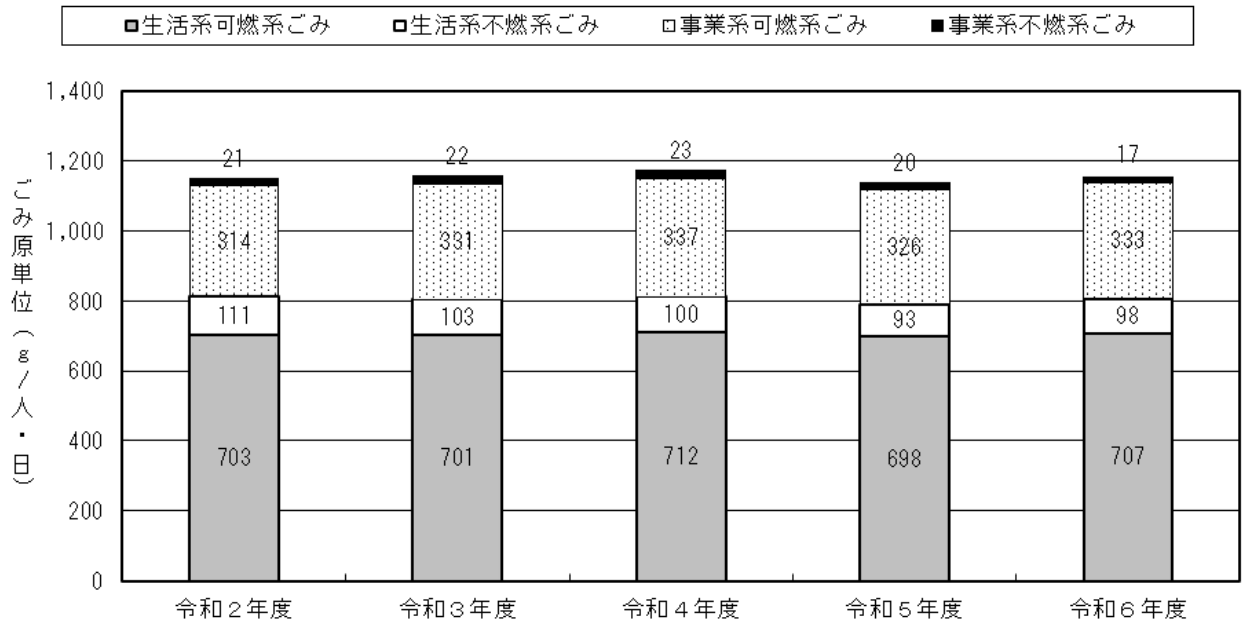


図６－１－４ ごみ排出量及びごみ排出原単位の推移（全種類）

５．将来ごみ量の予測

これまでに整理した過去５か年度のごみ排出原単位実績を用いて予測した排出原単位を表６－１－７～表６－１-10、及び図６－１－５～図６－１－８に示す。

生活系可燃系ごみの相関係数はすべての式において、0.1 のため相関は無い。令和５年度から令和６年度においては増加傾向を示しているが、令和７年度の一人１日当たり家庭系ごみ排出量（令和７年４月～令和８年２月）速報値は 624 グラム（前年同時期は 679 グラム）と大きく減少傾向となっている。このことから、現実性を考慮し、排出量見込みが最も少ない「実績平均」を採用する。

生活系不燃系ごみ及び事業系可燃系ごみは、相関係数が高く、相関があることから相関係数が最も高い「分数式」をそれぞれ採用する。

事業系不燃系ごみは、比較的相関が高いが、令和４年度以降の直近３か年の減少傾向が大きく影響している。相関係数は「指数式」が最も高いが「指数式」による予測どおり減少が続くことは考えにくく、また、過小評価となる恐れが大きい。このことから、現実性を考慮し、過小評価を避けるため「実績平均」を採用する。

表６－１－７ 生活系可燃系ごみ排出原単位予測結果

（単位：g/人・日）

年度	年目	実績	直線式	y=0.5x+702.7					
R2	1	703	分数式	y=-2.8273495(1/x)+705.491156					
R3	2	701	ルート式	y=1.73704391(√x)+701.287904					
R4	3	712	対数式	y=1.40050845(LNx)+702.859015					
R5	4	698	べき乗式	y=702.854447×(x^0.0019725)					
R6	5	707	指数式	y=702.693538×(1.00070612^x)					
年度	年目	直線式	分数式	ルート式	対数式	べき乗式	指数式	直近推移	実績平均
R7	6	706	705	706	705	705	706	707	704
R8	7	706	705	706	706	706	706	707	704
R9	8	707	705	706	706	706	707	707	704
R10	9	707	705	706	706	706	707	707	704
R11	10	708	705	707	706	706	708	707	704
R12	11	708	705	707	706	706	708	707	704
R13	12	709	705	707	706	706	709	707	704
R14	13	709	705	708	706	706	709	707	704
R15	14	710	705	708	707	707	710	707	704
R16	15	710	705	708	707	707	710	707	704
R17	16	711	705	708	707	707	711	707	704
R18	17	711	705	708	707	707	711	707	704
R19	18	712	705	709	707	707	712	707	704
R20	19	712	705	709	707	707	712	707	704
相関係数（r）		0.1451	0.1683	0.1551	0.1633	0.1622	0.1444	－	－
r（順位）		5	1	4	2	3	6	－	－

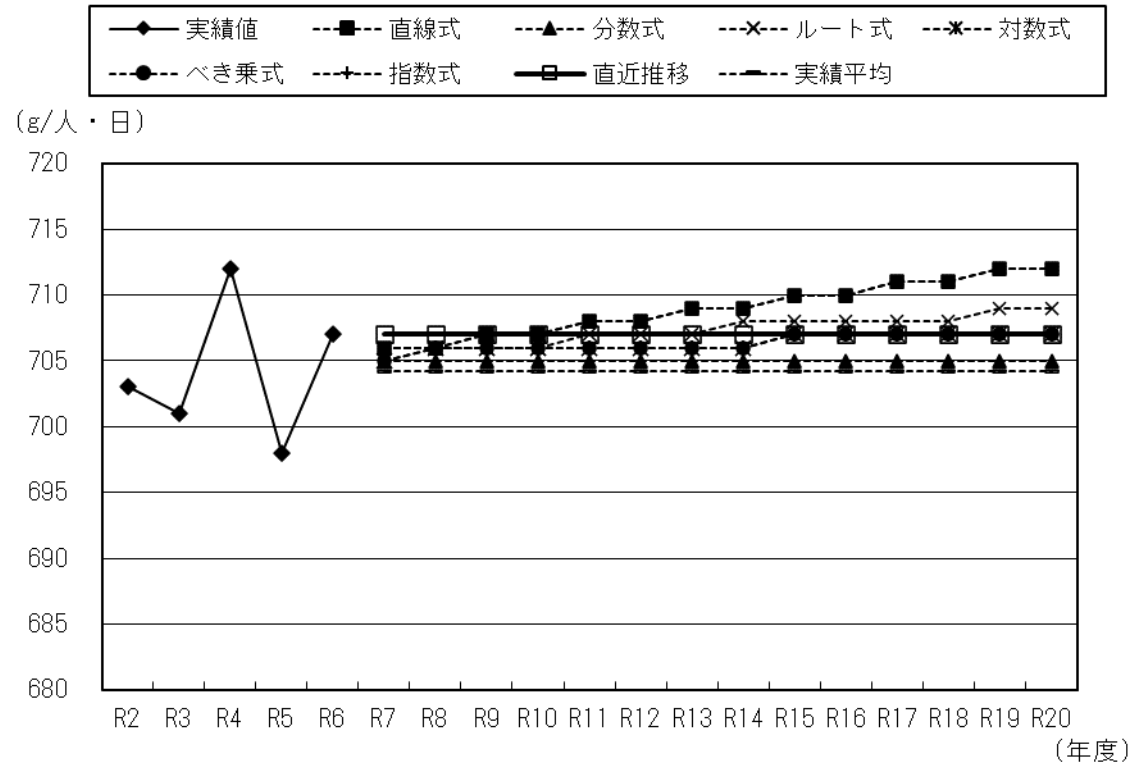


図６－１－５ 生活系可燃系ごみ排出原単位予測結果

表６－１－８ 生活系不燃系ごみ排出原単位予測結果

（単位：g/人・日）

年度	年目	実績	直線式	y=-3.6x+111.8					
R2	1	111	分数式	y=19.1657866(1/x)+92.247624					
R3	2	103	ルート式	y=-12.257803(√x)+121.549795					
R4	3	100	対数式	y=-9.6756998(LNx)+110.264466					
R5	4	93	べき乗式	y=110.333294×(x^0.0941061)					
R6	5	98	指数式	y=112.031014×(0.96548424^x)					
年度	年目	直線式	分数式	ルート式	対数式	べき乗式	指数式	直近推移	実績平均
R7	6	90	95	92	93	93	91	98	101
R8	7	87	95	89	91	92	88	98	101
R9	8	83	95	87	90	91	85	98	101
R10	9	79	94	85	89	90	82	98	101
R11	10	76	94	83	88	89	79	98	101
R12	11	72	94	81	87	88	76	98	101
R13	12	69	94	79	86	87	73	98	101
R14	13	65	94	77	85	87	71	98	101
R15	14	61	94	76	85	86	69	98	101
R16	15	58	94	74	84	86	66	98	101
R17	16	54	93	73	83	85	64	98	101
R18	17	51	93	71	83	85	62	98	101
R19	18	47	93	70	82	84	60	98	101
R20	19	43	93	68	82	84	57	98	101
相関係数（r）		0.8533	0.9320	0.8942	0.9218	0.9147	0.8494	－	－
r（順位）		5	1	4	2	3	6	－	－

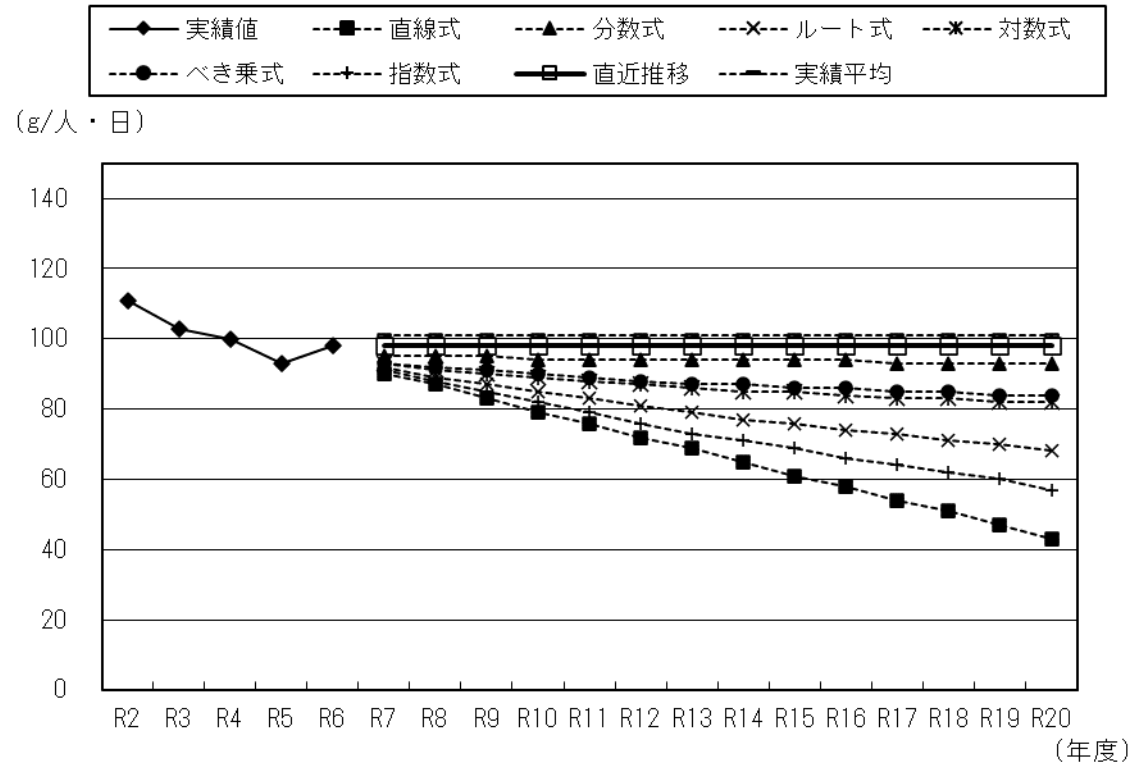


図６－１－６ 生活系不燃系ごみ排出原単位予測結果

表６－１－９ 事業系可燃系ごみ排出原単位予測結果

（単位：g/人・日）

年度	年目	実績	直線式　y=3.3x+318.3
R2	1	314	分数式　y=-22.468321(1/x)+338.460533
R3	2	331	ルート式　y=11.9655450(√x)+308.140164
R4	3	337	対数式　y=10.0799539(LNx)+318.54846
R5	4	326	べき乗式　y=318.442795×(x^0.03121047)
R6	5	333	指数式　y=318.188326×(1.01028028^x)

年度	年目	直線式	分数式	ルート式	対数式	べき乗式	指数式	直近推移	実績平均
R7	6	338	335	337	337	337	338	333	328
R8	7	341	335	340	338	338	342	333	328
R9	8	345	336	342	340	340	345	333	328
R10	9	348	336	344	341	341	349	333	328
R11	10	351	336	346	342	342	352	333	328
R12	11	355	336	348	343	343	356	333	328
R13	12	358	337	350	344	344	360	333	328
R14	13	361	337	351	344	345	363	333	328
R15	14	365	337	353	345	346	367	333	328
R16	15	368	337	354	346	347	371	333	328
R17	16	371	337	356	346	347	375	333	328
R18	17	374	337	357	347	348	379	333	328
R19	18	378	337	359	348	349	383	333	328
R20	19	381	337	360	348	349	386	333	328
相関係数（r）		0.5882	0.8216	0.6564	0.7221	0.7262	0.5921	－	－
r（順位）		6	1	4	3	2	5	－	－

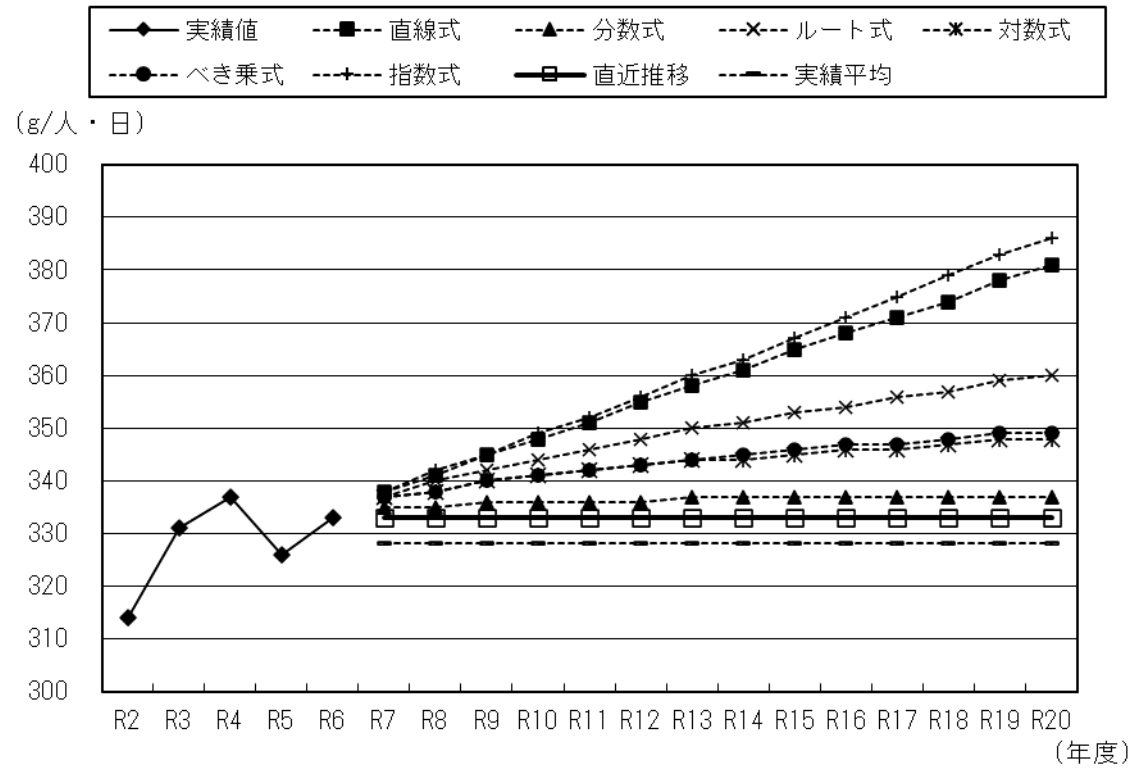


図６－１－７ 事業系可燃系ごみ排出原単位予測結果

表６－１-10 事業系不燃系ごみ排出原単位予測結果

（単位:g/人・日）

年度	年目	実績	直線式	y=-1x+23.6					
R2	1	21	分数式	y=2.44720168(1/x)+19.4824445					
R3	2	22	ルート式	y=-2.8639515(√x)+25.4013186					
R4	3	23	対数式	y=-1.8685844(LNx)+22.3891664					
R5	4	20	べき乗式	y=22.5048654×(x^0.0978911)					
R6	5	17	指数式	y=23.9359007×(0.94952555^x)					
年度	年目	直線式	分数式	ルート式	対数式	べき乗式	指数式	直近推移	実績平均
R7	6	18	20	18	19	19	18	17	21
R8	7	17	20	18	19	19	17	17	21
R9	8	16	20	17	19	18	16	17	21
R10	9	15	20	17	18	18	15	17	21
R11	10	14	20	16	18	18	14	17	21
R12	11	13	20	16	18	18	14	17	21
R13	12	12	20	15	18	18	13	17	21
R14	13	11	20	15	18	18	12	17	21
R15	14	10	20	15	17	17	12	17	21
R16	15	9	20	14	17	17	11	17	21
R17	16	8	20	14	17	17	10	17	21
R18	17	7	20	14	17	17	10	17	21
R19	18	6	20	13	17	17	9	17	21
R20	19	5	20	13	17	17	9	17	21
相関係数（r）		0.6868	0.3448	0.6054	0.5158	0.5331	0.7018	-	-
r（順位）		2	6	3	5	4	1	-	-

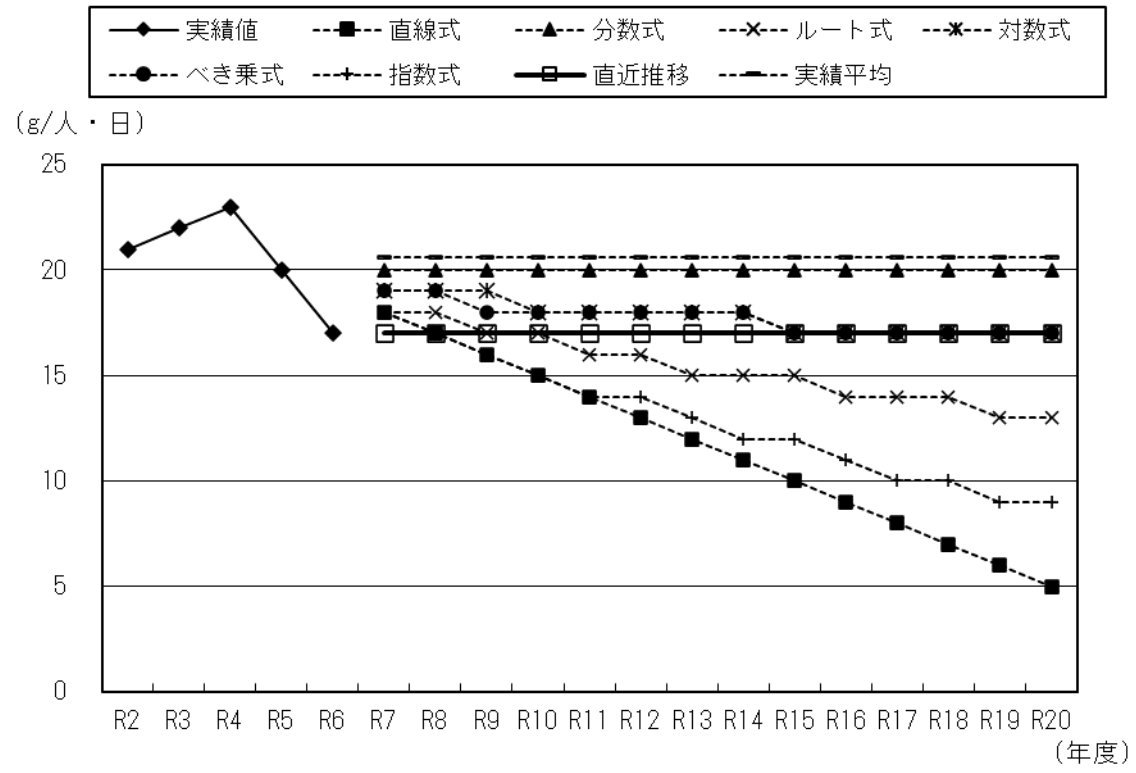


図６－１－８ 事業系不燃系ごみ排出原単位予測結果

６．計画ごみ排出量・処理処分量の見通し

以上の結果をまとめると、計画ごみ排出量および計画ごみ処理・処分量の予測結果（現状のまま推移した場合の予測結果）は表６－１-11～表６－１-14に示すとおりとなる。

表６－１－11 計画ごみ排出量の見通し（1/2）

	八幡平市（現状）	記号	予測値計算式	直近占有率	回収率	単位	実績								
							H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	計画収集人口	(1)	総合計画	－	－	人	25,861	25,411	25,055	24,412	24,023	23,515	23,212	22,701	22,265
	年度日数	(2)	実数	－	－	日/年	365	365	365	366	365	365	365	366	365
生活系ごみ	将来ごみ原単位	(3)	(4)＋(5)	－	－	g/人・日	754	737	759	791	814	804	812	791	805
	生活系可燃系ごみ原単位	(4)	実績平均	－	－	g/人・日	663	646	663	689	703	701	712	698	707
	生活系不燃系ごみ原単位	(5)	分数式	－	－	g/人・日	91	91	96	102	111	103	100	93	98
	将来ごみ原単位	(6)	(7)＋(8)	－	－	g/人・日	650	633	657	688	714	702	714	699	717
	家庭系可燃系ごみ原単位	(7)	－	－	－	g/人・日	602	587	605	631	646	643	656	645	655
	家庭系不燃系ごみ原単位	(8)	－	－	－	g/人・日	48	46	52	57	68	59	58	54	62
	生活系ごみ排出量	(9)	(10)＋(32)	－	－	t/年	7,119.92	6,835.87	6,943.02	7,066.36	7,141.84	6,901.23	6,885.80	6,577.74	6,539.80
	生活系可燃系ごみ排出量	(10)	(1)×(2)×(4)÷1,000,000	－	－	t/年	6,261.71	5,994.16	6,066.37	6,158.32	6,166.23	6,016.90	6,035.48	5,803.12	5,745.16
	燃えるごみ排出量	(11)	(10)-(12)-(25)	81.3%	－	t/年	5,686.44	5,447.07	5,532.70	5,635.74	5,665.98	5,522.54	5,555.13	5,360.29	5,320.00
	資源ごみ排出量	(12)	(13)＋(20)＋(23)	－	－	t/年	440.95	433.15	424.41	420.88	437.70	439.24	421.34	385.35	368.53
	紙類	(13)	(14)～(19)の合計	－	－	t/年	377.00	366.29	357.00	348.50	367.21	362.66	345.33	306.27	289.75
	新聞紙	(14)	(9)×直近占有率×回収率	1.4%	100.0%	t/年	157.13	147.54	137.16	125.90	126.22	127.26	113.85	96.33	89.45
	雑誌	(15)	(9)×直近占有率×回収率	1.0%	100.0%	t/年	106.08	91.93	93.42	93.20	94.74	82.45	74.64	65.35	63.67
	段ボール	(16)	(9)×直近占有率×回収率	1.6%	100.0%	t/年	90.33	99.75	100.70	102.48	117.60	121.53	122.93	111.42	103.80
	紙パック	(17)	(9)×直近占有率×回収率	0.0%	100.0%	t/年	3.62	3.81	3.33	2.62	2.64	2.61	2.65	2.46	2.73
	雑紙	(18)	(9)×直近占有率×回収率	0.5%	100.0%	t/年	19.84	23.26	22.39	24.30	26.01	28.81	31.26	30.71	30.10
	シュレッダー紙	(19)	(9)×直近占有率×回収率	－	－	t/年	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	プラスチック類	(20)	(21)～(22)の合計	－	－	t/年	60.58	64.33	65.12	70.11	69.84	75.18	75.26	78.45	78.39
	ペットボトル	(21)	(9)×直近占有率×回収率	1.1%	100.0%	t/年	56.72	60.17	61.10	66.73	66.10	71.95	71.80	75.19	75.19
	トレイ類	(22)	(9)×直近占有率×回収率	0.0%	100.0%	t/年	3.86	4.16	4.02	3.38	3.74	3.23	3.46	3.26	3.20
	布類	(23)	(24)	－	－	t/年	3.37	2.53	2.29	2.27	0.65	1.40	0.75	0.63	0.39
	古着	(24)	(9)×直近占有率×回収率	0.0%	100.0%	t/年	3.37	2.53	2.29	2.27	0.65	1.40	0.75	0.63	0.39
	集団回収排出量	(25)	(26)	－	－	t/年	134.32	113.94	109.26	101.70	62.55	55.12	59.01	57.48	56.63
	紙類・布類	(26)	(27)～(31)の合計	－	－	t/年	134.32	113.94	109.26	101.70	62.55	55.12	59.01	57.48	56.63
	新聞紙	(27)	(9)×直近占有率	0.5%	－	t/年	89.05	80.64	77.18	69.53	37.52	33.31	35.76	33.77	33.75
	雑誌	(28)	(9)×直近占有率	0.1%	－	t/年	9.49	7.85	7.06	6.44	5.32	3.82	4.71	5.55	3.46
	段ボール	(29)	(9)×直近占有率	0.3%	－	t/年	35.25	25.39	24.95	25.61	19.57	17.59	18.24	18.05	19.32
	紙パック	(30)	(9)×直近占有率	0.0%	－	t/年	0.07	0.05	0.07	0.09	0.11	0.11	0.11	0.11	0.10
	古着	(31)	(9)×直近占有率	－	－	t/年	0.46	0.01	－	0.03	0.03	0.29	0.19	－	－
	生活系不燃系ごみ排出量	(32)	(1)×(2)×(5)÷1,000,000	－	－	t/年	858.21	841.71	876.65	908.04	975.61	884.33	850.32	774.62	794.64
	燃えないごみ排出量	(33)	(32)-(34)-(35)-(36)-(41)	2.4%	－	t/年	223.09	216.02	233.04	234.02	251.61	223.90	204.89	176.40	156.82
	粗大ごみ排出量	(34)	(9)×直近占有率	5.0%	－	t/年	213.40	210.71	241.79	263.38	330.50	279.50	280.14	270.44	329.55
	埋立ごみ排出量	(35)	(9)×直近占有率	0.2%	－	t/年	18.23	2.40	2.64	7.53	11.36	2.84	4.49	2.53	14.00
	資源ごみ排出量	(36)	(37)＋(39)	－	－	t/年	351.35	357.80	344.33	349.15	341.56	338.13	323.45	289.56	256.59
	金属類	(37)	(38)	－	－	t/年	89.94	97.47	94.96	101.21	106.44	110.57	102.86	84.88	71.90
	空き缶類	(38)	(9)×直近占有率×回収率	1.1%	100.0%	t/年	89.94	97.47	94.96	101.21	106.44	110.57	102.86	84.88	71.90
	びん類	(39)	(40)	－	－	t/年	261.41	260.33	249.37	247.94	235.12	227.56	220.59	204.68	184.69
	空きびん類	(40)	(9)×直近占有率×回収率	2.8%	100.0%	t/年	261.41	260.33	249.37	247.94	235.12	227.56	220.59	204.68	184.69
	集団回収排出量	(41)	(42)＋(44)	－	－	t/年	52.14	54.78	54.85	53.96	40.58	39.96	37.35	35.69	37.68
	金属類	(42)	(43)	－	－	t/年	37.58	40.26	40.65	43.74	35.28	34.95	33.50	31.00	34.90
	空き缶類	(43)	(9)×直近占有率	0.5%	－	t/年	37.58	40.26	40.65	43.74	35.28	34.95	33.50	31.00	34.90
	びん類	(44)	(45)	－	－	t/年	14.56	14.52	14.20	10.22	5.30	5.01	3.85	4.69	2.78
	空きびん類	(45)	(9)×直近占有率	0.0%	－	t/年	14.56	14.52	14.20	10.22	5.30	5.01	3.85	4.69	2.78
事業系ごみ	将来ごみ原単位	(46)	(47)＋(48)	－	－	g/人・日	347	359	361	368	335	353	360	346	350
	事業系可燃系ごみ原単位	(47)	分数式	－	－	g/人・日	326	339	341	349	314	331	337	326	333
	事業系不燃系ごみ原単位	(48)	実績平均	－	－	g/人・日	21	20	20	19	21	22	23	20	17
	事業系ごみ排出量	(49)	(50)＋(65)	－	－	t/年	3,272.16	3,331.80	3,300.79	3,289.55	2,933.99	3,034.58	3,045.45	2,877.87	2,845.02
	事業系可燃系ごみ排出量	(50)	(1)×(2)×(47)÷1,000,000	－	－	t/年	3,073.27	3,148.85	3,119.35	3,116.07	2,750.42	2,841.74	2,853.15	2,707.63	2,704.59
	燃えるごみ排出量	(51)	(50)-(52)	94.5%	－	t/年	3,056.69	3,127.52	3,097.92	3,098.80	2,736.85	2,825.44	2,836.24	2,687.48	2,688.43
	資源ごみ排出量	(52)	(53)＋(60)＋(63)	－	－	t/年	16.58	21.33	21.43	17.27	13.57	16.30	16.91	20.15	16.16
	紙類	(53)	(54)～(59)の合計	－	－	t/年	14.69	16.55	15.47	13.21	12.18	15.23	14.84	18.86	14.68
	新聞紙	(54)	(49)×直近占有率	0.0%	－	t/年	0.05	0.19	0.90	0.10	－	0.12	－	0.79	0.25
	雑誌	(55)	(49)×直近占有率	0.0%	－	t/年	2.77	1.15	1.70	1.62	0.43	1.07	0.55	3.01	1.15
	段ボール	(56)	(49)×直近占有率	0.5%	－	t/年	11.87	12.93	12.76	11.49	11.75	14.04	14.29	15.06	13.19
	紙パック	(57)	(49)×直近占有率	－	－	t/年	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	雑紙	(58)	(49)×直近占有率	0.0%	－	t/年	－	2.28	0.11	－	－	－	－	－	0.09
	シュレッダー紙	(59)	(49)×直近占有率	－	－	t/年	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	プラスチック類	(60)	(61)～(62)の合計	－	－	t/年	0.07	0.10	0.11	0.02	0.02	0.01	1.38	0.23	0.70
	ペットボトル	(61)	(49)×直近占有率	0.0%	－	t/年	－	－	－	－	－	－	1.11	0.21	0.48
	トレイ類	(62)	(49)×直近占有率	0.0%	－	t/年	0.07	0.10	0.11	0.02	0.02	0.01	0.27	0.02	0.22
	布類	(63)	(64)	－	－	t/年	1.82	4.68	5.85	4.04	1.37	1.06	0.69	1.06	0.78
	古着	(64)	(49)×直近占有率	0.0%	－	t/年	1.82	4.68	5.85	4.04	1.37	1.06	0.69	1.06	0.78
	事業系不燃系ごみ排出量	(65)	(1)×(2)×(48)÷1,000,000	－	－	t/年	198.89	182.95	181.44	173.48	183.57	192.84	192.30	170.24	140.43
	燃えないごみ排出量	(66)	計上しない	－	－	t/年	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	粗大ごみ排出量	(67)	(65)-(66)-(68)-(69)	3.6%	－	t/年	79.06	86.68	90.99	82.15	108.07	107.55	117.78	111.62	103.49
	埋立ごみ排出量	(68)	(49)×直近占有率	－	－	t/年	23.83	4.07	0.64	0.93	0.11	6.31	2.70	0.71	－
	資源ごみ排出量	(69)	(70)＋(72)	－	－	t/年	96.00	92.20	89.81	90.40	75.39	78.98	71.82	57.91	36.94
	金属類	(70)	(71)	－	－	t/年	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	空き缶類	(71)	(49)×直近占有率	－	－	t/年	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	びん類	(72)	(73)	－	－	t/年	96.00	92.20	89.81	90.40	75.39	78.98	71.82	57.91	36.94
	空きびん類	(73)	(49)×直近占有率	1.3%	－	t/年	96.00	92.20	89.81	90.40	75.39	78.98	71.82	57.91	36.94
ごみ量まとめ	総ごみ量	(74)	(75)～(80)の合計	－	－	t/年	10,392.08	10,167.67	10,243.81	10,355.91	10,075.83	9,935.81	9,931.25	9,455.61	9,384.82
	燃えるごみ排出量	(75)	(11)＋(51)	－	－	t/年	8,743.13	8,574.59	8,630.62	8,734.54	8,402.83	8,347.98	8,391.37	8,047.77	8,008.43
	燃えないごみ排出量	(76)	(33)＋(66)	－	－	t/年	223.09	216.02	233.04	234.02	251.61	223.90	204.89	176.40	156.82
	粗大ごみ排出量	(77)	(34)＋(67)	－	－	t/年	292.46	297.39	332.78	345.53	438.57	387.05	397.92	382.06	433.04
	埋立ごみ排出量	(78)	(35)＋(68)	－	－	t/年	42.06	6.47	3.28	8.46	11.47	9.15	7.19	3.24	14.00
	資源ごみ排出量	(79)	(12)＋(36)+(52)＋(69)	－	－	t/年	904.88	904.48	879.98	877.70	868.22	872.65	833.52	752.97	678.22
	集団回収排出量	(80)	(25)＋(41)	－	－	t/年	186.46	168.72	164.11	155.66	103.13	95.08	96.36	93.17	94.31

表６－１-12 計画ごみ排出量の見通し（2/2）

予測値						記号
R7	R8	R9	R10	R11	R12	
21,719	21,256	20,792	20,329	19,865	19,402	(1)
365	365	366	365	365	365	(2)
799	799	799	798	798	798	(3)
704	704	704	704	704	704	(4)
95	95	95	94	94	94	(5)
712	712	712	711	711	711	(6)
652	652	652	652	652	652	(7)
60	60	60	59	59	59	(8)
6,335.61	6,200.54	6,081.81	5,922.71	5,787.53	5,652.63	(9)
5,582.50	5,463.49	5,358.87	5,225.22	5,105.96	4,986.95	(10)
5,170.67	5,060.45	4,963.54	4,840.25	4,729.76	4,619.53	(11)
354.80	347.24	340.59	331.67	324.11	316.55	(12)
285.11	279.03	273.69	266.52	260.45	254.37	(13)
88.70	86.81	85.15	82.92	81.03	79.14	(14)
63.36	62.01	60.82	59.23	57.88	56.53	(15)
101.37	99.21	97.31	94.76	92.60	90.44	(16)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	(17)
31.68	31.00	30.41	29.61	28.94	28.26	(18)
－	－	－	－	－	－	(19)
69.69	68.21	66.90	65.15	63.66	62.18	(20)
69.69	68.21	66.90	65.15	63.66	62.18	(21)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	(22)
－	－	－	－	－	－	(23)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	(24)
57.03	55.80	54.74	53.30	52.09	50.87	(25)
57.03	55.80	54.74	53.30	52.09	50.87	(26)
31.68	31.00	30.41	29.61	28.94	28.26	(27)
6.34	6.20	6.08	5.92	5.79	5.65	(28)
19.01	18.60	18.25	17.77	17.36	16.96	(29)
－	－	－	－	－	－	(30)
－	－	－	－	－	－	(31)
753.11	737.05	722.94	697.49	681.57	665.68	(32)
144.89	141.79	139.09	128.90	125.96	123.03	(33)
316.78	310.03	304.09	296.14	289.38	282.63	(34)
12.67	12.40	12.16	11.85	11.58	11.31	(35)
247.09	241.83	237.19	230.99	225.71	220.45	(36)
69.69	68.21	66.90	65.15	63.66	62.18	(37)
69.69	68.21	66.90	65.15	63.66	62.18	(38)
177.40	173.62	170.29	165.84	162.05	158.27	(39)
177.40	173.62	170.29	165.84	162.05	158.27	(40)
31.68	31.00	30.41	29.61	28.94	28.26	(41)
31.68	31.00	30.41	29.61	28.94	28.26	(42)
31.68	31.00	30.41	29.61	28.94	28.26	(43)
－	－	－	－	－	－	(44)
－	－	－	－	－	－	(45)
356	356	357	357	357	357	(46)
335	335	336	336	336	336	(47)
21	21	21	21	21	21	(48)
2,819.00	2,758.90	2,713.68	2,646.00	2,585.60	2,525.34	(49)
2,655.69	2,599.08	2,556.92	2,493.15	2,436.24	2,379.46	(50)
2,641.59	2,585.29	2,543.35	2,479.92	2,423.31	2,366.83	(51)
14.10	13.79	13.57	13.23	12.93	12.63	(52)
14.10	13.79	13.57	13.23	12.93	12.63	(53)
－	－	－	－	－	－	(54)
－	－	－	－	－	－	(55)
14.10	13.79	13.57	13.23	12.93	12.63	(56)
－	－	－	－	－	－	(57)
－	－	－	－	－	－	(58)
－	－	－	－	－	－	(59)
－	－	－	－	－	－	(60)
－	－	－	－	－	－	(61)
－	－	－	－	－	－	(62)
－	－	－	－	－	－	(63)
－	－	－	－	－	－	(64)
163.31	159.82	156.76	152.85	149.36	145.88	(65)
－	－	－	－	－	－	(66)
126.66	123.95	121.48	118.45	115.75	113.05	(67)
－	－	－	－	－	－	(68)
36.65	35.87	35.28	34.40	33.61	32.83	(69)
－	－	－	－	－	－	(70)
－	－	－	－	－	－	(71)
36.65	35.87	35.28	34.40	33.61	32.83	(72)
36.65	35.87	35.28	34.40	33.61	32.83	(73)
9,154.61	8,959.44	8,795.49	8,568.71	8,373.13	8,177.97	(74)
7,812.26	7,645.74	7,506.89	7,320.17	7,153.07	6,986.36	(75)
144.89	141.79	139.09	128.90	125.96	123.03	(76)
443.44	433.98	425.57	414.59	405.13	395.68	(77)
12.67	12.40	12.16	11.85	11.58	11.31	(78)
652.64	638.73	626.63	610.29	596.36	582.46	(79)
88.71	86.80	85.15	82.91	81.03	79.13	(80)

表６－１－13 計画ごみ処理・処分量の見通し（1/2）

	八幡平市（現状）	記号	予測値計算式	直近比率	単位	実績								
						H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
処理処分量	中間処理前ごみ量	(81)	(82)+(87)+(92)+(97)		t/年	10,333.64	10,245.69	10,286.43	10,448.35	10,285.12	10,132.31	10,116.04	10,024.59	9,524.58
	ごみ焼却施設	(82)	(83)～(86)の合計		t/年	8,874.76	8,712.20	8,800.54	8,949.70	8,673.52	8,587.65	8,617.63	8,651.33	8,194.15
	燃えるごみ排出量	(83)	(75)		t/年	8,743.13	8,574.59	8,630.62	8,734.54	8,402.83	8,347.98	8,391.37	8,047.77	8,008.43
	破砕後可燃物	(84)	(109)		t/年	100.93	119.59	134.31	159.46	192.30	179.88	174.27	157.46	154.84
	手選別後可燃物	(85)	(117)		t/年	30.70	18.02	35.61	55.70	63.81	59.79	51.99	58.60	30.88
	その他（他市町村受入）	(86)	計上しない		t/年	-	-	-	-	14.58	-	-	387.50	-
	粗大ごみ処理施設	(87)	(88)～(91)の合計		t/年	605.49	610.88	660.78	680.76	796.62	721.52	705.67	643.34	661.76
	燃えないごみ排出量	(88)	(76)		t/年	223.09	216.02	233.04	234.02	251.61	223.90	204.89	176.40	156.82
	粗大ごみ排出量	(89)	(77)		t/年	292.46	297.39	332.78	345.53	438.57	387.05	397.92	382.06	433.04
	資源(空き缶類)排出量	(90)	(38)＋(71)		t/年	89.94	97.47	94.96	101.21	106.44	110.57	102.86	84.88	71.90
	その他（他市町村受入）	(91)	計上しない		t/年	-	-	-	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00
	手選別処理施設	(92)	(93)～(96)の合計		t/年	418.06	416.96	404.41	408.47	380.37	381.73	369.05	341.27	300.72
	資源(空きびん類)排出量	(93)	(40)＋(73)		t/年	357.41	352.53	339.18	338.34	310.51	306.54	292.41	262.59	221.63
	資源(ﾍﾟｯﾄﾎﾞﾄﾙ)排出量	(94)	(21)＋(61)		t/年	56.72	60.17	61.10	66.73	66.10	71.95	72.91	75.40	75.67
	資源(ﾄﾚｲ類)排出量	(95)	(22)＋(62)		t/年	3.93	4.26	4.13	3.40	3.76	3.24	3.73	3.28	3.42
	その他	(96)	計上しない		t/年	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	一時保管施設	(97)	(98)～(104)の合計		t/年	435.33	505.65	420.70	409.42	434.61	441.41	423.69	388.65	367.95
	資源(新聞紙)排出量	(98)	(14)＋(54)		t/年	157.18	147.73	138.06	126.00	126.22	127.38	113.85	97.12	89.70
	資源(雑誌)排出量	(99)	(15)＋(55)		t/年	108.85	93.08	95.12	94.82	95.17	83.52	75.19	68.36	64.82
	資源(段ボール)排出量	(100)	(16)＋(56)		t/年	102.20	112.68	113.46	113.97	129.35	135.57	137.22	126.48	116.99
	資源(紙パック)排出量	(101)	(17)＋(57)		t/年	3.62	3.81	3.33	2.62	2.64	2.61	2.65	2.46	2.73
	資源(雑紙)排出量	(102)	(18)＋(58)		t/年	19.84	25.54	22.50	24.30	26.01	28.81	31.26	30.71	30.19
	資源(シュレッダー紙)排出量	(103)	(19)＋(59)		t/年	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他（施設内排出）	(104)	実績5か年平均		t/年	43.64	122.81	48.23	47.71	55.22	63.52	63.52	63.52	63.52
	中間処理後ごみ量	(105)	(106)+(108)+(113)+(119)		t/年	2,505.74	2,637.74	2,569.10	2,594.45	2,725.92	2,663.16	2,581.48	2,355.88	2,317.63
	ごみ焼却施設	(106)	(107)		t/年	1,046.86	1,104.24	1,083.21	1,095.79	1,114.32	1,118.48	1,085.98	989.68	987.49
	焼却灰(焼却残渣)	(107)	(82)×直近比率	12.1%	t/年	1,046.86	1,104.24	1,083.21	1,095.79	1,114.32	1,118.48	1,085.98	989.68	987.49
	粗大ごみ処理施設	(108)	(109)～(112)の合計		t/年	605.49	610.89	660.78	680.77	796.62	721.52	705.67	643.34	661.76
	破砕後可燃物	(109)	(87)-(110)-(111)-(112)		t/年	100.93	119.59	134.31	159.46	192.30	179.88	174.27	157.46	154.84
	破砕後不燃物	(110)	(87)×直近比率	34.6%	t/年	211.85	208.18	230.35	225.76	261.06	241.48	234.35	219.75	229.20
	破砕後資源物(金属類)	(111)	(87)×直近比率	41.3%	t/年	285.17	274.12	289.39	286.71	333.57	292.47	291.44	260.66	273.41
	破砕後資源物(小型家電)	(112)	(87)×直近比率	0.7%	t/年	7.54	9.00	6.73	8.84	9.69	7.69	5.61	5.47	4.31
	手選別処理施設	(113)	(114)～(118)の合計		t/年	418.06	416.96	404.41	408.47	380.37	381.73	369.05	341.27	300.72
	資源(空きびん類)	(114)	(92)×直近比率	44.2%	t/年	191.63	215.91	185.05	181.98	157.15	162.64	165.01	142.47	132.89
	資源(ﾍﾟｯﾄﾎﾞﾄﾙ)	(115)	(92)×直近比率	13.3%	t/年	42.62	35.56	45.29	35.46	39.95	40.70	37.30	44.61	39.91
	資源(ﾄﾚｲ類)	(116)	(92)×直近比率	0.6%	t/年	1.80	1.53	1.48	1.59	1.67	1.57	1.67	1.79	1.83
	手選別後可燃物	(117)	(92)-(114)-(115)-(116)-(118)		t/年	30.70	18.02	35.61	55.70	63.81	59.79	51.99	58.60	30.88
	手選別後不燃物	(118)	(92)×直近比率	31.7%	t/年	151.31	145.94	136.98	133.74	117.79	117.03	113.08	93.80	95.21
	一時保管施設	(119)	(120)～(125)の合計		t/年	435.33	505.65	420.70	409.42	434.61	441.43	420.78	381.59	367.66
	資源(新聞紙)	(120)	(97)-｛(121)～(125)の合計｝		t/年	153.05	150.25	142.00	132.45	131.83	135.52	122.82	104.88	97.28
	資源(雑誌)	(121)	(97)×直近比率	22.3%	t/年	129.81	108.44	110.72	109.08	112.52	103.26	93.02	85.45	82.03
	資源(段ボール)	(122)	(97)×直近比率	39.0%	t/年	124.37	131.30	132.77	130.99	151.35	159.62	160.55	146.50	143.60
	資源(紙パック)	(123)	(97)×直近比率	0.5%	t/年	2.89	2.63	2.57	2.35	2.23	2.42	2.40	2.04	1.97
	資源(雑紙)	(124)	(97)×直近比率	10.0%	t/年	21.39	108.44	27.75	28.94	31.04	34.41	36.00	36.86	36.89
	資源(シュレッダー紙)	(125)	(97)×直近比率	1.6%	t/年	3.82	4.59	4.89	5.61	5.64	6.20	5.99	5.86	5.89
	資源化量	(126)	(127)+(139)		t/年	1,150.09	1,210.48	1,112.75	1,079.63	1,079.74	1,041.29	1,017.98	929.76	914.32
	資源化業者	(127)	(128)～(138)の合計		t/年	964.09	1,041.77	948.64	924.00	976.64	946.50	921.81	836.59	820.01
	破砕後資源物(金属類)	(128)	(111)		t/年	285.17	274.12	289.39	286.71	333.57	292.47	291.44	260.66	273.41
	破砕後資源物(小型家電)	(129)	(112)		t/年	7.54	9.00	6.73	8.84	9.69	7.69	5.61	5.47	4.31
	資源(空きびん類)	(130)	(114)		t/年	191.63	215.91	185.05	181.98	157.15	162.64	165.01	142.47	132.89
	資源(ﾍﾟｯﾄﾎﾞﾄﾙ)	(131)	(115)		t/年	42.62	35.56	45.29	35.46	39.95	40.70	37.30	44.61	39.91
	資源(ﾄﾚｲ類)	(132)	(116)		t/年	1.80	1.53	1.48	1.59	1.67	1.57	1.67	1.79	1.83
	資源(新聞紙)	(133)	(120)		t/年	153.05	150.25	142.00	132.45	131.83	135.52	122.82	104.88	97.28
	資源(雑誌)	(134)	(121)		t/年	129.81	108.44	110.72	109.08	112.52	103.26	93.02	85.45	82.03
	資源(段ボール)	(135)	(122)		t/年	124.37	131.30	132.77	130.99	151.35	159.62	160.55	146.50	143.60
	資源(紙パック)	(136)	(123)		t/年	2.89	2.63	2.57	2.35	2.23	2.42	2.40	2.04	1.97
	資源(雑紙)	(137)	(124)		t/年	21.39	108.44	27.75	28.94	31.04	34.41	36.00	36.86	36.89
	資源(シュレッダー紙)	(138)	(125)		t/年	3.82	4.59	4.89	5.61	5.64	6.20	5.99	5.86	5.89
	集団回収業者	(139)	(140)～(145)の合計		t/年	186.00	168.71	164.11	155.63	103.10	94.79	96.17	93.17	94.31
	集団回収(新聞紙)	(140)	(27)		t/年	89.05	80.64	77.18	69.53	37.52	33.31	35.76	33.77	33.75
	集団回収(雑誌)	(141)	(28)		t/年	9.49	7.85	7.06	6.44	5.32	3.82	4.71	5.55	3.46
	集団回収(段ボール)	(142)	(29)		t/年	35.25	25.39	24.95	25.61	19.57	17.59	18.24	18.05	19.32
	集団回収(紙パック)	(143)	(30)		t/年	0.07	0.05	0.07	0.09	0.11	0.11	0.11	0.11	0.10
	集団回収(空き缶類)	(144)	(43)		t/年	37.58	40.26	40.65	43.74	35.28	34.95	33.50	31.00	34.90
	集団回収(空きびん類)	(145)	(45)		t/年	14.56	14.52	14.20	10.22	5.30	5.01	3.85	4.69	2.78
	最終処分量	(146)	(147)		t/年	1,452.08	1,464.83	1,453.82	1,463.75	1,504.64	1,486.14	1,440.60	1,306.47	1,325.90
	一般廃棄物最終処分場	(147)	(148)～(151)の合計		t/年	1,452.08	1,464.83	1,453.82	1,463.75	1,504.64	1,486.14	1,440.60	1,306.47	1,325.90
	埋立ごみ	(148)	(78)		t/年	42.06	6.47	3.28	8.46	11.47	9.15	7.19	3.24	14.00
	焼却灰(焼却残渣)	(149)	(107)		t/年	1,046.86	1,104.24	1,083.21	1,095.79	1,114.32	1,118.48	1,085.98	989.68	987.49
	破砕後不燃物	(150)	(110)		t/年	211.85	208.18	230.35	225.76	261.06	241.48	234.35	219.75	229.20
	手選別後不燃物	(151)	(118)		t/年	151.31	145.94	136.98	133.74	117.79	117.03	113.08	93.80	95.21
指標	総ごみ量	(152)	(74)		t/年	10,392.08	10,167.67	10,243.81	10,355.91	10,075.83	9,935.81	9,931.25	9,455.61	9,384.82
	総ごみ量（集団回収除く）	(153)	(74)-(80)		t/年	10,205.62	9,998.95	10,079.70	10,200.25	9,972.70	9,840.73	9,834.89	9,362.44	9,290.51
	総ごみ量（生活系資源ごみ・集団回収除く）	(154)	(74)-(12)-(36)-(80)		t/年	9,413.32	9,208.00	9,310.96	9,430.22	9,193.44	9,063.36	9,090.10	8,687.53	8,665.39
	生活系総ごみ量（資源ごみ・集団回収除く）	(155)	(11)＋(33)＋(34)＋(35)		t/年	6,141.16	5,876.20	6,010.17	6,140.67	6,259.45	6,028.78	6,044.65	5,809.66	5,820.37
	1人1日当たりごみ排出量	(156)	(152)÷(1)÷(2)×1,000,000		g/人・日	1,101	1,096	1,120	1,159	1,149	1,158	1,172	1,138	1,155
	1人1日当たりごみ排出量（集団回収除く）	(157)	(153)÷(1)÷(2)×1,000,000		g/人・日	1,081	1,078	1,102	1,142	1,137	1,147	1,161	1,127	1,143
	1人1日当たり生活系ごみ排出量	(158)	(3)		g/人・日	754	737	759	791	814	804	812	791	805
	1人1日当たり家庭系ごみ排出量	(159)	(155)÷(1)÷(2)×1,000,000		g/人・日	650	633	657	688	714	702	714	699	717
	1人1日当たり事業系ごみ排出量	(160)	(46)		g/人・日	347	359	361	368	335	353	360	346	350
	資源化率	(161)	(126)÷(152)		%	11.1	11.9	10.9	10.4	10.7	10.5	10.3	9.8	9.7
	資源化率（集団回収除く）	(162)	((126)-(139))÷(153)		%	9.4	10.4	9.4	9.1	9.8	9.6	9.4	8.9	8.8
	最終処分率	(163)	(146)÷(152)		%	14.0	14.4	14.2	14.1	14.9	15.0	14.5	13.8	14.1
	最終処分率（集団回収除く）	(164)	(146)÷(153)		%	14.2	14.6	14.4	14.4	15.1	15.1	14.6	14.0	14.3

表６－１－14 計画ごみ処理・処分量の見通し（2/2）

予測値						記号
R7	R8	R9	R10	R11	R12	
9,298.01	9,101.12	8,935.63	8,705.30	8,508.01	8,311.14	(81)
7,995.18	7,824.76	7,682.48	7,489.66	7,318.70	7,148.11	(82)
7,812.26	7,645.74	7,506.89	7,320.17	7,153.07	6,986.36	(83)
153.98	150.69	147.79	142.42	139.18	135.92	(84)
28.94	28.33	27.80	27.07	26.45	25.83	(85)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	(86)
658.02	643.98	631.56	608.64	594.75	580.89	(87)
144.89	141.79	139.09	128.90	125.96	123.03	(88)
443.44	433.98	425.57	414.59	405.13	395.68	(89)
69.69	68.21	66.90	65.15	63.66	62.18	(90)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	(91)
283.74	277.70	272.47	265.39	259.32	253.28	(92)
214.05	209.49	205.57	200.24	195.66	191.10	(93)
69.69	68.21	66.90	65.15	63.66	62.18	(94)
－	－	－	－	－	－	(95)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	(96)
361.07	354.68	349.12	341.61	335.24	328.86	(97)
88.70	86.81	85.15	82.92	81.03	79.14	(98)
63.36	62.01	60.82	59.23	57.88	56.53	(99)
115.47	113.00	110.88	107.99	105.53	103.07	(100)
－	－	－	－	－	－	(101)
31.68	31.00	30.41	29.61	28.94	28.26	(102)
－	－	－	－	－	－	(103)
61.86	61.86	61.86	61.86	61.86	61.86	(104)
2,270.25	2,223.16	2,182.73	2,121.89	2,074.87	2,027.95	(105)
967.42	946.80	929.58	906.25	885.56	864.92	(106)
967.42	946.80	929.58	906.25	885.56	864.92	(107)
658.02	643.98	631.56	608.64	594.75	580.89	(108)
153.98	150.69	147.79	142.42	139.18	135.92	(109)
227.67	222.82	218.52	210.59	205.78	200.99	(110)
271.76	265.96	260.83	251.37	245.63	239.91	(111)
4.61	4.51	4.42	4.26	4.16	4.07	(112)
283.74	277.70	272.47	265.39	259.32	253.28	(113)
125.41	122.74	120.43	117.30	114.62	111.95	(114)
37.74	36.93	36.24	35.30	34.49	33.69	(115)
1.70	1.67	1.63	1.59	1.56	1.52	(116)
28.94	28.33	27.80	27.07	26.45	25.83	(117)
89.95	88.03	86.37	84.13	82.20	80.29	(118)
361.07	354.68	349.12	341.61	335.24	328.86	(119)
96.03	94.35	92.86	90.86	89.18	87.47	(120)
80.52	79.09	77.85	76.18	74.76	73.34	(121)
140.82	138.33	136.16	133.23	130.74	128.26	(122)
1.81	1.77	1.75	1.71	1.68	1.64	(123)
36.11	35.47	34.91	34.16	33.52	32.89	(124)
5.78	5.67	5.59	5.47	5.36	5.26	(125)
891.00	873.29	857.82	834.34	816.73	799.13	(126)
802.29	786.49	772.67	751.43	735.70	720.00	(127)
271.76	265.96	260.83	251.37	245.63	239.91	(128)
4.61	4.51	4.42	4.26	4.16	4.07	(129)
125.41	122.74	120.43	117.30	114.62	111.95	(130)
37.74	36.93	36.24	35.30	34.49	33.69	(131)
1.70	1.67	1.63	1.59	1.56	1.52	(132)
96.03	94.35	92.86	90.86	89.18	87.47	(133)
80.52	79.09	77.85	76.18	74.76	73.34	(134)
140.82	138.33	136.16	133.23	130.74	128.26	(135)
1.81	1.77	1.75	1.71	1.68	1.64	(136)
36.11	35.47	34.91	34.16	33.52	32.89	(137)
5.78	5.67	5.59	5.47	5.36	5.26	(138)
88.71	86.80	85.15	82.91	81.03	79.13	(139)
31.68	31.00	30.41	29.61	28.94	28.26	(140)
6.34	6.20	6.08	5.92	5.79	5.65	(141)
19.01	18.60	18.25	17.77	17.36	16.96	(142)
－	－	－	－	－	－	(143)
31.68	31.00	30.41	29.61	28.94	28.26	(144)
－	－	－	－	－	－	(145)
1,297.71	1,270.05	1,246.63	1,212.82	1,185.12	1,157.51	(146)
1,297.71	1,270.05	1,246.63	1,212.82	1,185.12	1,157.51	(147)
12.67	12.40	12.16	11.85	11.58	11.31	(148)
967.42	946.80	929.58	906.25	885.56	864.92	(149)
227.67	222.82	218.52	210.59	205.78	200.99	(150)
89.95	88.03	86.37	84.13	82.20	80.29	(151)
9,154.61	8,959.44	8,795.49	8,568.71	8,373.13	8,177.97	(152)
9,065.90	8,872.64	8,710.34	8,485.80	8,292.10	8,098.84	(153)
8,464.01	8,283.57	8,132.56	7,923.14	7,742.28	7,561.84	(154)
5,645.01	5,524.67	5,418.88	5,277.14	5,156.68	5,036.50	(155)
1,155	1,155	1,156	1,155	1,155	1,155	(156)
1,144	1,144	1,145	1,144	1,144	1,144	(157)
799	799	799	798	798	798	(158)
712	712	712	711	711	711	(159)
356	356	357	357	357	357	(160)
9.7	9.7	9.8	9.7	9.8	9.8	(161)
8.8	8.9	8.9	8.9	8.9	8.9	(162)
14.2	14.2	14.2	14.2	14.2	14.2	(163)
14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	(164)

第２節 減量化・資源化の目標設定

前節で行ったごみ排出量等の推計は、あくまで過去の実績に基づいた回帰式による推計結果であり、ごみ減量化及び資源化の施策等の効果については考慮していない。

本節では、国・県の目標値を基に、本市における減量化・資源化の目標値を設定する。

１．減量化・資源化の目標値の設定

ごみ減量化及び資源化施策を実施した場合のごみ量等について、目標値を設定した上で推計を行う。

１）国の目標

「廃棄物の減量その他その適正な処理に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための基本的な方針（環境省告示第 34 号)」（以下「基本的な方針」という。）に示された目標値は、表６－２－１のとおりである。

表６－２－１ 国の目標値（再掲）

項　　目	現況 （令和４年度）	目標値 （令和12年度）
排　出　量	4,000万ｔ	令和４年度実績に対し 約９％削減
循環利用率	20％	約26％
最終処分量	約340万ｔ	令和４年度実績に対し 約５％削減
１人１日当たりの 家庭系ごみ排出量	496ｇ	約478ｇ

循環利用率：廃棄物発生量のうち循環利用量（再使用・再生利用量）の占める割合

２）県の目標

第４次岩手県循環型社会形成推進計画に示された目標値は、表６－２－２のとおりである。

表６－２－２ 県の目標値（再掲）

項　　目	現況 （令和６年度）	目標値 （令和12年度）
県民一人１日当たり 家庭系ごみ排出量	497g/人・日	478g/人・日
県民一人１日当たり 事業系ごみ排出量	270g/人・日	260g/人・日
リサイクル率	16.4％	23.0％
最終処分量	34.8千ｔ	33.0千ｔ

３）本計画における減量化目標値の設定

上位計画である国及び県の減量化の目標を踏まえ、本計画における目標値を定める。

（１）目標年度

国及び県が定める目標年度は令和 12 年度であることから、本計画における減量化の目標年度も、本計画の目標年次と同じ令和 12 年度とする。

（２）目標値

減量化の目標値として、国の目標値は「１人１日当たりの家庭系ごみ排出量 478ｇ」である。これに対応する県の目標値も「県民１人１日当たりの家庭系ごみ排出量 478ｇ」である。また、事業系ごみについては県において「県民１人１日当たりの事業系ごみ排出量 260ｇ」を目標値として設定している。

これに対し、本市の令和６年度における１人１日当たりの家庭系ごみ排出量は 717ｇ（生活系ごみ排出量から資源となるもの（資源ごみと集団回収量）を除いた量)、１人１日当たりの事業系ごみ排出量は 346ｇとなっており、いずれの指標についても現時点では国と県の目標値には届いていない状態にある。

本計画では、本市の現状を鑑み、国や県の目標を達成することは困難であると判断されるため、可能な限り県の目標値に近づけることとする。県では、１年で約 0.7%の削減を目標値としているが、本市では、それを上回る家庭系と事業系それぞれ１年で２%ずつの削減を計画目標とする。

すなわち、**計画目標年次である令和 12 年度において、以下の値まで削減することを目標とする。**

・「１人１日当たりの家庭系ごみ排出量を 573ｇ/人・日以下」

・「１人１日当たりの事業系ごみ排出量を 268ｇ/人・日以下」

また、ごみ量原単位について、施策を実施した場合及び、現状のまま推移した場合の予測について、家庭系ごみは図６－２－１、事業系ごみは図６－２－２にそれぞれ示す。

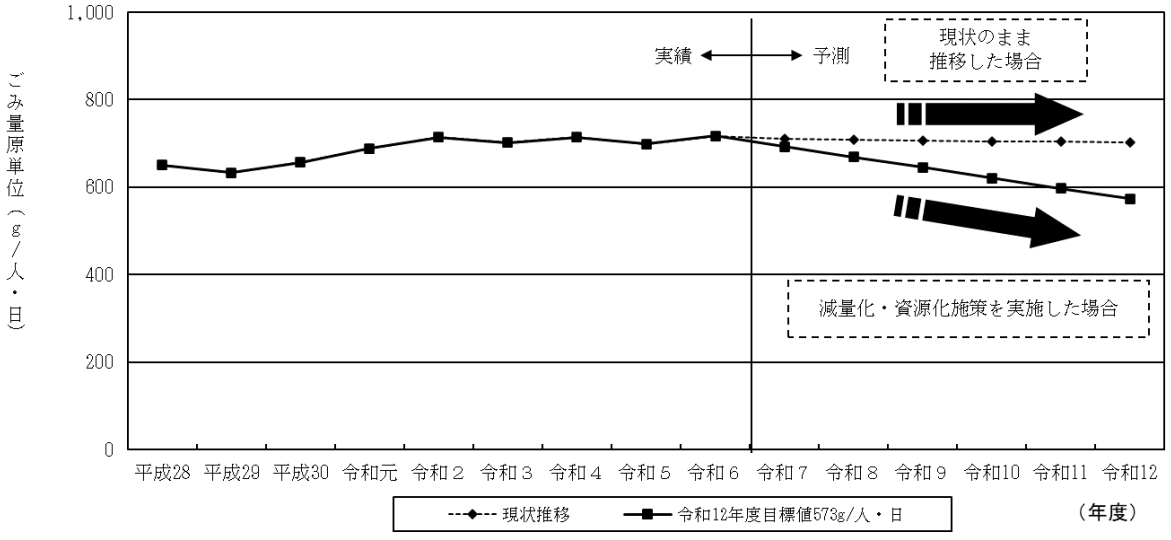


図６－２－１ ごみ量原単位の現状と目標（家庭系ごみ排出量）

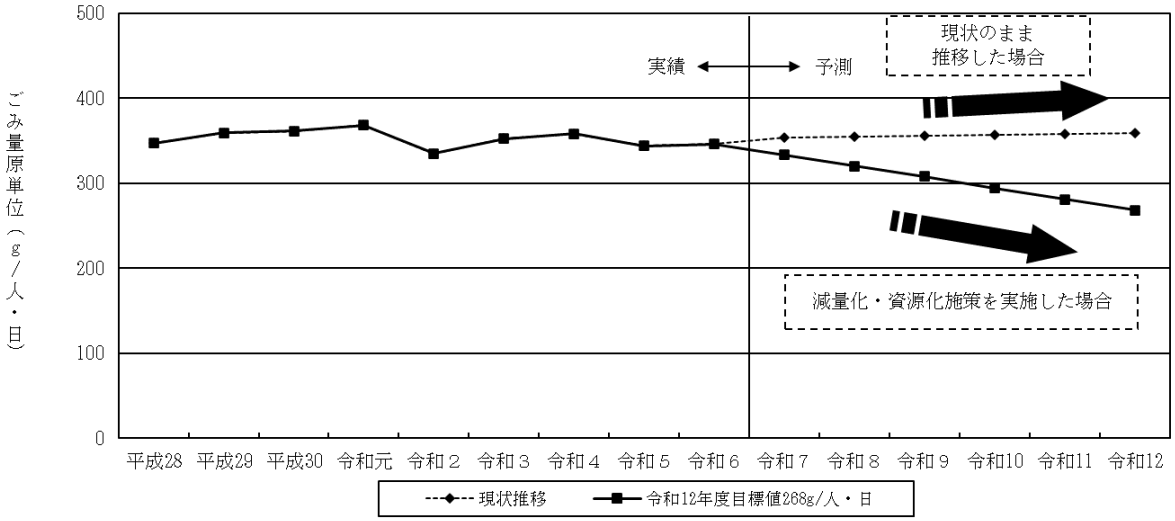


図６－２－２ ごみ量原単位の現状と目標（事業系ごみ排出量）

４）本計画における資源化目標値の設定

上位計画である国及び県の資源化の目標を踏まえ、本計画における目標値を定める。

（１）目標年度

目標年度は、減量化目標と同様に、本計画の目標年度である令和 12 年度とする。

（２）目標値

国は令和 12 年度における資源化率（循環利用率）の目標を約 26%、県は令和 12 年度における資源化率の目標値を 23.0%と定めている。

これに対し､本市の令和６年度における資源化率(集団回収を含む)は 9.7%であり、国及び県のどちらの目標値にも遠く及ばない状態にある。

本計画では、本市の現状を鑑み、減量化目標と同様に国や県の目標値を達成することは困難であると判断されるため、可能な限り県の目標値に近づけることを念頭に、これまでと同様に目標年度（令和 12 年度）におけるリサイクル率の目標値を以下の値とする。

・「資源化率 20.6%以上」

資源化率は、ごみの減量化を進めていく一方で、資源となり得るごみを燃えるごみや燃えないごみに混入させずに、資源ごみとして分別排出させることを住民に対して啓発し続けていく地道な活動によって向上させていく必要があるため、資源化率向上のための施策を積極的に実施していくものとする。

５）本計画における最終処分目標値の設定

上位計画である国及び県の最終処分に関する目標を踏まえ、本計画における目標値を定める。

（１）目標年度

目標年度は、減量化目標や資源化目標と同様に、本計画の目標年度である令和 12 年度とする。

（２）目標値

本市の令和６年度における最終処分量は、1,326ｔ/年であり、総ごみ排出量（9,385ｔ/年）に対する比率（最終処分率）は 14.1%となっている。

本計画では、ごみの減量化目標値や資源化率目標値を達成した場合、最終処分量は大幅に削減できることから、**目標年度（令和 12 年度）において最終処分量の目標値は 1,200t 以下を達成することを目標とする。**

６）各種目標値のまとめ

減量化、資源化並びに最終処分に関する本計画における目標値をまとめると、表６-２-３に示すとおりである。

表６-２-３ 目標値のまとめ

項　目		現況 （令和６年度）	目標値 （令和12年度）
ごみ排出原単位	家庭系ごみ※	717ｇ/人・日	573ｇ/人・日以下
	事業系ごみ	346ｇ/人・日	268ｇ/人・日以下
資源化率		9.7%	20.6%以上
最終処分量		1,326t	1,200t以下

※　生活系ごみ排出量から資源となるもの（資源ごみと集団回収量）を除いた量

２．目標値設定後の計画ごみ排出量及び処理・処分量の見通し

目標値設定後の計画ごみ排出量及び計画ごみ処理･処分量の予測結果を表６－２－４～表６－２－７に示す。

今後予定している容器包装プラスチック及び製品プラスチックの分別収集に係るごみ排出量及び計画ごみ処理・処分量の予測結果を表６－２－８に示す。なお、容器包装プラスチック及び製品プラスチックの排出量は、令和５年度プラスチック組成調査結果の割合を参考に算出した。資源化量は、分別収集をすでに実施している自治体において、家庭から出るプラスチック全体のうち、実際に資源として分別排出されている割合は、概ね 20～25%とされている。令和９年度から資源化を開始すると想定し、排出量のうち 20%が資源化されるとして算出した。

表６－２－４ 目標値設定後の計画ごみ排出量の見通し（1/2）

	八幡平市（目標）	記号	予測値計算式	直近占有率	回収率	単位	実績								
							H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
計画収集人口		(1)	総合計画	-	-	人	25,861	25,411	25,055	24,412	24,023	23,515	23,212	22,701	22,265
年度日数		(2)	実数	-	-	日/年	365	365	365	366	365	365	365	366	365
生活系ごみ	将来ごみ原単位	(3)	(4)＋(5)	-	-	g/人・日	754	737	759	791	814	804	812	791	805
	生活系可燃系ごみ原単位	(4)	－	-	-	g/人・日	663	646	663	689	703	701	712	698	707
	生活系不燃系ごみ原単位	(5)	－	-	-	g/人・日	91	91	96	102	111	103	100	93	98
	将来ごみ原単位	(6)	(7)+(8)	-	-	g/人・日	650	633	657	688	714	702	714	699	717
	家庭系可燃系ごみ原単位	(7)	目標設定（年2%ずつ減少）	-	-	g/人・日	602	587	605	631	646	643	656	645	655
	家庭系不燃系ごみ原単位	(8)	目標設定（年2%ずつ減少）	-	-	g/人・日	48	46	52	57	68	59	58	54	62
	生活系ごみ排出量	(9)	(10)＋(32)	-	-	t/年	7,119.92	6,835.87	6,943.02	7,066.36	7,141.84	6,901.23	6,885.80	6,577.74	6,539.80
	生活系可燃系ごみ排出量	(10)	(1)×(2)×(4)÷1,000,000	-	-	t/年	6,261.71	5,994.16	6,066.37	6,158.32	6,166.23	6,016.90	6,035.48	5,803.12	5,745.16
	燃えるごみ排出量	(11)	(10)-(12)-(25)	81.3%	-	t/年	5,686.44	5,447.07	5,532.70	5,635.74	5,665.98	5,522.54	5,555.13	5,360.29	5,320.00
	資源ごみ排出量	(12)	(13)＋(20)＋(23)	-	-	t/年	440.95	433.15	424.41	420.88	437.70	439.24	421.34	385.35	368.53
	紙類	(13)	(12)×R6実績比率	-	-	t/年	377.00	366.29	357.00	348.50	367.21	362.66	345.33	306.27	289.75
	新聞紙	(14)	(13)×R6実績比率	1.4%	100.0%	t/年	157.13	147.54	137.16	125.90	126.22	127.26	113.85	96.33	89.45
	雑誌	(15)	(13)×R6実績比率	1.0%	100.0%	t/年	106.08	91.93	93.42	93.20	94.74	82.45	74.64	65.35	63.67
	段ボール	(16)	(13)×R6実績比率	1.6%	100.0%	t/年	90.33	99.75	100.70	102.48	117.60	121.53	122.93	111.42	103.80
	紙パック	(17)	(13)-(14)-(15)-(16)-(18)	0.0%	100.0%	t/年	3.62	3.81	3.33	2.62	2.64	2.61	2.65	2.46	2.73
	雑紙	(18)	(13)×R6実績比率	0.5%	100.0%	t/年	19.84	23.26	22.39	24.30	26.01	28.81	31.26	30.71	30.10
	ｼｭﾚｯﾀﾞｰ紙	(19)	計上しない	-	-	t/年	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	プラスチック類	(20)	(12)×R6実績比率	-	-	t/年	60.58	64.33	65.12	70.11	69.84	75.18	75.26	78.45	78.39
	ペットボトル	(21)	(20)×R6実績比率	1.1%	100.0%	t/年	56.72	60.17	61.10	66.73	66.10	71.95	71.80	75.19	75.19
	トレイ類	(22)	(20)×R6実績比率	0.0%	100.0%	t/年	3.86	4.16	4.02	3.38	3.74	3.23	3.46	3.26	3.20
	布類	(23)	(24)	-	-	t/年	3.37	2.53	2.29	2.27	0.65	1.40	0.75	0.63	0.39
	古着	(24)	(12)-(13)-(20)	0.0%	100.0%	t/年	3.37	2.53	2.29	2.27	0.65	1.40	0.75	0.63	0.39
	集団回収排出量	(25)	(26)	-	-	t/年	134.32	113.94	109.26	101.70	62.55	55.12	59.01	57.48	56.63
	紙類・布類	(26)	(10)-(11)-(12)	-	-	t/年	134.32	113.94	109.26	101.70	62.55	55.12	59.01	57.48	56.63
	新聞紙	(27)	(26)×R6実績比率	0.5%	-	t/年	89.05	80.64	77.18	69.53	37.52	33.31	35.76	33.77	33.75
	雑誌	(28)	(26)-(27)-(29)	0.1%	-	t/年	9.49	7.85	7.06	6.44	5.32	3.82	4.71	5.55	3.46
	段ボール	(29)	(26)×R6実績比率	0.3%	-	t/年	35.25	25.39	24.95	25.61	19.57	17.59	18.24	18.05	19.32
	紙パック	(30)	計上しない	0.0%	-	t/年	0.07	0.05	0.07	0.09	0.11	0.11	0.11	0.11	0.10
	古着	(31)	計上しない	-	-	t/年	0.46	0.01	-	0.03	0.03	0.29	0.19	-	-
	生活系不燃系ごみ排出量	(32)	(1)×(2)×(5)÷1,000,000	-	-	t/年	858.21	841.71	876.65	908.04	975.61	884.33	850.32	774.62	794.64
	燃えないごみ排出量	(33)	(48)	2.4%	-	t/年	223.09	216.02	233.04	234.02	251.61	223.90	204.89	176.40	156.82
	粗大ごみ排出量	(34)	(49)	5.0%	-	t/年	213.40	210.71	241.79	263.38	330.50	279.50	280.14	270.44	329.55
	埋立ごみ排出量	(35)	(50)	0.2%	-	t/年	18.23	2.40	2.64	7.53	11.36	2.84	4.49	2.53	14.00
	資源ごみ排出量	(36)	{(32)-(33)-(34)-(35)}のR6実績比率	-	-	t/年	351.35	357.80	344.33	349.15	341.56	338.13	323.45	289.56	256.59
	金属類	(37)	(38)	-	-	t/年	89.94	97.47	94.96	101.21	106.44	110.57	102.86	84.88	71.90
	空き缶類	(38)	(36)×R6実績比率	1.1%	100.0%	t/年	89.94	97.47	94.96	101.21	106.44	110.57	102.86	84.88	71.90
	びん類	(39)	(40)	-	-	t/年	261.41	260.33	249.37	247.94	235.12	227.56	220.59	204.68	184.69
	空きびん類	(40)	(36)×R6実績比率	2.8%	100.0%	t/年	261.41	260.33	249.37	247.94	235.12	227.56	220.59	204.68	184.69
	集団回収排出量	(41)	(32)-(33)-(34)-(35)-(36)	-	-	t/年	52.14	54.78	54.85	53.96	40.58	39.96	37.35	35.69	37.68
	金属類	(42)	(43)	-	-	t/年	37.58	40.26	40.65	43.74	35.28	34.95	33.50	31.00	34.90
	空き缶類	(43)	(36)×R6実績比率	0.5%	-	t/年	37.58	40.26	40.65	43.74	35.28	34.95	33.50	31.00	34.90
	びん類	(44)	(45)	-	-	t/年	14.56	14.52	14.20	10.22	5.30	5.01	3.85	4.69	2.78
	空きびん類	(45)	(41)-(42)	0.0%	-	t/年	14.56	14.52	14.20	10.22	5.30	5.01	3.85	4.69	2.78
	家庭系ごみ排出量	(46)	(51)＋(52)	-	-	t/年	6,141.16	5,876.20	6,010.17	6,140.67	6,259.45	6,028.78	6,044.65	5,809.66	5,820.37
	燃えるごみ排出量	(47)	(1)×(2)×(7)÷1,000,000	91.4%	-	t/年	5,686.44	5,447.07	5,532.70	5,635.74	5,665.98	5,522.54	5,555.13	5,360.29	5,320.00
	燃えないごみ排出量	(48)	(52)-(49)-(50)	2.7%	-	t/年	223.09	216.02	233.04	234.02	251.61	223.90	204.89	176.40	156.82
	粗大ごみ排出量	(49)	(46)×R6実績比率	5.7%	-	t/年	213.40	210.71	241.79	263.38	330.50	279.50	280.14	270.44	329.55
	埋立ごみ排出量	(50)	(46)×R6実績比率	0.2%	-	t/年	18.23	2.40	2.64	7.53	11.36	2.84	4.49	2.53	14.00
	家庭系可燃系ごみ排出量	(51)	(1)×(2)×(7)÷1,000,000	-	-	t/年	5,686.44	5,447.07	5,532.70	5,635.74	5,665.98	5,522.54	5,555.13	5,360.29	5,320.00
	家庭系不燃系ごみ排出量	(52)	(1)×(2)×(8)÷1,000,000	-	-	t/年	454.72	429.13	477.47	504.93	593.47	506.24	489.52	449.37	500.37
事業系ごみ	将来ごみ原単位	(53)	(54)＋(55)	-	-	g/人・日	347	359	361	368	335	353	360	346	350
	事業系可燃系ごみ原単位	(54)	目標設定（年2%ずつ減少）	-	-	g/人・日	326	339	341	349	314	331	337	326	333
	事業系不燃系ごみ原単位	(55)	目標設定（年2%ずつ減少）	-	-	g/人・日	21	20	20	19	21	22	23	20	17
	事業系ごみ排出量	(56)	(57)＋(72)	-	-	t/年	3,272.16	3,331.80	3,300.79	3,289.55	2,933.99	3,034.58	3,045.45	2,877.87	2,845.02
	事業系可燃系ごみ排出量	(57)	(1)×(2)×(54)÷1,000,000	-	-	t/年	3,073.27	3,148.85	3,119.35	3,116.07	2,750.42	2,841.74	2,853.15	2,707.63	2,704.59
	燃えるごみ排出量	(58)	(57)-(59)	94.5%	-	t/年	3,056.69	3,127.52	3,097.92	3,098.80	2,736.85	2,825.44	2,836.24	2,687.48	2,688.43
	資源ごみ排出量	(59)	(60)＋(67)＋(70)	-	-	t/年	16.58	21.33	21.43	17.27	13.57	16.30	16.91	20.15	16.16
	紙類	(60)	(61)～(66)の合計	-	-	t/年	14.69	16.55	15.47	13.21	12.18	15.23	14.84	18.86	14.68
	新聞紙	(61)	(56)×直近占有率	0.0%	-	t/年	0.05	0.19	0.90	0.10	-	0.12	-	0.79	0.25
	雑誌	(62)	(56)×直近占有率	0.0%	-	t/年	2.77	1.15	1.70	1.62	0.43	1.07	0.55	3.01	1.15
	段ボール	(63)	(56)×直近占有率	0.5%	-	t/年	11.87	12.93	12.76	11.49	11.75	14.04	14.29	15.06	13.19
	紙パック	(64)	(56)×直近占有率	-	-	t/年	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	雑紙	(65)	(56)×直近占有率	0.0%	-	t/年	-	2.28	0.11	-	-	-	-	-	0.09
	ｼｭﾚｯﾀﾞｰ紙	(66)	(56)×直近占有率	-	-	t/年	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	プラスチック類	(67)	(68)～(69)の合計	-	-	t/年	0.07	0.10	0.11	0.02	0.02	0.01	1.38	0.23	0.70
	ペットボトル	(68)	(56)×直近占有率	0.0%	-	t/年	-	-	-	-	-	-	1.11	0.21	0.48
	トレイ類	(69)	(56)×直近占有率	0.0%	-	t/年	0.07	0.10	0.11	0.02	0.02	0.01	0.27	0.02	0.22
	布類	(70)	(71)	-	-	t/年	1.82	4.68	5.85	4.04	1.37	1.06	0.69	1.06	0.78
	古着	(71)	(56)×直近占有率	0.0%	-	t/年	1.82	4.68	5.85	4.04	1.37	1.06	0.69	1.06	0.78
	事業系不燃系ごみ排出量	(72)	(1)×(2)×(55)÷1,000,000	-	-	t/年	198.89	182.95	181.44	173.48	183.57	192.84	192.30	170.24	140.43
	燃えないごみ排出量	(73)	計上しない	-	-	t/年	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	粗大ごみ排出量	(74)	(72)-(73)-(75)-(76)	3.6%	-	t/年	79.06	86.68	90.99	82.15	108.07	107.55	117.78	111.62	103.49
	埋立ごみ排出量	(75)	(56)×直近占有率	-	-	t/年	23.83	4.07	0.64	0.93	0.11	6.31	2.70	0.71	-
	資源ごみ排出量	(76)	(77)＋(79)	-	-	t/年	96.00	92.20	89.81	90.40	75.39	78.98	71.82	57.91	36.94
	金属類	(77)	(78)	-	-	t/年	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	空き缶類	(78)	(56)×直近占有率	-	-	t/年	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	びん類	(79)	(80)	-	-	t/年	96.00	92.20	89.81	90.40	75.39	78.98	71.82	57.91	36.94
	空きびん類	(80)	(56)×直近占有率	1.3%	-	t/年	96.00	92.20	89.81	90.40	75.39	78.98	71.82	57.91	36.94
ごみ量まとめ	総ごみ量	(81)	(82)～(87)の合計	-	-	t/年	10,392.08	10,167.67	10,243.81	10,355.91	10,075.83	9,935.81	9,931.25	9,455.61	9,384.82
	燃えるごみ排出量	(82)	(11)＋(58)	-	-	t/年	8,743.13	8,574.59	8,630.62	8,734.54	8,402.83	8,347.98	8,391.37	8,047.77	8,008.43
	燃えないごみ排出量	(83)	(33)＋(73)	-	-	t/年	223.09	216.02	233.04	234.02	251.61	223.90	204.89	176.40	156.82
	粗大ごみ排出量	(84)	(34)＋(74)	-	-	t/年	292.46	297.39	332.78	345.53	438.57	387.05	397.92	382.06	433.04
	埋立ごみ排出量	(85)	(35)＋(75)	-	-	t/年	42.06	6.47	3.28	8.46	11.47	9.15	7.19	3.24	14.00
	資源ごみ排出量	(86)	(12)＋(36)+(59)＋(76)	-	-	t/年	904.88	904.48	879.98	877.70	868.22	872.65	833.52	752.97	678.22
	集団回収排出量	(87)	(25)＋(41)	-	-	t/年	186.46	168.72	164.11	155.66	103.13	95.08	96.36	93.17	94.31

表６－２－５ 目標値設定後の計画ごみ排出量の見通し（2/2）

予測値						記号
R7	R8	R9	R10	R11	R12	
21,719	21,256	20,792	20,329	19,865	19,402	(1)
365	365	366	365	365	365	(2)
801	798	794	791	787	784	(3)
702	697	692	687	682	677	(4)
99	101	102	104	105	107	(5)
693	669	646	621	597	573	(6)
632	609	587	564	541	518	(7)
61	60	59	57	56	55	(8)
6,349.88	6,191.23	6,042.24	5,869.29	5,706.32	5,552.08	(9)
5,565.06	5,407.63	5,266.03	5,097.60	4,944.99	4,794.97	(10)
5,010.14	4,724.89	4,466.99	4,184.93	3,922.64	3,668.34	(11)
481.01	591.80	692.61	791.11	886.18	976.57	(12)
378.19	465.29	544.55	622.00	696.74	767.81	(13)
116.75	143.64	168.11	192.02	215.09	237.03	(14)
83.10	102.24	119.66	136.68	153.10	168.72	(15)
135.48	166.69	195.08	222.83	249.60	275.06	(16)
3.57	4.38	5.13	5.85	6.57	7.24	(17)
39.29	48.34	56.57	64.62	72.38	79.76	(18)
－	－	－	－	－	－	(19)
102.32	125.88	147.33	168.28	188.50	207.73	(20)
98.14	120.74	141.32	161.41	180.81	199.25	(21)
4.18	5.14	6.01	6.87	7.69	8.48	(22)
0.50	0.63	0.73	0.83	0.94	1.03	(23)
0.50	0.63	0.73	0.83	0.94	1.03	(24)
73.91	90.94	106.43	121.56	136.17	150.06	(25)
73.91	90.94	106.43	121.56	136.17	150.06	(26)
44.05	54.20	63.43	72.45	81.15	89.43	(27)
4.64	5.71	6.69	7.64	8.56	9.44	(28)
25.22	31.03	36.31	41.47	46.46	51.19	(29)
－	－	－	－	－	－	(30)
－	－	－	－	－	－	(31)
784.82	783.60	776.21	771.69	761.33	757.11	(32)
159.31	159.15	158.82	150.96	150.54	149.98	(33)
311.05	293.88	278.34	260.90	245.09	229.76	(34)
13.21	12.48	11.82	11.08	10.41	9.76	(35)
262.68	277.36	285.33	304.09	309.80	320.54	(36)
73.61	77.72	79.95	85.21	86.81	89.82	(37)
73.61	77.72	79.95	85.21	86.81	89.82	(38)
189.07	199.64	205.38	218.88	222.99	230.72	(39)
189.07	199.64	205.38	218.88	222.99	230.72	(40)
38.57	40.73	41.90	44.66	45.49	47.07	(41)
35.73	37.73	38.81	41.36	42.14	43.60	(42)
35.73	37.73	38.81	41.36	42.14	43.60	(43)
2.84	3.00	3.09	3.30	3.35	3.47	(44)
2.84	3.00	3.09	3.30	3.35	3.47	(45)
5,493.71	5,190.40	4,915.97	4,607.87	4,328.68	4,057.84	(46)
5,010.14	4,724.89	4,466.99	4,184.93	3,922.64	3,668.34	(47)
159.31	159.15	158.82	150.96	150.54	149.98	(48)
311.05	293.88	278.34	260.90	245.09	229.76	(49)
13.21	12.48	11.82	11.08	10.41	9.76	(50)
5,010.14	4,724.89	4,466.99	4,184.93	3,922.64	3,668.34	(51)
483.57	465.51	448.98	422.94	406.04	389.50	(52)
337	323	310	295	282	268	(53)
320	306	293	279	266	252	(54)
17	17	17	16	16	16	(55)
2,671.55	2,505.97	2,359.06	2,188.92	2,044.70	1,897.91	(56)
2,536.78	2,374.08	2,229.69	2,070.20	1,928.69	1,784.60	(57)
2,523.42	2,361.55	2,217.89	2,059.26	1,918.47	1,775.11	(58)
13.36	12.53	11.80	10.94	10.22	9.49	(59)
13.36	12.53	11.80	10.94	10.22	9.49	(60)
－	－	－	－	－	－	(61)
－	－	－	－	－	－	(62)
13.36	12.53	11.80	10.94	10.22	9.49	(63)
－	－	－	－	－	－	(64)
－	－	－	－	－	－	(65)
－	－	－	－	－	－	(66)
－	－	－	－	－	－	(67)
－	－	－	－	－	－	(68)
－	－	－	－	－	－	(69)
－	－	－	－	－	－	(70)
－	－	－	－	－	－	(71)
134.77	131.89	129.37	118.72	116.01	113.31	(72)
－	－	－	－	－	－	(73)
100.04	99.31	98.70	90.26	89.43	88.64	(74)
－	－	－	－	－	－	(75)
34.73	32.58	30.67	28.46	26.58	24.67	(76)
－	－	－	－	－	－	(77)
－	－	－	－	－	－	(78)
34.73	32.58	30.67	28.46	26.58	24.67	(79)
34.73	32.58	30.67	28.46	26.58	24.67	(80)
9,021.43	8,697.20	8,401.30	8,058.21	7,751.02	7,449.99	(81)
7,533.56	7,086.44	6,684.88	6,244.19	5,841.11	5,443.45	(82)
159.31	159.15	158.82	150.96	150.54	149.98	(83)
411.09	393.19	377.04	351.16	334.52	318.40	(84)
13.21	12.48	11.82	11.08	10.41	9.76	(85)
791.78	914.27	1,020.41	1,134.60	1,232.78	1,331.27	(86)
112.48	131.67	148.33	166.22	181.66	197.13	(87)

表６－２－６ 目標値設定後の計画ごみ処理・処分量の見通し（1/2）

	八幡平市（目標）	記号	予測値計算式	直近比率	単位	実績								
						H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
処理処分量	中間処理前ごみ量	(88)	(89)+(94)+(99)+(104)		t/年	10,333.64	10,245.69	10,286.43	10,448.35	10,270.54	10,132.33	10,113.13	9,630.03	9,524.29
	ごみ焼却施設	(89)	(90)～(93)の合計		t/年	8,874.76	8,712.20	8,800.54	8,949.70	8,658.94	8,587.65	8,617.63	8,263.83	8,194.15
	燃えるごみ排出量	(90)	(82)		t/年	8,743.13	8,574.59	8,630.62	8,734.54	8,402.83	8,347.98	8,391.37	8,047.77	8,008.43
	粗大可燃残渣	(91)	(116)		t/年	100.93	119.59	134.31	159.46	192.30	179.88	174.27	157.46	154.84
	手選別可燃残渣	(92)	(124)		t/年	30.70	18.02	35.61	55.70	63.81	59.79	51.99	58.60	30.88
	その他（他市町村受入）	(93)	計上しない		t/年	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	粗大ごみ処理施設	(94)	(95)～(98)の合計		t/年	605.49	610.88	660.78	680.76	796.62	721.52	705.67	643.34	661.76
	燃えないごみ排出量	(95)	(83)		t/年	223.09	216.02	233.04	234.02	251.61	223.90	204.89	176.40	156.82
	粗大ごみ排出量	(96)	(84)		t/年	292.46	297.39	332.78	345.53	438.57	387.05	397.92	382.06	433.04
	資源(空き缶類)排出量	(97)	(38)＋(78)		t/年	89.94	97.47	94.96	101.21	106.44	110.57	102.86	84.88	71.90
	その他（他市町村受入）	(98)	計上しない		t/年	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	手選別処理施設	(99)	(100)～(103)の合計		t/年	418.06	416.96	404.41	408.47	380.37	381.73	369.05	341.27	300.72
	資源(空きびん類)排出量	(100)	(40)＋(80)		t/年	357.41	352.53	339.18	338.34	310.51	306.54	292.41	262.59	221.63
	資源(ﾍﾟｯﾄﾎﾞﾄﾙ)排出量	(101)	(21)＋(68)		t/年	56.72	60.17	61.10	66.73	66.10	71.95	72.91	75.40	75.67
	資源(ﾄﾚｲ類)排出量	(102)	(22)＋(69)		t/年	3.93	4.26	4.13	3.40	3.76	3.24	3.73	3.28	3.42
	その他	(103)	計上しない		t/年	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	一時保管施設	(104)	(105)～(111)の合計		t/年	435.33	505.65	420.70	409.42	434.61	441.43	420.78	381.59	367.66
	資源(新聞紙)排出量	(105)	(14)＋(61)		t/年	157.18	147.73	138.06	126.00	126.22	127.38	113.85	97.12	89.70
	資源(雑誌)排出量	(106)	(15)＋(62)		t/年	108.85	93.08	95.12	94.82	95.17	83.52	75.19	68.36	64.82
	資源(段ボール)排出量	(107)	(16)＋(63)		t/年	102.20	112.68	113.46	113.97	129.35	135.57	137.22	126.48	116.99
	資源(紙パック)排出量	(108)	(17)＋(64)		t/年	3.62	3.81	3.33	2.62	2.64	2.61	2.65	2.46	2.73
	資源(雑紙)排出量	(109)	(18)＋(65)		t/年	19.84	25.54	22.50	24.30	26.01	28.81	31.26	30.71	30.19
	資源(ｼｭﾚｯﾀﾞｰ紙)排出量	(110)	(19)＋(66)		t/年	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他（施設内排出）	(111)	実績5か年平均		t/年	43.64	122.81	48.23	47.71	55.22	63.54	60.61	56.46	63.23
	中間処理後ごみ量	(112)	(113)+(115)+(120)+(126)		t/年	2,505.74	2,637.74	2,569.10	2,594.45	2,725.92	2,663.16	2,581.48	2,355.88	2,317.63
	ごみ焼却施設	(113)	(114)		t/年	1,046.86	1,104.24	1,083.21	1,095.79	1,114.32	1,118.48	1,085.98	989.68	987.49
	焼却灰(焼却残渣)	(114)	(89)×直近比率	12.1%	t/年	1,046.86	1,104.24	1,083.21	1,095.79	1,114.32	1,118.48	1,085.98	989.68	987.49
	粗大ごみ処理施設	(115)	(116)～(119)の合計		t/年	605.49	610.89	660.78	680.77	796.62	721.52	705.67	643.34	661.76
	粗大可燃残渣	(116)	(94)-(117)-(118)-(119)		t/年	100.93	119.59	134.31	159.46	192.30	179.88	174.27	157.46	154.84
	粗大不燃残渣	(117)	(94)×直近比率	34.6%	t/年	211.85	208.18	230.35	225.76	261.06	241.48	234.35	219.75	229.20
	粗大資源物(金属類)	(118)	(94)×直近比率	41.3%	t/年	285.17	274.12	289.39	286.71	333.57	292.47	291.44	260.66	273.41
	粗大資源物(小型家電)	(119)	(94)×直近比率	0.7%	t/年	7.54	9.00	6.73	8.84	9.69	7.69	5.61	5.47	4.31
	手選別処理施設	(120)	(121)～(125)の合計		t/年	418.06	416.96	404.41	408.47	380.37	381.73	369.05	341.27	300.72
	手選別資源物(空きびん類)	(121)	(99)×直近比率	44.2%	t/年	191.63	215.91	185.05	181.98	157.15	162.64	165.01	142.47	132.89
	手選別資源物(ﾍﾟｯﾎﾞﾄﾙ)	(122)	(99)×直近比率	13.3%	t/年	42.62	35.56	45.29	35.46	39.95	40.70	37.30	44.61	39.91
	手選別資源物(ﾄﾚｲ類)	(123)	(99)×直近比率	0.6%	t/年	1.80	1.53	1.48	1.59	1.67	1.57	1.67	1.79	1.83
	手選別可燃残渣	(124)	(99)-(121)-(122)-(123)-(125)		t/年	30.70	18.02	35.61	55.70	63.81	59.79	51.99	58.60	30.88
	手選別不燃残渣	(125)	(99)×直近比率	31.7%	t/年	151.31	145.94	136.98	133.74	117.79	117.03	113.08	93.80	95.21
	一時保管施設	(126)	(127)～(132)の合計		t/年	435.33	505.65	420.70	409.42	434.61	441.43	420.78	381.59	367.66
	保管資源物(新聞紙)	(127)	(104)-｛(128)～(132)の合計｝	-	t/年	153.05	150.25	142.00	132.45	131.83	135.52	122.82	104.88	97.28
	保管資源物(雑誌)	(128)	(104)×直近比率	22.3%	t/年	129.81	108.44	110.72	109.08	112.52	103.26	93.02	85.45	82.03
	保管資源物(段ボール)	(129)	(104)×直近比率	39.1%	t/年	124.37	131.30	132.77	130.99	151.35	159.62	160.55	146.50	143.60
	保管資源物(紙パック)	(130)	(104)×直近比率	0.5%	t/年	2.89	2.63	2.57	2.35	2.23	2.42	2.40	2.04	1.97
	保管資源物(雑紙)	(131)	(104)×直近比率	10.0%	t/年	21.39	108.44	27.75	28.94	31.04	34.41	36.00	36.86	36.89
	保管資源物(ｼｭﾚｯﾀﾞｰ紙)	(132)	(104)×直近比率	1.6%	t/年	3.82	4.59	4.89	5.61	5.64	6.20	5.99	5.86	5.89
	資源化量	(133)	(134)+(146)		t/年	1,150.09	1,210.48	1,112.75	1,079.63	1,079.74	1,041.29	1,017.98	929.76	914.32
	資源化業者	(134)	(135)～(145)の合計		t/年	964.09	1,041.77	948.64	924.00	976.64	946.50	921.81	836.59	820.01
	粗大資源物(金属類)	(135)	(118)		t/年	285.17	274.12	289.39	286.71	333.57	292.47	291.44	260.66	273.41
	粗大資源物(小型家電)	(136)	(119)		t/年	7.54	9.00	6.73	8.84	9.69	7.69	5.61	5.47	4.31
	手選別資源物(空きびん類)	(137)	(121)		t/年	191.63	215.91	185.05	181.98	157.15	162.64	165.01	142.47	132.89
	手選別資源物(ﾍﾟｯﾎﾞﾄﾙ)	(138)	(122)		t/年	42.62	35.56	45.29	35.46	39.95	40.70	37.30	44.61	39.91
	手選別資源物(ﾄﾚｲ類)	(139)	(123)		t/年	1.80	1.53	1.48	1.59	1.67	1.57	1.67	1.79	1.83
	保管資源物(新聞紙)	(140)	(127)		t/年	153.05	150.25	142.00	132.45	131.83	135.52	122.82	104.88	97.28
	保管資源物(雑誌)	(141)	(128)		t/年	129.81	108.44	110.72	109.08	112.52	103.26	93.02	85.45	82.03
	保管資源物(段ボール)	(142)	(129)		t/年	124.37	131.30	132.77	130.99	151.35	159.62	160.55	146.50	143.60
	保管資源物(紙パック)	(143)	(130)		t/年	2.89	2.63	2.57	2.35	2.23	2.42	2.40	2.04	1.97
	保管資源物(雑紙)	(144)	(131)		t/年	21.39	108.44	27.75	28.94	31.04	34.41	36.00	36.86	36.89
	保管資源物(ｼｭﾚｯﾀﾞｰ紙)	(145)	(132)		t/年	3.82	4.59	4.89	5.61	5.64	6.20	5.99	5.86	5.89
	集団回収業者	(146)	(147)～(152)の合計		t/年	186.00	168.71	164.11	155.63	103.10	94.79	96.17	93.17	94.31
	集団回収(新聞紙)	(147)	(27)		t/年	89.05	80.64	77.18	69.53	37.52	33.31	35.76	33.77	33.75
	集団回収(雑誌)	(148)	(28)		t/年	9.49	7.85	7.06	6.44	5.32	3.82	4.71	5.55	3.46
	集団回収(段ボール)	(149)	(29)		t/年	35.25	25.39	24.95	25.61	19.57	17.59	18.24	18.05	19.32
	集団回収(紙パック)	(150)	(30)		t/年	0.07	0.05	0.07	0.09	0.11	0.11	0.11	0.11	0.10
	集団回収(空き缶類)	(151)	(43)		t/年	37.58	40.26	40.65	43.74	35.28	34.95	33.50	31.00	34.90
	集団回収(空きびん類)	(152)	(45)		t/年	14.56	14.52	14.20	10.22	5.30	5.01	3.85	4.69	2.78
	最終処分量	(153)	(154)		t/年	1,452.08	1,464.83	1,453.82	1,463.75	1,504.64	1,486.14	1,440.60	1,306.47	1,325.90
	一般廃棄物最終処分場	(154)	(155)～(158)の合計		t/年	1,452.08	1,464.83	1,453.82	1,463.75	1,504.64	1,486.14	1,440.60	1,306.47	1,325.90
	埋立ごみ	(155)	(85)		t/年	42.06	6.47	3.28	8.46	11.47	9.15	7.19	3.24	14.00
	焼却灰(焼却残渣)	(156)	(114)		t/年	1,046.86	1,104.24	1,083.21	1,095.79	1,114.32	1,118.48	1,085.98	989.68	987.49
	粗大不燃残渣	(157)	(117)		t/年	211.85	208.18	230.35	225.76	261.06	241.48	234.35	219.75	229.20
	手選別不燃残渣	(158)	(125)		t/年	151.31	145.94	136.98	133.74	117.79	117.03	113.08	93.80	95.21
指標	総ごみ量	(159)	(81)		t/年	10,392.08	10,167.67	10,243.81	10,355.91	10,075.83	9,935.81	9,931.25	9,455.61	9,384.82
	総ごみ量（集団回収除く）	(160)	(81)-(87)		t/年	10,205.62	9,998.95	10,079.70	10,200.25	9,972.70	9,840.73	9,834.89	9,362.44	9,290.51
	総ごみ量（生活系資源ごみ・集団回収除く）	(161)	(81)-(12)-(36)-(87)		t/年	9,413.32	9,208.00	9,310.96	9,430.22	9,193.44	9,063.36	9,090.10	8,687.53	8,665.39
	家庭系総ごみ量	(162)	(11)＋(33)＋(34)＋(35)		t/年	6,141.16	5,876.20	6,010.17	6,140.67	6,259.45	6,028.78	6,044.65	5,809.66	5,820.37
	1人1日当たりごみ排出量	(163)	(159)÷(1)÷(2)×1,000,000		g/人・日	1,101	1,096	1,120	1,159	1,149	1,158	1,172	1,138	1,155
	1人1日当たりごみ排出量（集団回収除く）	(164)	(160)÷(1)÷(2)×1,000,000		g/人・日	1,081	1,078	1,102	1,142	1,137	1,147	1,161	1,127	1,143
	1人1日当たり生活系ごみ排出量	(165)	(3)		g/人・日	754	737	759	791	814	804	812	791	805
	1人1日当たり家庭系ごみ排出量	(166)	(162)÷(1)÷(2)×1,000,000		g/人・日	650	633	657	688	714	702	714	699	717
	1人1日当たり事業系ごみ排出量	(167)	(53)		g/人・日	347	359	361	368	335	353	360	346	350
	資源化率	(168)	(133)÷(159)		%	11.1	11.9	10.9	10.4	10.7	10.5	10.3	9.8	9.7
	資源化率（集団回収除く）	(169)	((133)-(146))÷(160)		%	9.4	10.4	9.4	9.1	9.8	9.6	9.4	8.9	8.8
	最終処分率	(170)	(153)÷(159)		%	14.0	14.4	14.2	14.1	14.9	15.0	14.5	13.8	14.1
	最終処分率（集団回収除く）	(171)	(153)÷(160)		%	14.2	14.6	14.4	14.4	15.1	15.1	14.6	14.0	14.3

表６－２－７ 目標値設定後の計画ごみ処理・処分量の見通し（2/2）

予測値						記号
R7	R8	R9	R10	R11	R12	
9,139.00	8,796.19	8,483.44	8,119.72	7,796.32	7,479.73	(88)
7,717.51	7,270.40	6,868.09	6,424.02	6,019.61	5,621.30	(89)
7,533.56	7,086.44	6,684.88	6,244.19	5,841.11	5,443.45	(90)
150.69	147.44	144.10	137.43	133.82	130.61	(91)
33.26	36.52	39.11	42.40	44.68	47.24	(92)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	(93)
644.01	630.06	615.81	587.33	571.87	558.20	(94)
159.31	159.15	158.82	150.96	150.54	149.98	(95)
411.09	393.19	377.04	351.16	334.52	318.40	(96)
73.61	77.72	79.95	85.21	86.81	89.82	(97)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	(98)
326.12	358.10	383.38	415.62	438.07	463.12	(99)
223.80	232.22	236.05	247.34	249.57	255.39	(100)
98.14	120.74	141.32	161.41	180.81	199.25	(101)
4.18	5.14	6.01	6.87	7.69	8.48	(102)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	(103)
451.36	537.63	616.16	692.75	766.77	837.11	(104)
116.75	143.64	168.11	192.02	215.09	237.03	(105)
83.10	102.24	119.66	136.68	153.10	168.72	(106)
148.84	179.22	206.88	233.77	259.82	284.55	(107)
3.57	4.38	5.13	5.85	6.57	7.24	(108)
39.29	48.34	56.57	64.62	72.38	79.76	(109)
－	－	－	－	－	－	(110)
59.81	59.81	59.81	59.81	59.81	59.81	(111)
2,355.31	2,405.51	2,446.39	2,473.01	2,505.08	2,538.61	(112)
933.82	879.72	831.04	777.31	728.37	680.18	(113)
933.82	879.72	831.04	777.31	728.37	680.18	(114)
644.01	630.06	615.81	587.33	571.87	558.20	(115)
150.69	147.44	144.10	137.43	133.82	130.61	(116)
222.83	218.00	213.07	203.22	197.87	193.14	(117)
265.98	260.21	254.33	242.57	236.18	230.54	(118)
4.51	4.41	4.31	4.11	4.00	3.91	(119)
326.12	358.10	383.38	415.62	438.07	463.12	(120)
144.15	158.28	169.45	183.70	193.63	204.70	(121)
43.37	47.63	50.99	55.28	58.26	61.59	(122)
1.96	2.15	2.30	2.49	2.63	2.78	(123)
33.26	36.52	39.11	42.40	44.68	47.24	(124)
103.38	113.52	121.53	131.75	138.87	146.81	(125)
451.36	537.63	616.16	692.75	766.77	837.11	(126)
119.61	142.48	163.28	183.58	203.19	221.83	(127)
100.65	119.89	137.40	154.48	170.99	186.68	(128)
176.48	210.21	240.92	270.87	299.81	327.31	(129)
2.26	2.69	3.08	3.46	3.83	4.19	(130)
45.14	53.76	61.62	69.28	76.68	83.71	(131)
7.22	8.60	9.86	11.08	12.27	13.39	(132)
1,023.81	1,141.98	1,245.87	1,347.12	1,443.13	1,537.76	(133)
911.33	1,010.31	1,097.54	1,180.90	1,261.47	1,340.63	(134)
265.98	260.21	254.33	242.57	236.18	230.54	(135)
4.51	4.41	4.31	4.11	4.00	3.91	(136)
144.15	158.28	169.45	183.70	193.63	204.70	(137)
43.37	47.63	50.99	55.28	58.26	61.59	(138)
1.96	2.15	2.30	2.49	2.63	2.78	(139)
119.61	142.48	163.28	183.58	203.19	221.83	(140)
100.65	119.89	137.40	154.48	170.99	186.68	(141)
176.48	210.21	240.92	270.87	299.81	327.31	(142)
2.26	2.69	3.08	3.46	3.83	4.19	(143)
45.14	53.76	61.62	69.28	76.68	83.71	(144)
7.22	8.60	9.86	11.08	12.27	13.39	(145)
112.48	131.67	148.33	166.22	181.66	197.13	(146)
44.05	54.20	63.43	72.45	81.15	89.43	(147)
4.64	5.71	6.69	7.64	8.56	9.44	(148)
25.22	31.03	36.31	41.47	46.46	51.19	(149)
－	－	－	－	－	－	(150)
35.73	37.73	38.81	41.36	42.14	43.60	(151)
2.84	3.00	3.09	3.30	3.35	3.47	(152)
1,273.24	1,223.72	1,177.46	1,123.36	1,075.52	1,029.89	(153)
1,273.24	1,223.72	1,177.46	1,123.36	1,075.52	1,029.89	(154)
13.21	12.48	11.82	11.08	10.41	9.76	(155)
933.82	879.72	831.04	777.31	728.37	680.18	(156)
222.83	218.00	213.07	203.22	197.87	193.14	(157)
103.38	113.52	121.53	131.75	138.87	146.81	(158)
9,021.43	8,697.20	8,401.30	8,058.21	7,751.02	7,449.99	(159)
8,908.95	8,565.53	8,252.97	7,891.99	7,569.36	7,252.86	(160)
8,165.26	7,696.37	7,275.03	6,796.79	6,373.38	5,955.75	(161)
5,493.71	5,190.40	4,915.97	4,607.87	4,328.68	4,057.84	(162)
1,138	1,121	1,104	1,086	1,069	1,052	(163)
1,124	1,104	1,085	1,064	1,044	1,024	(164)
801	798	794	791	787	784	(165)
693	669	646	621	597	573	(166)
337	323	310	295	282	268	(167)
11.3	13.1	14.8	16.7	18.6	20.6	(168)
10.2	11.8	13.3	15.0	16.7	18.5	(169)
14.1	14.1	14.0	13.9	13.9	13.8	(170)
14.3	14.3	14.3	14.2	14.2	14.2	(171)

表６−２−８ 容器包装プラスチック及び製品プラスチックごみ排出量及び計画ごみ処理・処分量の見通し

八幡平市（目標）	予測値計算式	記号	予測値					
			R7	R8	R9	R10	R11	R12
燃えるごみ排出量	(b)＋(c)	(a)	7,533.56	7,086.44	6,684.88	6,244.19	5,841.11	5,443.45
燃えるごみ排出量（生活系）	−	(b)	5,010.14	4,724.89	4,466.99	4,184.93	3,922.64	3,668.34
燃えるごみ排出量（事業系）	−	(c)	2,523.42	2,361.55	2,217.89	2,059.26	1,918.47	1,775.11
容器包装プラスチック+製品プラスチック排出量	(e)＋(f)	(d)	542.42	510.22	481.31	449.58	420.56	391.93
容器包装プラスチック排出量	(a)×6.4%	(e)	482.15	453.53	427.83	399.63	373.83	348.38
製品プラスチック排出量	(a)×0.8%	(f)	60.27	56.69	53.48	49.95	46.73	43.55
容器包装プラスチック+製品プラスチック資源化量	(h)＋(i)	(g)	−	−	96.26	89.92	84.11	78.39
容器包装プラスチック資源化量	(e)×20%	(h)	−	−	85.57	79.93	74.77	69.68
製品プラスチック排出量	(f)×20%	(i)	−	−	10.70	9.99	9.35	8.71

第７章 ごみ処理基本計画

第１節 基本方針

１．基本方針

前章までにおいて、本市における収集運搬、減量化、資源化、中間処理、最終処分に係る課題が明らかとなった。

また、国や県が定める目標値を踏まえた数値目標を設定した。

これらを踏まえて、以下に示す事項を本計画の基本方針とする。

【ごみ処理の基本方針】

①地域の循環型社会構築に向けて、ごみ量の削減・資源化率の向上を目指す。

②広域ごみ焼却施設の稼働を見据えた、ごみ焼却施設の適正な維持管理を図る。

③埋立終了した栗日影沢最終処分場の廃止に向けた手続きを行う。

２．目標値

ごみ処理に関する目標値は前章で定めたとおりであり、当該目標値を達成するために、次節以降の計画に基づいて様々な施策を講じることとする。

【目標値（令和 12 年度)】(再掲)

ごみ排出原単位	：	家庭系ごみ　573ｇ/人・日以下
	：	事業系ごみ　268ｇ/人・日以下
資源化率	：	20.6%以上
最終処分量	：	1,200ｔ以下

第２節 排出抑制・再資源化計画

ごみの排出抑制・再資源化を進めていくためには、本市と住民の役割を明確にし、連携協力して取り組む必要がある。

１．本市の役割

１）家庭系ごみ有料化をはじめとした排出量削減策の検討

本市の人口１人１日当たりのごみ総排出量は1,000ｇ/人･日を超過していることから、これを削減することを目指していく。

家庭系ごみの有料化は排出量削減策として有効な方法の一つであるが、住民に対して経済的負担を強いることになること、また、ごみ処理広域化へ向けた議論もあることから、県内外の自治体における動向を見極めながら慎重に検討する必要がある。

２）分別収集区分の拡大について

現在は資源ごみとして11種類（空き缶類、空きびん類、ペットボトル、トレイ類、新聞紙、雑誌、段ボール、紙パック、雑紙、シュレッダー紙、古布）を分別収集している。一方、令和４年４月より「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」が施行されたことから、プラスチック資源について、分別排出・分別収集に取り組むこととするが、分別収集区分の追加は住民の手間を増やすことになるため、分別区分を拡大する際は住民に対して十分な説明を行う必要がある。

３）事業系ごみの排出量削減の推進について

事業者に対し、ごみ分別の徹底及び紙等の分別した資源ごみを事業者独自でリサイクル事業者へ引き渡す等の啓発を行うことにより、ごみ排出量の削減を促す必要がある。

２．住民の役割

１）分別収集区分の遵守

資源化率の向上のため、本市が定めた分別収集区分を遵守する。

また、プラスチックの分別排出・分別収集が実施された際は、本市が新たに配布する「ごみの正しい分け方・出し方」を参照しながら分別排出を行うものとする。

２）集団回収の継続

本市では、古紙類、缶類及びびん類を対象とした集団回収を実施している。

集団回収は、ごみの資源化だけでなく、地域コミュニティの育成にも役立つものであることから、今後も積極的に継続実施していくものとする。

第３節 中間処理計画

１．ごみ焼却施設の適正な維持管理

本市を含む県央ブロックの構成自治体は、令和 14 年度以降に新たな広域ごみ焼却施設の稼働開始を目指して検討を進めており、当該年度まで既存のごみ焼却施設を活用し適正に処理しなければならない。

そのため、平成 29 年度及び平成 30 年度において基幹的設備改良工事を実施したが、施設全体としては、令和９年度で稼働から 30 年目を迎えるため、基幹的設備改良工事を実施しなかった部分を中心に、性能の低下、不具合や故障に対する配慮が必要である。

こうした背景を踏まえ、本市では、新たな広域ごみ焼却施設が稼働するまでの間、本市清掃センターごみ焼却施設について、適正な維持管理が必要である。

第４節 最終処分計画

１．栗日影沢最終処分場の廃止

栗日影沢最終処分場は既に埋立を終了しており、埋立終了後も原水、放流水（生活環境保全関連･有害物質関連）及び地下水の水質や発生ガス量等の測定を継続して行っている。

廃止手続きが完了するまではこれらの測定を継続する必要があり、測定には費用が掛かるため、廃止することが望ましいことから、今後は廃止に向けた手続きを進めていくものとする。

２．一般廃棄物最終処分場の適正管理と残余容量（残余年数）把握

埋立中である一般廃棄物最終処分場は、技術上の基準を遵守しつつ適正に管理していくものとする。

また、令和７年 11 月の測量実施時において埋立残余容量は 9,554 ㎥となっており、残余年数は７年 10 か月となっている。

「最終処分場残余容量算定マニュアル」に基づき、年１回の測量調査を継続実施し、常に最新の残余容量を把握していく。